

IT-Alia

GHS

化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
GHS対応のラベル、MSDSの作成（混合物の分類支援ソフト）

マニュアル

IT-Alia 株式会社

目次

🎵	まずは最初に.....	4
	分類くんソフトのインストールをしよう.....	4
	マクロを使えるように設定を変更しよう.....	5
	分類くんソフトの起動しよう.....	13
	会社データを登録しよう.....	15
	全体の流れを把握しよう.....	17
🎵	使用言語を選択しよう.....	20
	使用言語を選ぼう.....	20
🎵	GHS 分類してみよう.....	21
	混合物の物理化学危険入力をしよう.....	21
	成分と含有量を入力しよう.....	28
	CAS 番号を成分名から検索しよう.....	32
🎵	保存・読み出しを行おう.....	35
	入力した項目を保存しよう.....	35
	以前に作成したファイルを開こう.....	38
🎵	MSDS を作成しよう.....	40
	MSDS 作成（入力項目）を記載しよう.....	40
	MSDS を作成しよう.....	51
	MSDS を保存しよう.....	53
	MSDS の文言を保存しよう.....	56
🎵	英文 MSDS を作成しよう.....	57
	超簡単に英語 MSDS を作ろう.....	57
	英語 MSDS 作成（入力項目）を記載しよう.....	61
	英文 MSDS を作成しよう.....	64
	MSDS を保存しよう.....	66
	MSDS の文言を保存しよう.....	69
🎵	中国語の MSDS を作成しよう.....	70
	超簡単に中国語の MSDS を作ろう.....	70
	中国語 MSDS 作成（入力項目）を記載しよう.....	74
	中国語の MSDS を作成しよう.....	77
	MSDS を保存しよう.....	80
	MSDS の文言を保存しよう.....	83
🎵	ラベルを作成しよう.....	84
	ラベルを作成しよう.....	84
	ラベルを保存しよう.....	87
	ラベルの内容を txt 形式に出力しよう.....	88
🎵	分類根拠を確認しよう.....	90
	分類根拠を確認しよう.....	90
	一覧表を印刷しよう.....	92
🎵	成分のデータを追加しよう.....	93
	未登録成分データを登録しよう.....	93
	化学式や官報公示整理番号を登録しよう.....	98
	英語名や中国語名を登録しよう.....	101
🎵	混合物データを追加しよう.....	105
	混合物を登録しよう.....	105
	登録した混合物を利用してみよう.....	113

🎵 最終結果を変更しよう	119
最終結果を変更してみよう	119
🎵 登録されているデータを確認しよう	121
成分データベース一覧	121
混合物データベース一覧	122
🎵 表示する文言を修正しよう	123
注意書きフレーズの登録について	123
MSDS 入力項目の修正について	124
🎵 自動機能を利用しよう	125
ラベルの txt 形式の自動保存について	128
🎵 対象物質の追加・変更しよう	130
表示対象物質追加	130
通知対象物質追加	131
オゾン層への有害対象物リスト	132

🎵まずは最初に

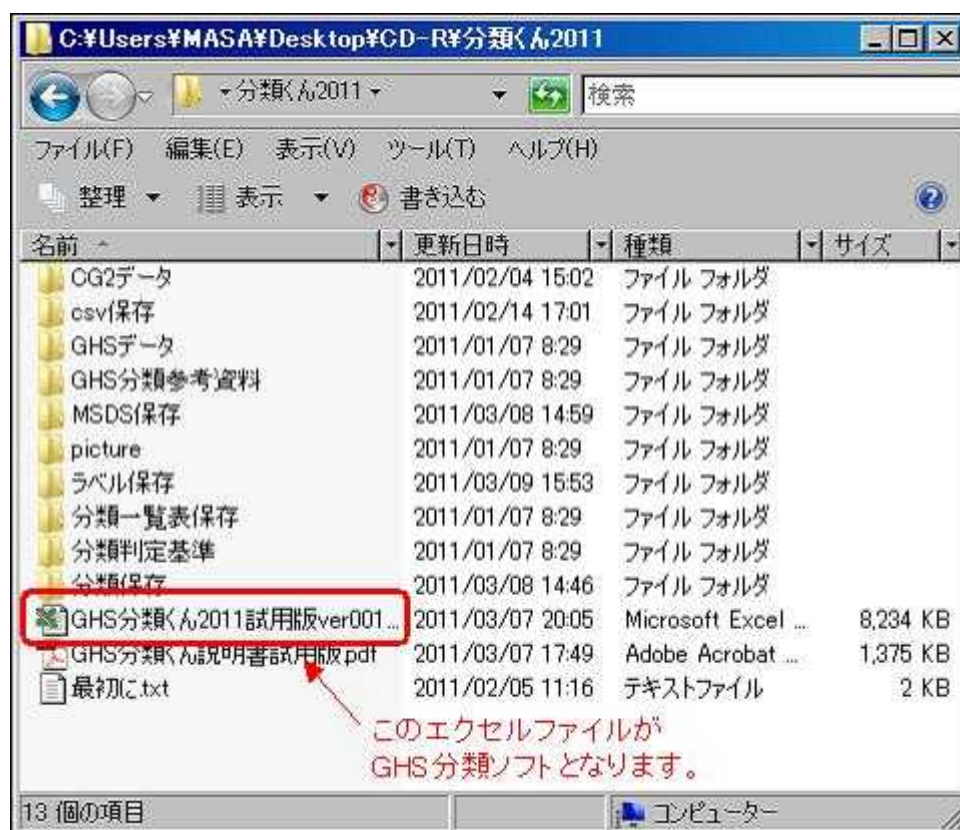
分類くんソフトのインストールをしよう

- 【1】 このソフトはマイクロソフト社の**エクセル(EXCEL)2007-2010**が必要となります。
お持ちでない方は、ご購入の上、お使いください
- 【2】 「分類くんソフト」のCDを開くと「分類くん」のフォルダがあります。
このフォルダをパソコンのお好きな場所にコピーしてください。

レジストリ等の変更はしておりませんので、アンインストールについてはこのコピーした「分類くん」のフォルダを削除することで行えます。



- 【3】 コピー後の「分類くん」のフォルダを開くと下記のフォルダやファイルがあります。
「GHS 分類くん」のエクセルファイルが「分類ソフト」となります。



マクロを使えるように設定を変更しよう

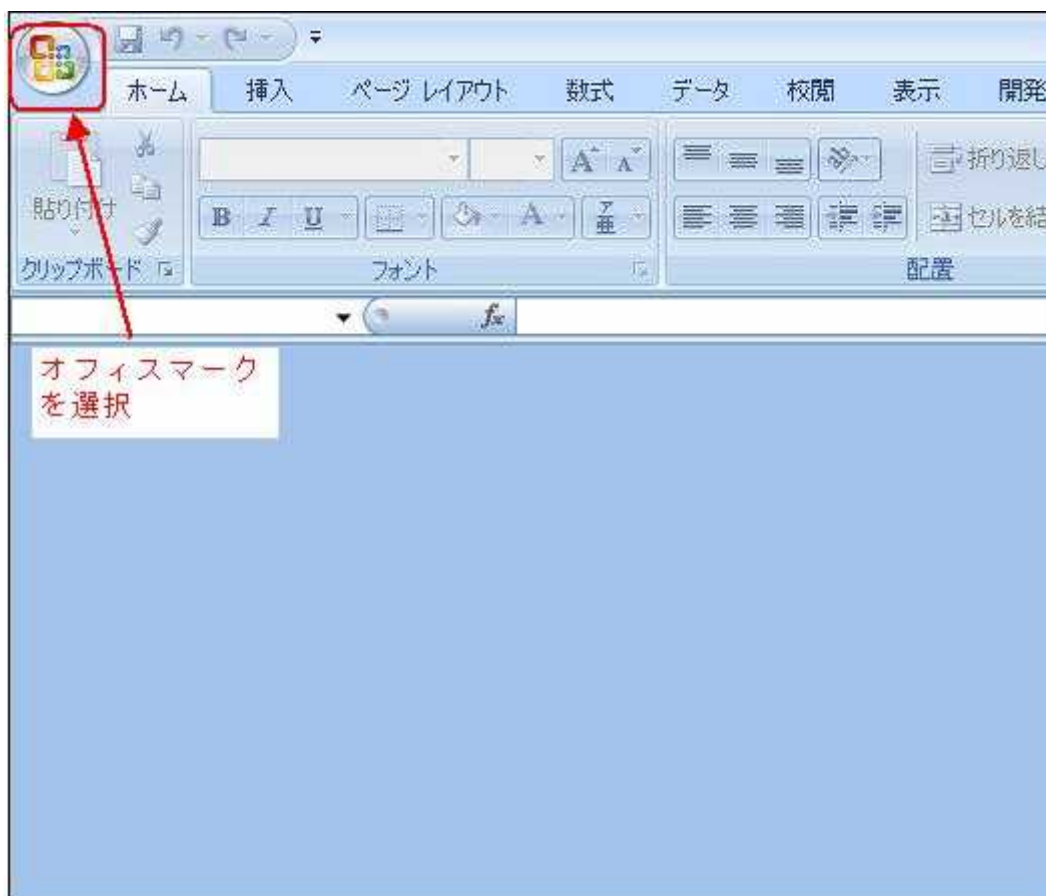
ソフトの起動にはマイクロソフト社の Excel の ver2007-2010 が必要となります。

ソフトは Excel に標準搭載されているマクロを用いて動作しますので、マクロを利用できるように設定する必要があります。Excel2007 と 2010 でのマクロ設定の変更方法を説明します。

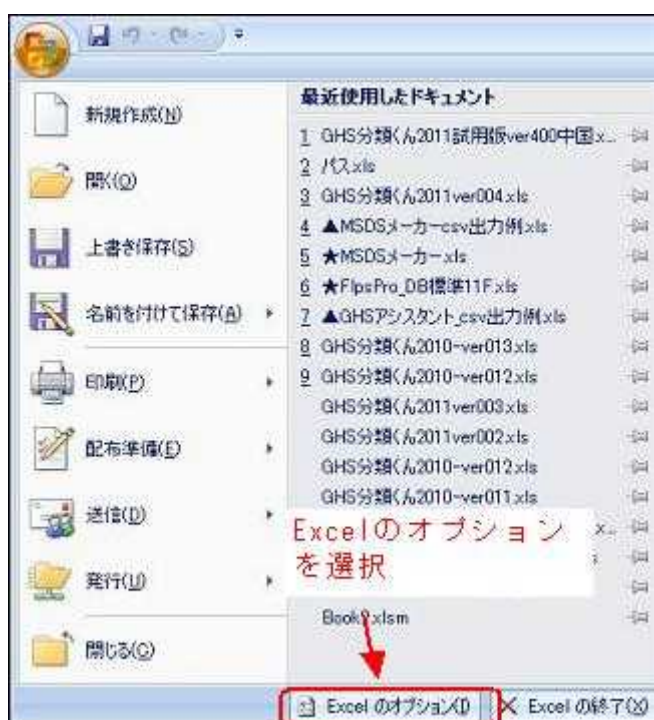
< Excel2007 > の場合

【1】ソフトを立ち上げる前に、エクセルを立ち上げてください。

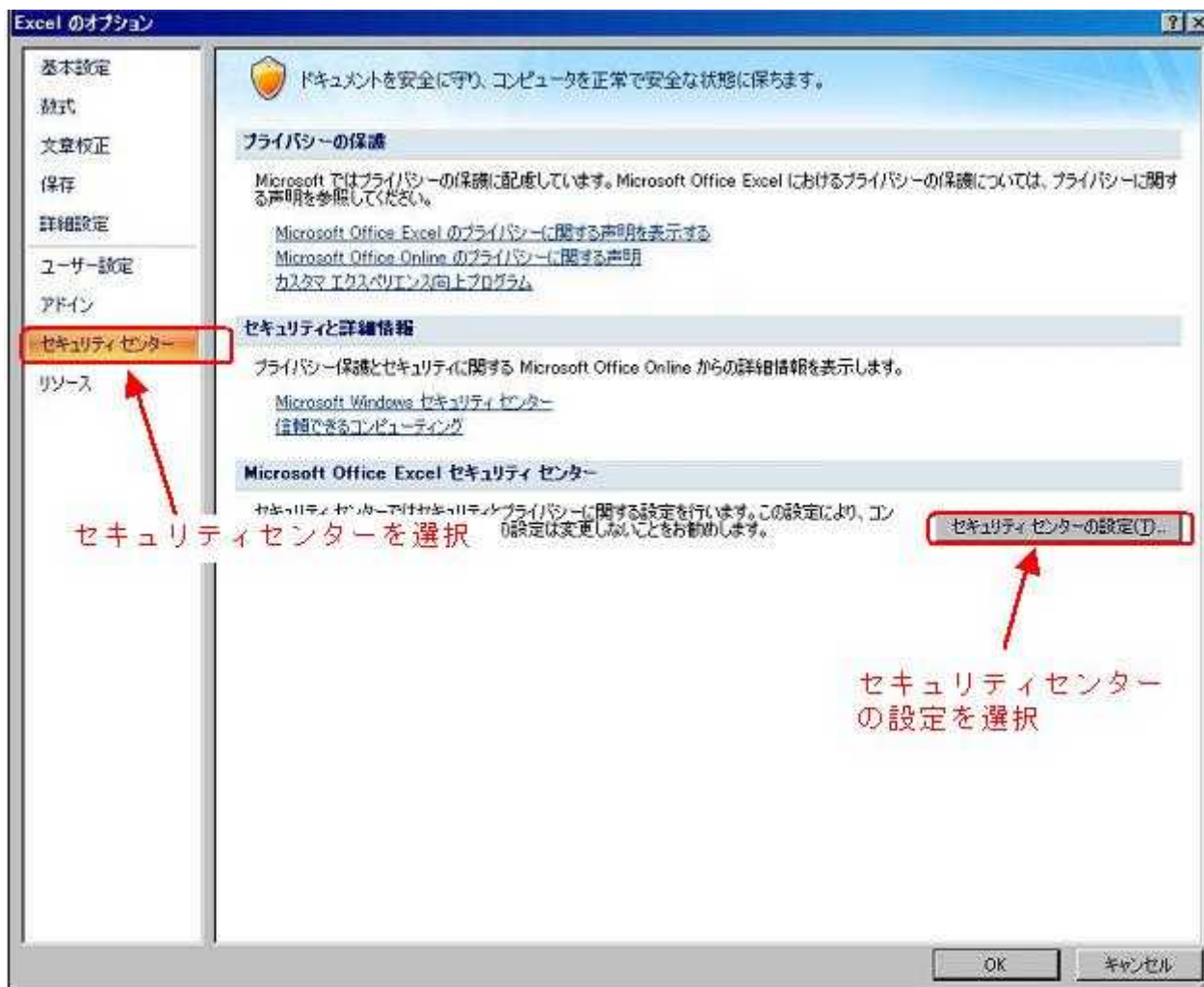
左上に「オフィスボタン(オフィスマーク)」があるのでクリックしてください。



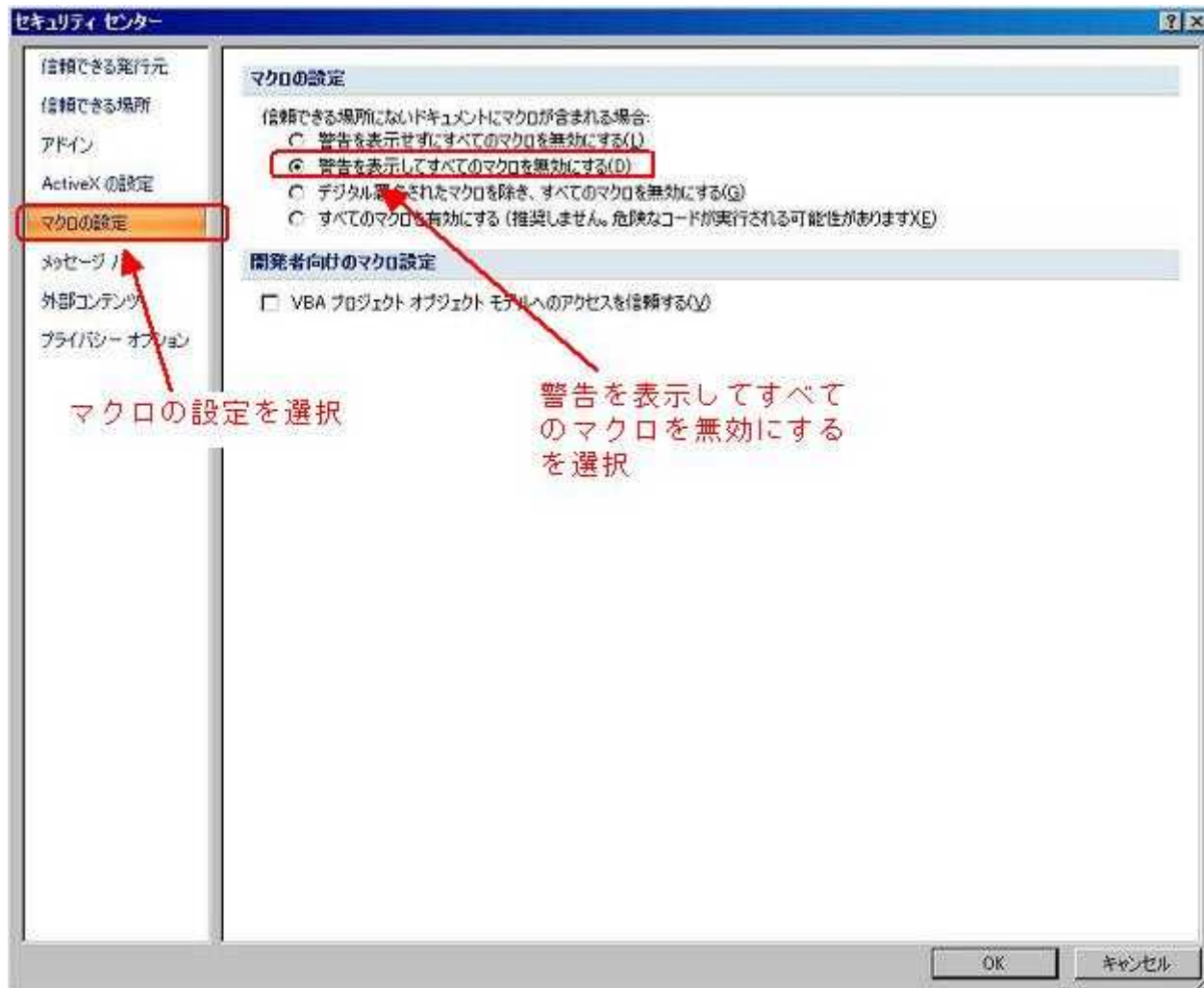
【2】Excel のオプションを選択してください。



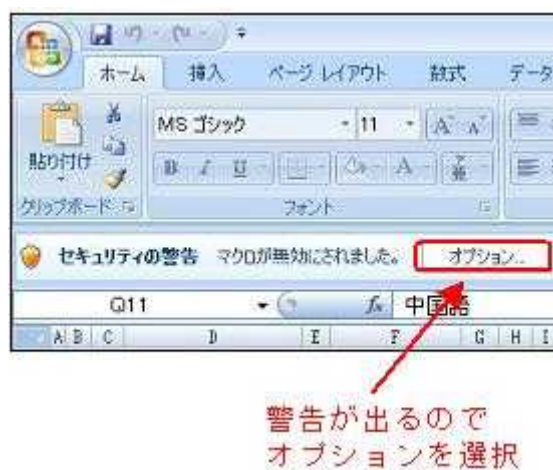
[3] セキュリティセンターを選択し、セキュリティセンターの設定ボタンをクリックしましょう。



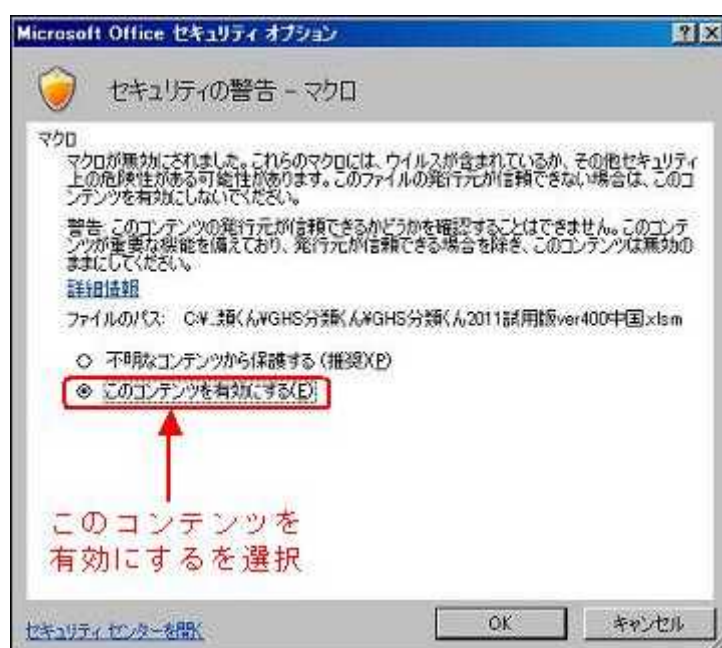
- [4] マクロの設定を選択し、警告を表示してすべてのマクロを無効にするを選択してください。
 「OK ボタン」をクリックして決定します。
 これで設定は終了です。マクロを利用できるようになります。



- [5] 設定後、「ソフト」を開いた際、下図の警告が出ます。(Excel2007 の場合)
 「GHS 分類くん」では「マクロ」を利用してソフトを動作させていますので、マクロを有効にする必要があります。
 マクロを有効にするため**オプション**を選択してください。



[6] このコンテンツを有効にするを選択してマクロを有効にしてください。



[7] 下図のようなソフトのトップページが開きます。



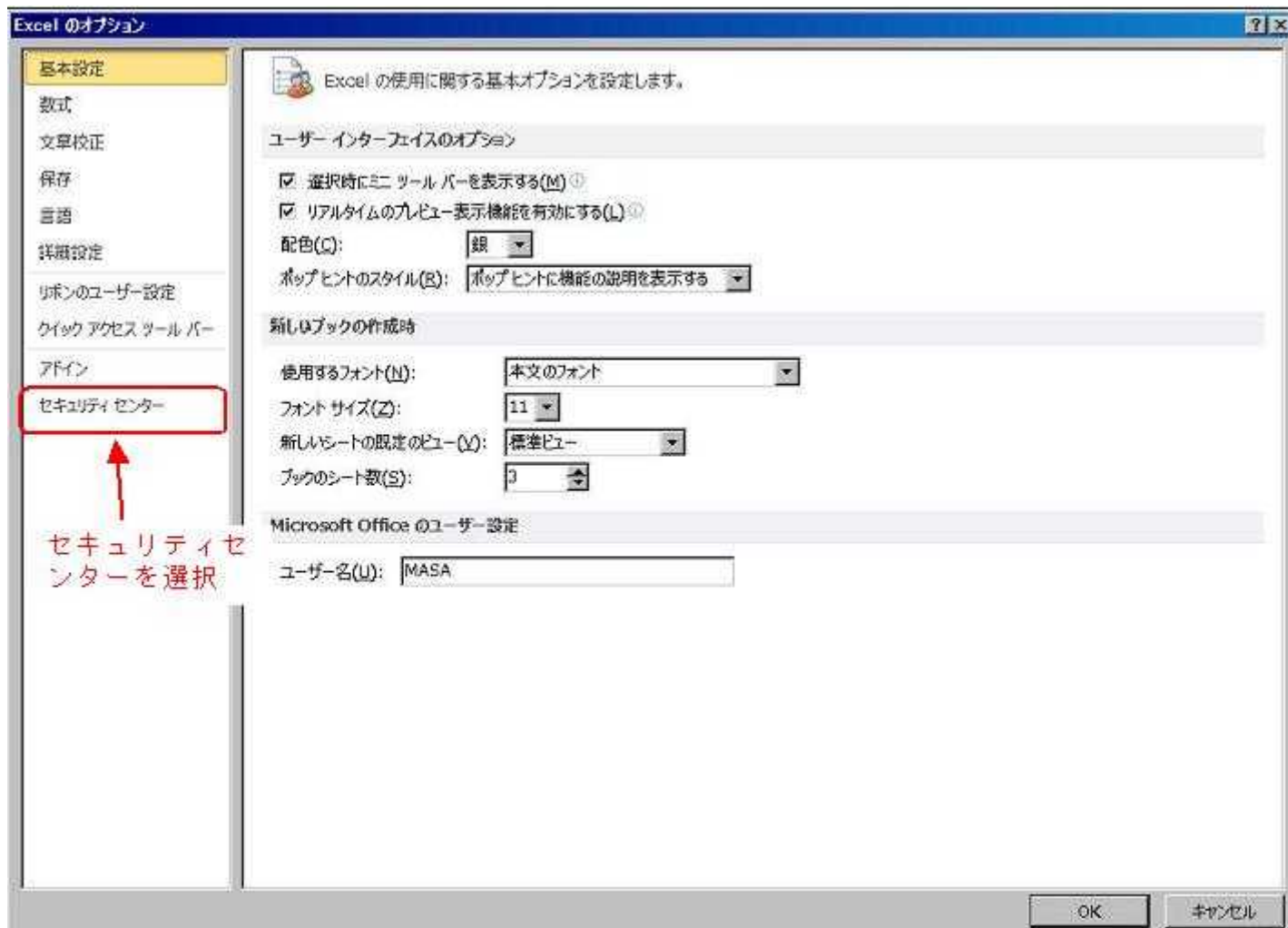
< Excel2010 > の場合

(1) ソフトを立ち上げる前に、エクセルを立ち上げてください。

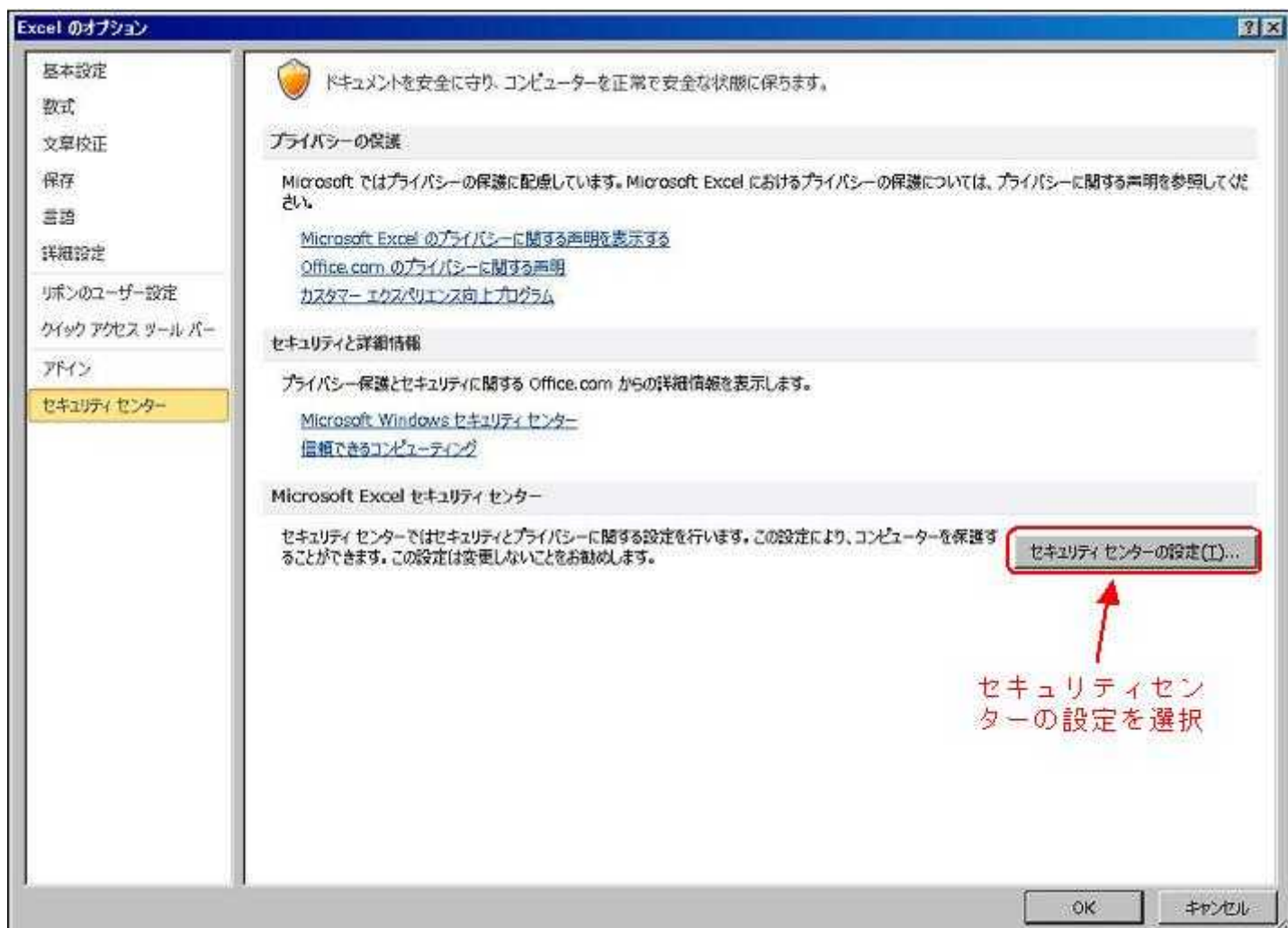
左上の「ファイル」をクリックして、現れた画面のオプションを選択してください。



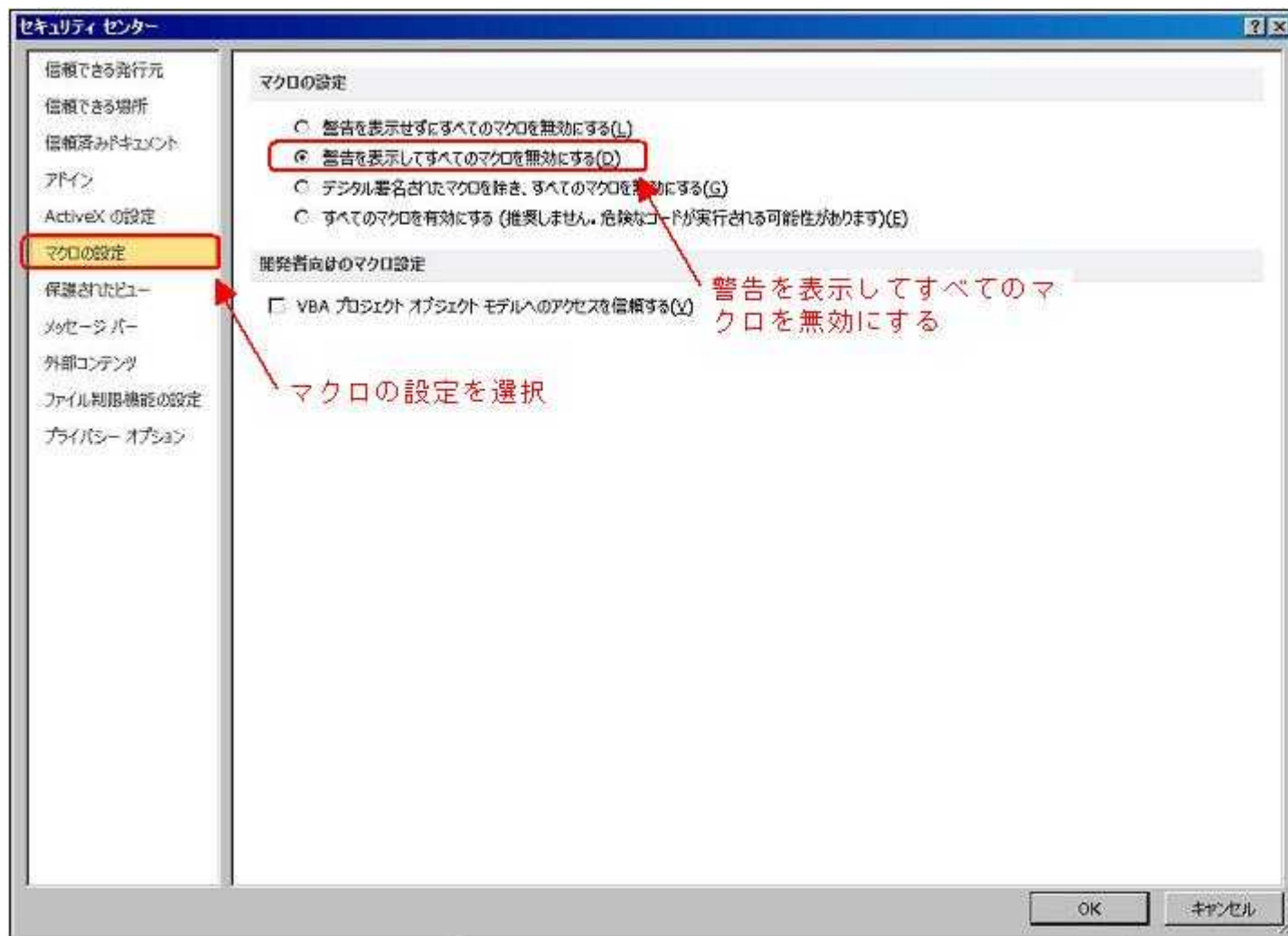
(2) Excel のオプションが開くと、セキュリティセンターを選択してください。



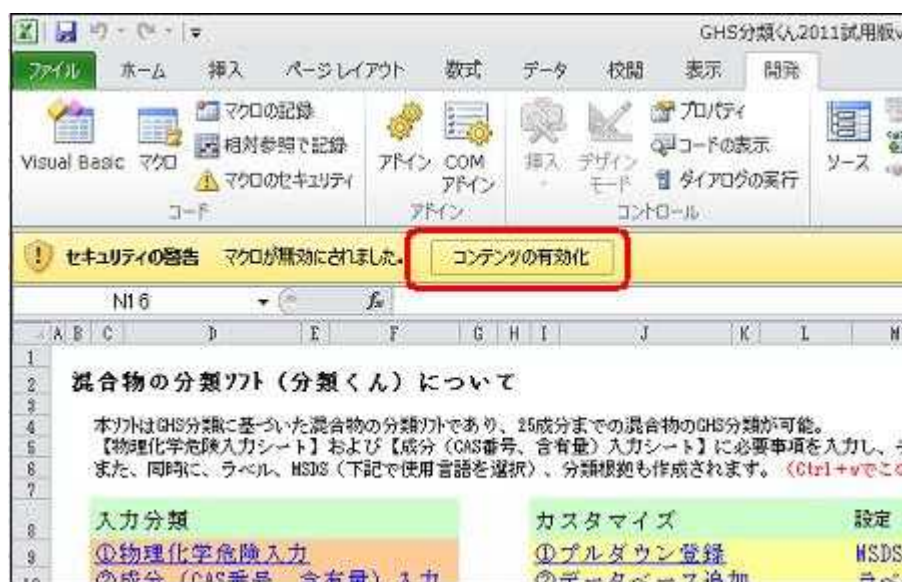
[3] 続けて、セキュリティセンターの設定ボタンをクリックしてください。



- [4] セキュリティセンターの画面が現れると、マクロの設定を選択し、警告を表示してすべてのマクロを無効にするを選んでください。



- [5] セキュリティレベルを「警告を表示して全てのマクロを無効にする」に設定した場合、「ソフト」を開くと下図の警告が出ます。(Excel2010の場合)「GHS分類くん」では「マクロ」を利用してソフトを動作させていますので、**コンテンツの有効化**を選択してください。



[6] 下図のようなソフトのトップページが開きます。



分類くんソフトの起動しよう

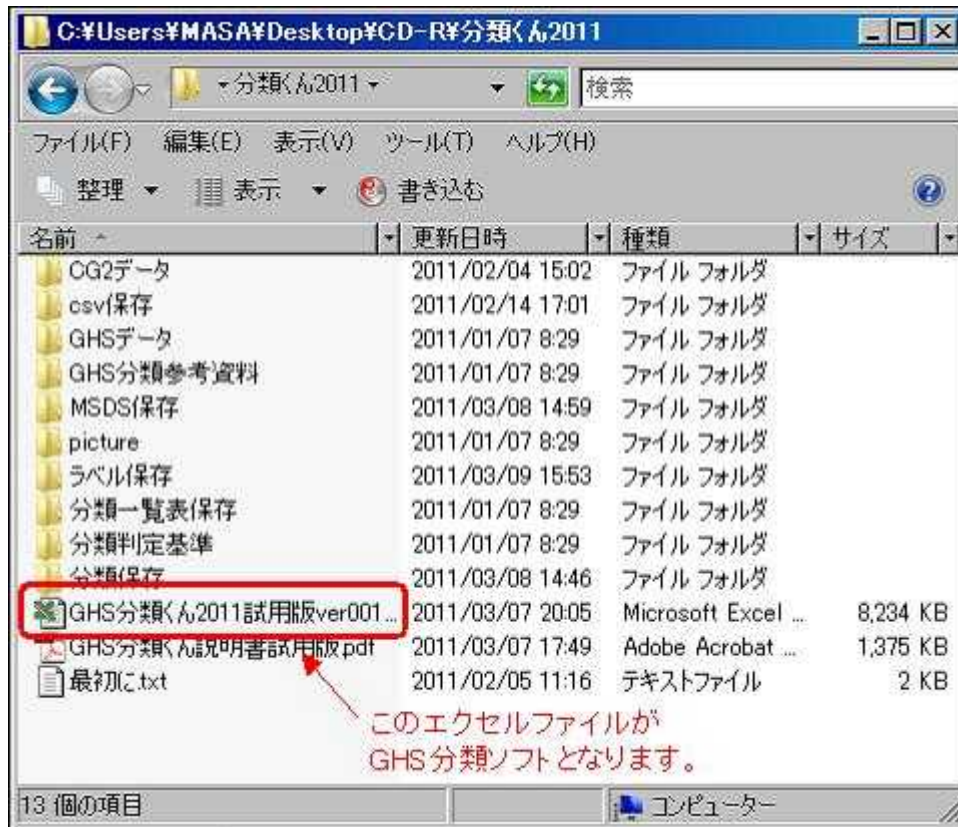
ソフトの起動にはマイクロソフト社の Excel の ver2007-2010 が必要となります。

ソフトは Excel に標準搭載されているマクロを用いて動作しますので、マクロを利用できるように設定する必要があります。

先に『マクロを使えるように設定を変更しよう』で設定を行いましょう。

〔1〕コピー後の「分類くん」のフォルダを開くと下記のフォルダやファイルがあります。

「GHS 分類くん」のエクセルファイルが「分類ソフト」となります。



〔2〕「ソフト」を開いた際、下図の警告が出ます。(Excel2007 の場合)

「GHS 分類くん」では「マクロ」を利用してソフトを動作させていますので、マクロを有効にする必要があります。

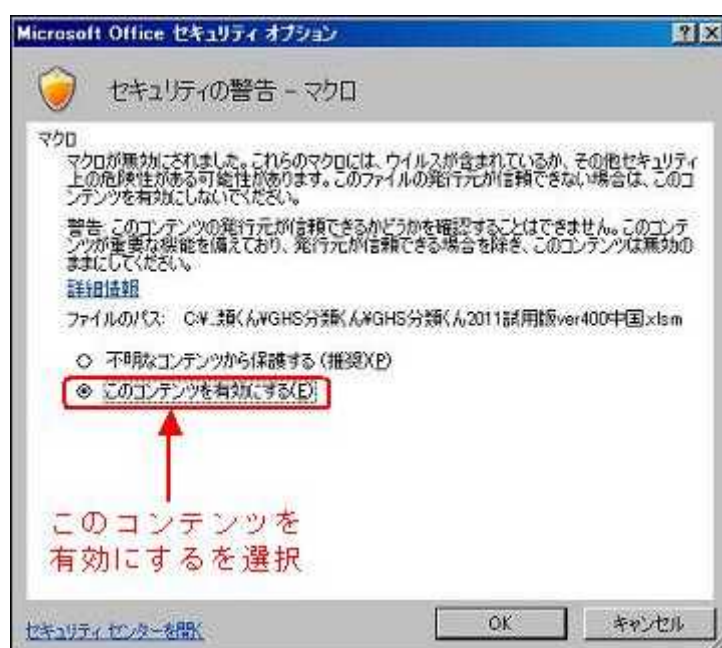
マクロを有効にするため**オプション**を選択してください。

Excel2010 の場合も同様にマクロを有効にしてください。



警告が出るので
オプションを選択

[3] このコンテンツを有効にするを選択してマクロを有効にしてください。



[4] 下図のようなソフトのトップページが開きます。



会社データを登録しよう

- [1] 「トップページ」 - 「カスタマイズ」の **プルダウン登録**を選択してください。

- [2] 下図のようにプルダウン登録ページが開かれますので、会社情報を記載してください。
MSDSの作成時に記載した情報を利用します。

	A	B	C	D	E	F
1	日本語		分類ソフトについて へ戻る		会社データを閉く	会社データを保存
2	(事業所)		本社	営業所		
3	整理番号1 (MSDSに印刷なし)		IT-001	IT-002		
4	メモ1 (MSDSに印刷なし)					
5						
6	事業所コード	Jigyosyo_code		1	10	
7	事業所名	Jigyosyo_name	本社	営業所		
8	会社名:	Jigyosyo_name2	IT-Allia株式会社	IT-Allia株式会社		
9	郵便番号:	Jigyosyo_zip	682-0915	682-0915		
10	住所:	Jigyosyo_address	兵庫県西宮市馬場町8-20	岡山県倉敷市		
11	担当部門:	Jigyosyo_tentobuson	GHS部	環境部		
12	電話番号:	Jigyosyo_telephone	090-2350-3713	090-2350-3713		
13	ファックス番号:	Jigyosyo_facsimile	0798-22-6404	0798-22-6404		
14	緊急連絡先電話番号:	Jigyosyo_emergency_telephone	090-2350-3713	090-2350-3713		
15	電子メールアドレス:	Jigyosyo_email_address	mitsumoto@inter7.jp	mitsumoto@inter7.jp		
16	GHS分類:		該当する	GHS分類基準に該当しない	未分類	
17	単一物質・混合物		単一物質	混合物	成型品	
18						
19	英語					
20	(事業所)		Head Office			
21	整理番号1 (MSDSに印刷なし)		IT-001	IT-002		
22	メモ1 (MSDSに印刷なし)					
23						
24	事業所コード	Jigyosyo_code		1		
25	事業所名	Jigyosyo_name	Head Office			
26	会社名:	Jigyosyo_name2	IT-Allia Ltd.			
27	郵便番号:	Jigyosyo_zip	682-0915			
28	住所:	Jigyosyo_address	8-20-1401, Baba-cho, Nishinomiya-shi, Hyogo, Japan			
29	担当部門:	Jigyosyo_tentobuson	Technical Division			
30	電話番号:	Jigyosyo_telephone	+81-798-22-6403			
31	ファックス番号:	Jigyosyo_facsimile	+81-798-22-6404			
32	緊急連絡先電話番号:	Jigyosyo_emergency_telephone	+81-798-22-6404			

[3] このプルダウン登録ページの会社情報は、**会社データを保存**ボタンをクリックすることで、保存できます。

	A	B	C	D	E	F
1	日本語		分類ツタについて へ戻る		会社データを開く	会社データを保存
2		(事業所)		本社	営業所	
3		整理番号1 (MSDSに印刷なし)		IT-001	IT-002	
4		メモ1 (MSDSに印刷なし)				
5						
6		事業所コード	Jigyosyo_code		1	10
7		事業所名	Jigyosyo_name	本社	営業所	
8		会社名:	Jigyosyo_name2	IT-Allia株式会社	IT-Allia株式会社	
9		郵便番号:	Jigyosyo_zip	662-0915	662-0915	
10		住所:	Jigyosyo_address	兵庫県西宮市馬場町8-20	岡山県倉敷市	
11		担当部門:	Jigyosyo_tantobuon	GHS部	環境部	
12		電話番号:	Jigyosyo_telephone	090-2350-3713	090-2350-3713	
13		ファックス番号:	Jigyosyo_facsimile	0798-22-8404	0798-22-8404	
14		緊急連絡先電話番号:	Jigyosyo_emergency_telephone	090-2350-3713	090-2350-3713	
15		電子メールアドレス:	Jigyosyo_Email_address	mitsumoto@inter7.jp	mitsumoto@inter7.jp	
16		GHS分類:		該当する	GHS分類基準に該当しない	未分類
17		単一物質・混合物		単一物質	混合物	成型品
18						
19	英語					
20		(事業所)		Head Office		
21		整理番号1 (MSDSに印刷なし)		IT-001	IT-002	
22		メモ1 (MSDSに印刷なし)				
23						
24		事業所コード	Jigyosyo_code		1	
25		事業所名	Jigyosyo_name	Head Office		
26		会社名:	Jigyosyo_name2	IT-Allia Ltd.		
27		郵便番号:	Jigyosyo_zip	662-0915		
28		住所:	Jigyosyo_address	8-20-1401, Baba-cho, Nishinomiya-shi, Hyogo, Japan		
29		担当部門:	Jigyosyo_tantobuon	Technical Division		
30		電話番号:	Jigyosyo_telephone	+81-798-22-8403		
31		ファックス番号:	Jigyosyo_facsimile	+81-798-22-8404		
32		緊急連絡先電話番号:	Jigyosyo_emergency_telephone	+81-798-22-8404		

[4] 以前に保存した会社情報は、**会社データを開く**ボタンをクリックすることで、読み出すことができます。

	A	B	C	D	E	F
1	日本語		分類ツタについて へ戻る		会社データを開く	会社データを保存
2		(事業所)		本社	営業所	
3		整理番号1 (MSDSに印刷なし)		IT-001	IT-002	
4		メモ1 (MSDSに印刷なし)				
5						
6		事業所コード	Jigyosyo_code		1	10
7		事業所名	Jigyosyo_name	本社	営業所	
8		会社名:	Jigyosyo_name2	IT-Allia株式会社	IT-Allia株式会社	
9		郵便番号:	Jigyosyo_zip	662-0915	662-0915	
10		住所:	Jigyosyo_address	兵庫県西宮市馬場町8-20	岡山県倉敷市	
11		担当部門:	Jigyosyo_tantobuon	GHS部	環境部	
12		電話番号:	Jigyosyo_telephone	090-2350-3713	090-2350-3713	
13		ファックス番号:	Jigyosyo_facsimile	0798-22-8404	0798-22-8404	
14		緊急連絡先電話番号:	Jigyosyo_emergency_telephone	090-2350-3713	090-2350-3713	
15		電子メールアドレス:	Jigyosyo_Email_address	mitsumoto@inter7.jp	mitsumoto@inter7.jp	
16		GHS分類:		該当する	GHS分類基準に該当しない	未分類
17		単一物質・混合物		単一物質	混合物	成型品
18						
19	英語					
20		(事業所)		Head Office		
21		整理番号1 (MSDSに印刷なし)		IT-001	IT-002	
22		メモ1 (MSDSに印刷なし)				
23						
24		事業所コード	Jigyosyo_code		1	
25		事業所名	Jigyosyo_name	Head Office		
26		会社名:	Jigyosyo_name2	IT-Allia Ltd.		
27		郵便番号:	Jigyosyo_zip	662-0915		
28		住所:	Jigyosyo_address	8-20-1401, Baba-cho, Nishinomiya-shi, Hyogo, Japan		
29		担当部門:	Jigyosyo_tantobuon	Technical Division		
30		電話番号:	Jigyosyo_telephone	+81-798-22-8403		
31		ファックス番号:	Jigyosyo_facsimile	+81-798-22-8404		
32		緊急連絡先電話番号:	Jigyosyo_emergency_telephone	+81-798-22-8404		

全体の流れを把握しよう

- [1] 「トップページ」 - 「入力分類」の **物理化学危険入力** を選択し、混合物の物理化学危険データを入力します。
 GHS 分類してみようの口 [混合物の物理化学危険入力をしよう](#) を参考にを入力してください。

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分（CAS番号、含有量）入力
- ③MSDS（日本語）入力項目
- ④MSDS（英語）入力項目
- ⑤MSDS（中国語）入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語
 を選択してく
 ださい。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時に
 パスワードが必要です。

全体を保存 全体を閉く 新規作成（全クリア） ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
 をクリアします。

データ検索（GHS分類）

分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
 GHS20T3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

- [2] 「トップページ」 - 「入力分類」の **成分（CAS番号、含有量）入力** を選択し、混合物に含まれる成分のCAS番号と含有量を入力します。
 GHS 分類してみようの口 [成分と含有量を入力しよう](#) を参考にを入力してください。

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分（CAS番号、含有量）入力
- ③MSDS（日本語）入力項目
- ④MSDS（英語）入力項目
- ⑤MSDS（中国語）入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語
 を選択してく
 ださい。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時に
 パスワードが必要です。

全体を保存 全体を閉く 新規作成（全クリア） ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
 をクリアします。

データ検索（GHS分類）

分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
 GHS20T3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[3] 「トップページ」の **MSDS 使用言語** を選択します。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①プルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分（CAS番号、含有量）入力	②データベース追加	ラベルCSY自動保存 ON
③MSDS（日本語）入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS（英語）入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS（中国語）入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS
 ①MSDS確認、保存
 ラベル
 ①ラベル確認、保存
 分類根拠
 ①分類根拠印刷
 データベース
 ①成分データベース一覧
 ②混合物データベース一覧

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成（全クリア） ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索（GHS分類） 分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版 GHS第3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[4] 「トップページ」 - 「入力分類」の**対象言語のMSDS 入力項目**を選択し、MSDS やラベルに記載したい項目を入力します。
 GHS 分類してみようの口 [MSDS 作成\(入力項目\)を記載しよう](#)を参考に入力してください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①プルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分（CAS番号、含有量）入力	②データベース追加	ラベルCSY自動保存 ON
③MSDS（日本語）入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS（英語）入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS（中国語）入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS
 ①MSDS確認、保存
 ラベル
 ①ラベル確認、保存
 分類根拠
 ①分類根拠印刷
 データベース
 ①成分データベース一覧
 ②混合物データベース一覧

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成（全クリア） ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索（GHS分類） 分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版 GHS第3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[5] 「データ検索」ボタンをクリックすると、MSDS およびラベルが自動的に作成されます。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分（CAS番号、含有量）入力
- ③MSDS（日本語）入力項目
- ④MSDS（英語）入力項目
- ⑤MSDS（中国語）入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語
 を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存

ラベル

- ①ラベル確認、保存

分類根拠

- ①分類根拠印刷

データベース

- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

MSDS組成情報自動入力	ON
ラベルCSV自動保存	ON
法律が変更となった場合	
①表示対象物質追加	
②通知対象物質追加	
③オゾン層への有害対象物リスト	

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時に
 パスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成
 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
 況をクリアします。

データ検索
 (GHS分類)

分類根拠
 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
 GHS2009版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終了すればGHS分類は可能です。

🎵 使用言語を選択しよう

使用言語を選ぼう

【1】 MSDS やラベルの原案作成に使用する言語を選択します。

標準ソフトでは「日本語」しか選択することができませんが、

英語バージョンや中国語バージョンの機能を追加することで、「英語」「中国語」の MSDS やラベルを作成することができるようになります。

TOP ページの「MSDS 使用言語」を選択してください。

2011/7/10

英語MSDS
中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+Wでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 日本語 (選択中)
 MSDS使用言語を選択してください。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 **全体を開く** **新規作成 (全クリア)**
 ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
 JIS Z 7252
 ←通常はJIS版
 GHS2009版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

【2】 使用言語は下図のようにプルダウンで変更可能です。

MSDS使用言語

日本語 (選択中)

日本語

英語

MSDS使用言語を選択してください。

🎵 GHS 分類してみよう

混合物の物理化学危険入力をしよう

【1】「トップページ」-「入力分類」の **物理化学危険入力** を選択してください。

2011/7/10

英語MSDS
中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
日本語

←MSDS使用言語
を選択してく
ださい。

MSDS

- ①MSDS確認、保存

ラベル

- ①ラベル確認、保存

分類根拠

- ①分類根拠印刷

データベース

- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

MSDS組成情報自動入力	ON
ラベルCSV自動保存	ON
法律が変更となった場合	
①表示対象物質追加	
②通知対象物質追加	
③オゾン層への有害対象物リスト	

本人確認パスワード

ファイルの保存、ファイルを開く時に
パスワードが必要です。

全体を保存

全体を開く

新規作成
(全クリア)

←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
をクリアします。

データ検索
(GHS分類)

分類根拠
JIS Z 7252

←通常はJIS版
GHS2009版を要求された場合

↑
①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

【2】 下図のように物理化学危険入力ページが開かれます。

「クリア」ボタンをクリックすると文字が全部消えて、下図のようになります。

「引火性液体」以外の物理化学的危険性については、類推するロジックがないため、手入力する必要があります。
 (「引火性液体」は「引火点・初留点」を入力することで自動計算されます。)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	分類外についてへ戻る													
2	クリア			分類対象外チェック			空白→区分外			混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。				
3	保存名(製品名)			全体を保存										
4	混合物の性状:			固体	液体	気体	分類できない							
5	混合物のpH:			pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない							
6	混合物の引火点:			←液体の時のみ			引火点が93℃を超えることが判明							
7	混合物の初留点(沸点):			←液体の時のみ			初留点(沸点)が35℃を超えることが判明							
8	混合物の40℃動粘性率(mm ² /s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm ³):			←データある場合			←dataなしは「空白」とする							
10	1	火災類		不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6				
11	2	可燃性/引火性ガス		区分1	区分2	区分外	分類できない							
12	3	可燃性/引火性エアゾール		区分1	区分2	区分外	分類できない							
13	4	支燃性/酸化性ガス		区分1	区分外	分類できない								
14	5	高压ガス		圧縮ガス	液化ガス	超冷液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない					
15	6	引火性液体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない					
16	7	可燃性固体		区分1	区分2	区分外	分類できない							
17	8	自己反応性物質および混合物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない				
18	9	自然発火性液体		区分1	区分外	分類できない								
19	10	自然発火性固体		区分1	区分外	分類できない								
20	11	自己発熱性物質および混合物		区分1	区分2	区分外	分類できない							
21	12	水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない						
22	13	酸化性液体		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない						
23	14	酸化性固体		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない						
24	15	有機過酸化物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない				
25	16	金属腐食性物質		区分1	区分外	分類できない								

【3】 「保存名」を記載し、「混合物の性状」を選択してください。

保存名は、お好きな名前を利用できます。製品名や製品コードを保存名とするのが良いでしょう。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	分類外についてへ戻る													
2	クリア			分類対象外チェック			空白→区分外			混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。				
3	保存名(製品名)			テスト	全体を保存									
4	混合物の性状:			液体	固体	液体	気体	分類できない						
5	混合物のpH:			pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない							
6	混合物の引火点:			←液体の時のみ			引火点が93℃を超えることが判明							
7	混合物の初留点(沸点):			←液体の時のみ			初留点(沸点)が35℃を超えることが判明							
8	混合物の40℃動粘性率(mm ² /s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm ³):			←データある場合			←dataなしは「空白」とする							
10	1	火災類		不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6				
11	2	可燃性/引火性ガス		区分1	区分2	区分外	分類できない							
12	3	可燃性/引火性エアゾール		区分1	区分2	区分外	分類できない							
13	4	支燃性/酸化性ガス		区分1	区分外	分類できない								
14	5	高压ガス		圧縮ガス	液化ガス	超冷液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない					
15	6	引火性液体	区分1	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない					
16	7	可燃性固体		区分1	区分2	区分外	分類できない							
17	8	自己反応性物質および混合物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない				
18	9	自然発火性液体		区分1	区分外	分類できない								
19	10	自然発火性固体		区分1	区分外	分類できない								
20	11	自己発熱性物質および混合物		区分1	区分2	区分外	分類できない							
21	12	水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない						
22	13	酸化性液体		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない						
23	14	酸化性固体		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない						
24	15	有機過酸化物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない				
25	16	金属腐食性物質		区分1	区分外	分類できない								

[4] 「混合物の性状」を選択後に、「分類対象外チェック」ボタンをクリックしてください。

分類ソフトについて へ戻る

クリア **分類対象外チェック** 空白→区分外

混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。

全体を保存

保存名 (製品名)	テスト	固体	液体	気体	分類できない					
混合物の性状:	液体									
混合物のpH:		pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない					
混合物の引火点:		←液体の時のみ			分類できない					
混合物の初留点 (沸点):		←液体の時のみ			分類できない					
混合物の40℃動粘性率(mm ² /s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm ³):		←データある場合			分類できない					

引火点が93℃を超えることがあり
初留点 (沸点) が35℃を超える
←dataなしは「空白」とする

1	火災類		不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6
2	可燃性/引火性ガス		区分1	区分2	区分外	分類できない			
3	可燃性/引火性エアゾール		区分1	区分2	区分外	分類できない			
4	支燃性/酸化性ガス		区分1	区分外	分類できない				
5	高压ガス		圧縮ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない	
6	引火性液体	区分1	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	
7	可燃性固体		区分1	区分2	区分外	分類できない			
8	自己反応性物質および混合物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない
9	自然発火性液体		区分1	区分外	分類できない				
10	自然発火性固体		区分1	区分外	分類できない				
11	自己発熱性物質および混合物		区分1	区分2	区分外	分類できない			
12	水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
13	酸化性液体		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
14	酸化性固体		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
15	有機過酸化物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない
16	金属腐食性物質		区分1	区分外	分類できない				

[5] 「混合物の性状」が「液体」であるため、「分類対象外」である下記の6項目に「分類対象外」が記載されます。「可燃性 / 引火性ガス」「支燃性 / 酸化性ガス」「高压ガス」「可燃性固体」「自然発火性固体」「酸化性固体」これらは、「ガス」または「固体」であることが必要な項目ですので、分類対象外となります。

分類ソフトについて へ戻る

クリア **分類対象外チェック** 空白→区分外

混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。

全体を保存

保存名 (製品名)	テスト	固体	液体	気体	分類できない				
混合物の性状:	液体								
混合物のpH:		pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない				
混合物の引火点:		←液体の時のみ			分類できない				
混合物の初留点 (沸点):		←液体の時のみ			分類できない				
混合物の40℃動粘性率(mm ² /s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm ³):		←データある場合			分類できない				

引火点が93℃を超えることがあり
初留点 (沸点) が35℃を超える
←dataなしは「空白」とする

1	火災類		不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6
2	可燃性/引火性ガス	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
3	可燃性/引火性エアゾール		区分1	区分2	区分外	分類できない			
4	支燃性/酸化性ガス	分類対象外	区分1	区分外	分類できない				
5	高压ガス	分類対象外	圧縮ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない	
6	引火性液体	区分1	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	
7	可燃性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
8	自己反応性物質および混合物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない
9	自然発火性液体		区分1	区分外	分類できない				
10	自然発火性固体	分類対象外	区分1	区分外	分類できない				
11	自己発熱性物質および混合物		区分1	区分2	区分外	分類できない			
12	水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
13	酸化性液体		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
14	酸化性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
15	有機過酸化物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない
16	金属腐食性物質		区分1	区分外	分類できない				

[6] 続いて、「空白 区分外」ボタンをクリックしてください。

分類方法について へ戻る

クリア 分類対象外チェック **空白→区分外**

混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。

全体を保存

保存名(製品名)	テスト	固体	液体	気体	分類できない
混合物の性状:	液体				
混合物のpH:		pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない
混合物の引火点:		←液体の時のみ			引火点が93℃を超えることが判
混合物の初留点(沸点):		←液体の時のみ			初留点(沸点)が35℃を超える
混合物の40℃動粘性率(mm ² /s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm ³):		←データある場合			←dataなしは「空白」とする

1 火薬類		不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6
2 可燃性/引火性ガス	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
3 可燃性/引火性エアゾール		区分1	区分2	区分外	分類できない			
4 可燃性/酸化性ガス	分類対象外	区分1	区分外	分類できない				
5 高压ガス	分類対象外	圧縮ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない	
6 引火性液体	区分1	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	
7 可燃性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
8 自己反応性物質および混合物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない
9 自然発火性液体		区分1	区分外	分類できない				
10 自然発火性固体	分類対象外	区分1	区分外	分類できない				
11 自己発熱性物質および混合物		区分1	区分2	区分外	分類できない			
12 水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
13 酸化性液体		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
14 酸化性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
15 有機過酸化物		タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない
16 金属腐食性物質		区分1	区分外	分類できない				

[7] これまで「空白」だった項目に「区分外」が記載されます。
 特殊な製品以外は、これで分類部分の入力は終了となります。
 この混合物が、「区分外」以外となる物理化学的危険性を有する場合は、次項を参照に修正してください。

分類方法について へ戻る

クリア 分類対象外チェック **空白→区分外**

混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。

全体を保存

保存名(製品名)	テスト	固体	液体	気体	分類できない
混合物の性状:	液体				
混合物のpH:		pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない
混合物の引火点:		←液体の時のみ			引火点が93℃を超えることが判
混合物の初留点(沸点):		←液体の時のみ			初留点(沸点)が35℃を超える
混合物の40℃動粘性率(mm ² /s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm ³):		←データある場合			←dataなしは「空白」とする

1 火薬類	区分外	不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6
2 可燃性/引火性ガス	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
3 可燃性/引火性エアゾール	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
4 可燃性/酸化性ガス	分類対象外	区分1	区分外	分類できない				
5 高压ガス	分類対象外	圧縮ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない	
6 引火性液体	区分1	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	
7 可燃性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
8 自己反応性物質および混合物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない
9 自然発火性液体	区分外	区分1	区分外	分類できない				
10 自然発火性固体	分類対象外	区分1	区分外	分類できない				
11 自己発熱性物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
12 水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
13 酸化性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
14 酸化性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
15 有機過酸化物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない
16 金属腐食性物質	区分外	区分1	区分外	分類できない				

- [8] 分類対象外と区分外以外の物理化学的危険性を有する混合物については、下図のように変更します。
 例えば、混合物の「火薬類」を「等級1.3」に変更する場合は、プルダウンで簡単に変更できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
1	分類ボタンについて へ戻る															
2	クリア			分類対象外チェック			空白→区分外			混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。						
3	保存名(製品名)			テスト			全体を保存									
4	混合物の性状:			液体			固体	液体	気体	分類できない						
5	混合物のpH:			pH2~11.5			pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない						
6	混合物の引火点:			300.0			←液体の時のみ									
7	混合物の初留点(沸点):			300.0			←液体の時のみ									
8	混合物の40℃動粘性率(mm2/s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm3):			1			←データある場合									
9																
10	1	火薬類	区分外	不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6						
11	2	可燃性/引火性ガス	区分1	区分1	区分2	区分外	分類できない									
12	3	可燃性/引火性エアゾール	区分1	区分1	区分2	区分外	分類できない									
13	4	支燃性/酸化性ガス	区分1	区分1	区分外	分類できない										
14	5	高压ガス	分類対象外	圧縮ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない							
15	6	引火性液体	区分1	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない							
16	7	可燃性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない									
17	8	自己反応性物質および混合物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC&D	タイプE&F	タイプG	区分外	分類できない						
18	9	自然発火性液体	区分外	区分1	区分外	分類できない										
19	10	自然発火性固体	分類対象外	区分1	区分外	分類できない										
20	11	自己発熱性物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない									
21	12	水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない								
22	13	酸化性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない								
23	14	酸化性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない								
24	15	有機過酸化物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC&D	タイプE&F	タイプG	区分外	分類できない						
25	16	金属腐食性物質	区分外	区分1	区分外	分類できない										

- [9] 混合物の pH をプルダウンで選択します。
 皮膚刺激性・眼刺激性の分類に利用します。固体や気体の場合でも少量の水に溶かした際の pH を選択してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
1	分類ボタンについて へ戻る															
2	クリア			分類対象外チェック			空白→区分外			混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。						
3	保存名(製品名)			テスト			全体を保存									
4	混合物の性状:			液体			固体	液体	気体	分類できない						
5	混合物のpH:			pH2~11.5			pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない						
6	混合物の引火点:			300.0			←液体の時のみ									
7	混合物の初留点(沸点):			300.0			←液体の時のみ									
8	混合物の40℃動粘性率(mm2/s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm3):			1			←データある場合									
9																
10	1	火薬類	区分外	不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6						
11	2	可燃性/引火性ガス	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない									
12	3	可燃性/引火性エアゾール	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない									
13	4	支燃性/酸化性ガス	分類対象外	区分1	区分外	分類できない										
14	5	高压ガス	分類対象外	圧縮ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない							
15	6	引火性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない							
16	7	可燃性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない									
17	8	自己反応性物質および混合物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC&D	タイプE&F	タイプG	区分外	分類できない						
18	9	自然発火性液体	区分外	区分1	区分外	分類できない										
19	10	自然発火性固体	分類対象外	区分1	区分外	分類できない										
20	11	自己発熱性物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない									
21	12	水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない								
22	13	酸化性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない								
23	14	酸化性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない								
24	15	有機過酸化物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC&D	タイプE&F	タイプG	区分外	分類できない						
25	16	金属腐食性物質	区分外	区分1	区分外	分類できない										

[10] 混合物の引火点を入力します。

ここに入力した値は「引火性液体」の区分の判断にのみ使用されます。MSDS 等には記載されません。

引火点が 93 を超えると、分類結果は変化しません。

引火点のない混合物や 93 を超えることが確実な混合物の場合は、300 を入力すると良いでしょう。

例えば、消防法の第 4 石油類や動植物油類の場合は、引火点は 200 以上ですので、300 を入力しましょう。

分類についてへ戻る

クリア 分類対象外チェック 空白→区分外 混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。

全体を保存

保存名(製品名)	テスト	固体	液体	気体	分類できない
混合物の性状:	液体				
混合物のpH:	pH2~11.5	pH2以下	pH2~11.5	pH11.6以上	分類できない
混合物の引火点:	300.0				←液体の時のみ
混合物の初沸点(沸点):	300.0				←液体の時のみ
混合物の40℃動粘度(mPa·s)					←データある場合
粘性率(mPa·s)/密度(g/cm3):	1				←dataなしは「空白」とする

引火点が93℃を超えることが初沸点(沸点)が93℃を超える

1 火薬類	区分外	不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6
2 可燃性/引火性ガス	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
3 可燃性/引火性エアゾール	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
4 炎燃性/酸化性ガス	分類対象外	区分1	区分外	分類できない				
5 高压ガス	分類対象外	溶解ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない	
6 引火性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	
7 可燃性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
8 自己反応性物質および混合物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC#D	タイプE#F	タイプG	区分外	分類できない
9 自然発火性液体	区分外	区分1	区分外	分類できない				
10 自然発火性固体	分類対象外	区分1	区分外	分類できない				
11 自己発熱性物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない			
12 水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
13 酸化性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
14 酸化性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない		
15 有機過氧化物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC#D	タイプE#F	タイプG	区分外	分類できない
16 金属腐食性物質	区分外	区分1	区分外	分類できない				

[11] 混合物の初留点(沸点)を入力します。

ここに入力した値も「引火性液体」の区分の判断にのみ使用されます。MSDS 等には記載されません。

初留点(沸点)が 35 を超えると、分類結果は変化しません。

初留点(沸点)が 35 を超えることが確実な混合物の場合は、300を入力すると良いでしょう。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O				
1	分類ツリについて へ戻る																	
2	クリア			分類対象外チェック			空白→区分外			混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。								
3	保存名(製品名)			テスト			全体を保存											
4	混合物の性状:			液体			固体			液体			気体			分類できない		
5	混合物のpH:			pH2~11.5			pH2以下			pH2~11.5			pH11.6以上			分類できない		
6	混合物の引火点:			300.0						←液体の時のみ			引火点が93℃を超えることがあり					
7	混合物の初留点(沸点):			300.0						←液体の時のみ			初留点(沸点)が35℃を超える					
8	混合物の40℃動粘性率(mm2/s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm3):			1						←データある場合			←dataなしは「空白」とする					
9																		
10	1	火薬類	区分外	不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6								
11	2	可燃性/引火性ガス	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない											
12	3	可燃性/引火性エアゾール	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない											
13	4	可燃性/酸化性ガス	分類対象外	区分1	区分外	分類できない												
14	5	高压ガス	分類対象外	圧縮ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない									
15	6	引火性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない									
16	7	可燃性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない											
17	8	自己反応性物質および混合物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない								
18	9	自然発火性液体	区分外	区分1	区分外	分類できない												
19	10	自然発火性固体	分類対象外	区分1	区分外	分類できない												
20	11	自己発熱性物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない											
21	12	水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない										
22	13	酸化性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない										
23	14	酸化性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない										
24	15	有機過酸化物質	区分外	タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない								
25	16	金属腐食性物質	区分外	区分1	区分外	分類できない												

[12] 混合物の 40 での動粘性率(mm2/s)を入力します。

$$\text{動粘性率 (mm}^2\text{/s)} = \text{粘性率 (mPa}\cdot\text{s)} \div \text{密度 (g/cm}^3\text{)}$$

データがない場合は、空白としてください。

吸引性呼吸器有害性の判定に利用します。20.5mm2/sを超える混合物では、分類結果が変化しません。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O				
1	分類ツリについて へ戻る																	
2	クリア			分類対象外チェック			空白→区分外			混合物の性状を選択して、「クリア」→「分類対象外チェック」→ボタンを押せば簡単に入力できます。								
3	保存名(製品名)			テスト			全体を保存											
4	混合物の性状:			液体			固体			液体			気体			分類できない		
5	混合物のpH:			pH2~11.5			pH2以下			pH2~11.5			pH11.6以上			分類できない		
6	混合物の引火点:			300.0						←液体の時のみ			引火点が93℃を超えることがあり					
7	混合物の初留点(沸点):			300.0						←液体の時のみ			初留点(沸点)が35℃を超える					
8	混合物の40℃動粘性率(mm2/s) =粘性率(mPa・s)/密度(g/cm3):			1						←データある場合			←dataなしは「空白」とする					
9																		
10	1	火薬類	区分外	不安定爆発物	等級1.1	等級1.2	等級1.3	等級1.4	等級1.5	等級1.6								
11	2	可燃性/引火性ガス	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない											
12	3	可燃性/引火性エアゾール	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない											
13	4	可燃性/酸化性ガス	分類対象外	区分1	区分外	分類できない												
14	5	高压ガス	分類対象外	圧縮ガス	液化ガス	溶解液化ガス	溶解ガス	区分外	分類できない									
15	6	引火性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない									
16	7	可燃性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分外	分類できない											
17	8	自己反応性物質および混合物	区分外	タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない								
18	9	自然発火性液体	区分外	区分1	区分外	分類できない												
19	10	自然発火性固体	分類対象外	区分1	区分外	分類できない												
20	11	自己発熱性物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分外	分類できない											
21	12	水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない										
22	13	酸化性液体	区分外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない										
23	14	酸化性固体	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない										
24	15	有機過酸化物質	区分外	タイプA	タイプB	タイプC/D	タイプE/F	タイプG	区分外	分類できない								
25	16	金属腐食性物質	区分外	区分1	区分外	分類できない												

成分と含有量を入力しよう

[1] 「トップページ」 - 「入力分類」の **成分(CAS番号、含有量)入力** を選択してください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ツツ (分類くん) について

本ツツはGHS分類に基づいた混合物の分類ツツであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分(CAS番号、含有量)入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分(CAS番号、含有量)入力**
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語
 を選択してく
 ださい

MSDS

- ①MSDS確認、保存

ラベル

- ①ラベル確認、保存

分類根拠

- ①分類根拠印刷

データベース

- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時に
 パスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア)
 ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
 をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
 GHS第3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[2] 下図のように成分と含有量の入力ページが開かれます。

分類ツツについてへ戻る

混合物の性状: 0

データ検索 (GHS分類) 全体を保存 全体を開く 成分名から CAS検索 (部分検索) 混合物の 入力

検索時間 100/100 pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤ならYESとする

毒性コメント

表示	表示対象	表示対象	表示対象
	9.50	9.90	164.00

混合物のpH: 0

毒性濃度LC50またはEC50 (mg/L)

保存名 (製品名)

成分名 CASなし CASなし CASなし

CAS No.

含有量 (mass %)

↓合計が100%になっていません

0.0

0.0

区分	カゲ値	カゲ値表示	注意喚起語	危険有害性情報	合計	成分 1	成分 2	成分 3
物理化学的危険性								
1 炎発性	0	なし	なし	なし	-			
2 可燃性/引火性ガス	0	なし	なし	なし	-			
3 可燃性/引火性エアゾール	0	なし	なし	なし	-			

[3] 8行にCAS番号を記載すると、7行に成分名が表示されます。

しかし、CAS番号の入力ミスの場合やCAS番号が成分のデータベースに登録されていない場合はCASなしと表示されます。

CASなしのままGHS分類を行うと、その成分は「分類できない」成分として計算されます。

CAS番号なしと表示される、成分のデータをお持ちの場合は、「 未登録成分データを登録しよう」のやり方に従って、成分データを登録してください。

1	分類カテゴリについてへ戻る														
2	混合物の性状: 液体										データ検索 (GHS分類)	全体を保存	全体を開く	成分名からCAS検索 (部分検索)	混合物の入力
3	分類根拠印刷ページへ										検索時間	02/02	pH2以下, pH11.5以上, 無機塩, アルデヒド類, フェノール類, 界面活性剤ならYESとする		
4	【CAS No.】と【含有量】を記入してください										毒性コメント	表示	NO	NO	NO
5	混合物のpH: pH2~11.5										毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)				
6	製品名	テスト										成分名	トルエン	CASなし	CASなし
7	CAS No.	↓合計が100%になっていません													
8	含有量 (mass %)	0.0													
9		0.0													
10		0.0													
11	物理化学的危険性	区分	ラベル	ラベル表示	注意喚起語	危険有害性情報		コピ	成分1	成分2	成分3				
12	1 炎発性	区分外	なし	なし	なし	なし	なし	-							
13	2 可燃性/引火性ガス	分類対象外	なし	なし	なし	なし	なし	-							
14	3 可燃性/引火性エアゾール	区分外	なし	なし	なし	なし	なし	-							

[4] 製品名は分かるけどCAS番号は分からない場合は、CAS番号検索を利用してください。

検索の仕方は、「 CAS番号を成分名から検索しよう」を参考にしてください。

1	分類カテゴリについてへ戻る														
2	混合物の性状: 0										データ検索 (GHS分類)	全体を保存	全体を開く	成分名からCAS検索 (部分検索)	混合物の入力
3	分類根拠印刷ページへ										検索時間	100/100	pH2以下, pH11.5以上, 無機塩, アルデヒド類, フェノール類, 界面活性剤ならYESとする		
4	【CAS No.】と【含有量】を記入してください										毒性コメント	表示	NO	NO	NO
5	混合物のpH: 0										毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)				
6	保存名 (製品名)	CAS番号が分からない場合は検索できます。										成分名	CASなし	CASなし	CASなし
7	CAS No.	↓合計が100%になっていません													
8	含有量 (mass %)	0.0													
9		0.0													
10		0.0													
11	物理化学的危険性	区分	ラベル	ラベル表示	注意喚起語	危険有害性情報		コピ	成分1	成分2	成分3				
12	1 炎発性	0	なし	なし	なし	なし	なし	-							
13	2 可燃性/引火性ガス	0	なし	なし	なし	なし	なし	-							
14	3 可燃性/引火性エアゾール	0	なし	なし	なし	なし	なし	-							

[5] それぞれの成分の含有量を入力してください。

成分の含有量の合計が100%となれば、赤色の警告文字が消えます。

入力ミスを防ぐために「警告」が出るようにしています。

1	分類カテゴリについてへ戻る														
2	混合物の性状: 液体										データ検索 (GHS分類)	全体を保存	全体を開く	成分名からCAS検索 (部分検索)	混合物の入力
3	分類根拠印刷ページへ										検索時間	02/02	pH2以下, pH11.5以上, 無機塩, アルデヒド類, フェノール類, 界面活性剤ならYESとする		
4	【CAS No.】と【含有量】を記入してください										毒性コメント	表示	NO	NO	NO
5	混合物のpH: pH2~11.5										毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)				
6	製品名	テスト										成分名	トルエン	アセトアルデヒド	CASなし
7	CAS No.	含有量の合計が100%となれば、警告が消えます。 それぞれの成分の含有量を入力してください。													
8	含有量 (mass %)	100.0													
9		100.0													
10		100.0													
11	物理化学的危険性	区分	ラベル	ラベル表示	注意喚起語	危険有害性情報		コピ	成分1	成分2	成分3				
12	1 炎発性	区分外	なし	なし	なし	なし	なし	-							
13	2 可燃性/引火性ガス	分類対象外	なし	なし	なし	なし	なし	-							
14	3 可燃性/引火性エアゾール	区分外	なし	なし	なし	なし	なし	-							

- [6] 下図の場合、含有量の合計が101%なので、警告が出ていますが、含有率の合計101%を100%となるように比例計算した値を用いてGHSの分類を行うので、合計が100%となっていないくても「データ検索(GHS分類)」可能です。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	分類リストについてへ戻る				データ検索 (GHS分類)	全体を保存	全体を開く	成分名からCAS検索 (部分検索)	混合物の入力			
2	混合物の性状: 液体											
3	分類検索印刷ページへ		検索時間	82/82	pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤ならYESとする				NO	NO	NO	
4	「CAS No」と「含有量」を記入してください								毒性コメント	5.6	アセトアルデヒド	
5									表示			
6	混合物のpH:		pH2~11.5		毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)							
7	製品名		テスト						成分名	トルエン	アセトアルデヒド	CASなし
8	CAS No		↓合計が100%になっていません							100-88-9	75-07-0	
9	含有量 (mass %)		101.0							80.00	21.00	
10			100.0							79.21	20.79	0.00
11			区分	ワザル	ワザル表示	注意喚起語	危険有害性情報	コジカ	成分 1	成分 2	成分 3	
12	物理化学的危険性											
13	1	火災類	区分外	なし	なし	なし	なし	-				
14	2	可燃性/引火性ガス	分類対象外	なし	なし	なし	なし	-				
15	3	可燃性/引火性エアゾール	区分外	なし	なし	なし	なし	-				

含有量の合計が101%なので、警告が出ていますが、合計101%を100%として計算するため、データ検索(GHS分類)は可能です。

- [7] pH2 以下、pH11.5 以上、無機塩、アルデヒド、フェノール、界面活性剤なら 3 行目を YES としてください。例では、アセトアルデヒドは、アルデヒドであるため、YES に変更しています。

pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド、フェノール、界面活性剤ならYESとしてください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	分類リストについてへ戻る				データ検索 (GHS分類)	全体を保存	全体を開く	成分名からCAS検索 (部分検索)	混合物の入力			
2	混合物の性状: 液体											
3	分類検索印刷ページへ		検索時間	82/82	pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤ならYESとする				NO	YES	NO	
4	「CAS No」と「含有量」を記入してください								毒性コメント	5.6	アセトアルデヒド	
5									表示			
6	混合物のpH:		pH2~11.5		毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)							
7	製品名		テスト						成分名	トルエン	アセトアルデヒド	CASなし
8	CAS No		↓合計が100%になっていません							100-88-9	75-07-0	
9	含有量 (mass %)		101.0							80.00	21.00	
10			100.0							79.21	20.79	0.00
11			区分	ワザル	ワザル表示	注意喚起語	危険有害性情報	コジカ	成分 1	成分 2	成分 3	
12	物理化学的危険性											
13	1	火災類	区分外	なし	なし	なし	なし	-				
14	2	可燃性/引火性ガス	分類対象外	なし	なし	なし	なし	-				
15	3	可燃性/引火性エアゾール	区分外	なし	なし	なし	なし	-				

- [8] 登録済みの混合物を成分に用いる場合は、「混合物入力」ボタンをクリックします。使い方の詳細は、「[登録した混合物を利用してみよう](#)」を参考にしてください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
1	分類リストについてへ戻る				データ検索 (GHS分類)	全体を保存	全体を開く	成分名からCAS検索 (部分検索)	混合物の入力				
2	混合物の性状: 液体												
3	分類検索印刷ページへ		検索時間	82/82	pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤ならYESとする				NO	NO	NO		
4	「CAS No」と「含有量」を記入してください								毒性コメント	5.6	アセトアルデヒド		
5									表示				
6	混合物のpH:		pH2~11.5		毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)								
7	製品名		テスト						成分名	トルエン	CASなし	CASなし	
8	CAS No		↓合計が100%になっていません							100-88-9			
9	含有量 (mass %)		0.0										
10			0.0							0.00	0.00	0.00	
11			区分	ワザル	ワザル表示	注意喚起語	危険有害性情報	コジカ	成分 1	成分 2	成分 3		
12	物理化学的危険性												
13	1	火災類	区分外	なし	なし	なし	なし	-					
14	2	可燃性/引火性ガス	分類対象外	なし	なし	なし	なし	-					
15	3	可燃性/引火性エアゾール	区分外	なし	なし	なし	なし	-					

- [9] 全ての成分の CAS 番号と含有量の入力が終わりましたら、
 「データ検索 (GHS 分類)」ボタンをクリックしてください。GHS 分類、ラベル作成、MSDS 作成が行われます。
 検索時間が 100/100 になれば、分類終了です。約 1~2 分で GHS 分類できます。

クリックすることでGHS分類できます。

区分	ラベル	ラベル表示	注意喚起語	危険有害性情報	コメント	成分 1	成分 2	成分 3
1 炎発性	なし	なし	なし	なし	-			
2 可燃性/引火性ガス	なし	なし	なし	なし	-			
3 可燃性/引火性エアゾール	なし	なし	なし	なし	-			

- [10] 「トップページ」- 「入力分類」の 成分 (CAS 番号、含有量) 入力ページに分類結果の一覧表が作成されます。
 下図に示すように、E 列に混合物の分類された結果が表示されます。

物理化学危険入力で入力した値が表示されています。

区分	ラベル	ラベル表示	注意喚起語	危険有害性情報	コメント	成分 1	成分 2	成分 3
1 炎発性	区分外	なし	なし	なし	-			
2 可燃性/引火性ガス	区分外	なし	なし	なし	-			
3 可燃性/引火性エアゾール	区分外	なし	なし	なし	-			
4 炎発性/酸化性ガス類	区分外	なし	なし	なし	-			
5 高圧ガス	区分外	なし	なし	なし	-			
6 引火性液体	区分外	なし	なし	なし	-			
7 可燃性液体	区分外	なし	なし	なし	-			
8 自己反応性物質および混合物	区分外	なし	なし	なし	-			
9 自然発火性液体	区分外	なし	なし	なし	-			
10 自然発火性固体	区分外	なし	なし	なし	-			
11 自己発熱性物質および混合物	区分外	なし	なし	なし	-			
12 水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外	なし	なし	なし	-			
13 酸化性液体	区分外	なし	なし	なし	-			
14 酸化性固体	区分外	なし	なし	なし	-			
15 有機過酸化物質	区分外	なし	なし	なし	-			
16 金属腐食性物質	区分外	なし	なし	なし	-			
17 急性毒性 (経口)	区分 4	感毒符	感嘆符	警告 飲み込むと有害	不明成分 0.0%	区分 4	区分 4	区分できない
18 急性毒性 (経皮)	区分できない	なし	なし	なし	不明成分 20.0%	区分外	区分できない	区分できない
19 急性毒性 (吸入: ガス)	区分外	なし	なし	なし	不明成分 0.0%	区分外	区分外	区分できない
20 急性毒性 (吸入: 霧状)	区分 4	感毒符	感嘆符	警告 吸入すると有害	不明成分 0.0%	区分 4	区分 4	区分できない
21 急性毒性 (吸入: ミスト)	区分できない	なし	なし	なし	不明成分 100.0%	区分できない	区分できない	区分できない
22 皮膚腐食性/刺激性	区分 2	感毒符	感嘆符	警告 皮膚刺激	不明成分 0.0%	区分 2	区分 2	区分できない
23 眼に対する重篤な刺激作用/刺激性	区分 2	感毒符	感嘆符	警告 強い眼刺激	不明成分 0.0%	区分 2	区分 2	区分できない
呼吸器刺激性又は皮膚刺激性	呼吸器分類できない/皮膚分類できない	なし/なし	なし	なし/なし	不明成分 20.0%	呼吸器刺激性: 分類できない/皮膚刺激性: 分類できない	呼吸器刺激性: 分類できない/皮膚刺激性: 分類できない	呼吸器刺激性: 分類できない/皮膚刺激性: 分類できない
呼吸器刺激性	分類できない	なし	なし	なし	不明成分 100.0%	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚刺激性	分類できない	なし	なし	なし	不明成分 0.0%	区分外	区分できない	区分できない

GHS分類マニュアルに基づいて分類された結果が表示されます。 各成分の区分を表示しています。(データベースの値)

CAS 番号を成分名から検索しよう

[1] 「トップページ」 - 「入力分類」の **成分(CAS 番号、含有量)入力**を選択してください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ツツ (分類くん) について

本ツツはGHS分類に基づいた混合物の分類ツツであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分(CAS番号、含有量)入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分(CAS番号、含有量)入力**
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語
 を選択してく
 ださい

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人認証パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時に
 パスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
 をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
 GHS第3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[2] 下図のように成分と含有量の入力ページが開かれます。

分類ツツについてへ戻る

混合物の性状: 0

データ検索 (GHS分類) 全体を保存 全体を開く 成分名からCAS検索 (部分検索) 混合物の入力

シート保存

検索時間 100/100 pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤ならYESとする

分類根拠印刷ページへ

【CAS No.】と【含有量】を記入してください

表示	表示対象	表示対象	表示対象
毒害コメント	NO	NO	NO
表示	表示対象	表示対象	表示対象

混合物のpH: 0

毒性濃度LC50またはEC50 (mg/L) 9.50 9.90 164.00

保存名 (製品名)

成分名 CASなし CASなし CASなし

CAS No. ↓合計が100%になっていません

含有量 (mass %) 0.0

区分	kg/L	kg/L表示	注意喚起語	危険有害性情報	合計	成分 1	成分 2	成分 3
0.0	なし	なし	なし	なし	0.00	0.00	0.00	0.00

物理化学的危険性

区分	kg/L	kg/L表示	注意喚起語	危険有害性情報	合計	成分 1	成分 2	成分 3
0	なし	なし	なし	なし	-	-	-	-
0	なし	なし	なし	なし	-	-	-	-
0	なし	なし	なし	なし	-	-	-	-

[3] 「成分名からCAS検索 (部分検索)」をクリックしてください。

分類ツツについてへ戻る

混合物の性状: 0

データ検索 (GHS分類) 全体を保存 全体を開く 成分名からCAS検索 (部分検索) 混合物の入力

シート保存

検索時間 100/100 pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤ならYESとする

分類根拠印刷ページへ

【CAS No.】と【含有量】を記入してください

CAS番号が分からない場合は検索できません。

表示	表示対象	表示対象	表示対象
毒害コメント	NO	NO	NO
表示	表示対象	表示対象	表示対象

混合物のpH: 0

毒性濃度LC50またはEC50 (mg/L) 9.50 9.90 164.00

保存名 (製品名)

成分名 CASなし CASなし CASなし

CAS No. ↓合計が100%になっていません

含有量 (mass %) 0.0

区分	kg/L	kg/L表示	注意喚起語	危険有害性情報	合計	成分 1	成分 2	成分 3
0.0	なし	なし	なし	なし	0.00	0.00	0.00	0.00

物理化学的危険性

区分	kg/L	kg/L表示	注意喚起語	危険有害性情報	合計	成分 1	成分 2	成分 3
0	なし	なし	なし	なし	-	-	-	-
0	なし	なし	なし	なし	-	-	-	-
0	なし	なし	なし	なし	-	-	-	-

[4] CAS 番号検索ページが開かれますので検索語を入力し、Enter キーで決定してください。

A	B	C	D	E
1	分類外について へ戻る	成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る		
2	CAS番号検索ページ (部分検索可能)			
3	成分名 (部分一致検索)	成分名候補	CAS番号	クリック
4	トルエン			
5				
6	CAS番号を調べたい成分名の一部を記載してEnterキーで決定して下さい。			
7				
8		CAS番号を調べたい成分名を入力してEnterキーを押して下さい。		
9				
10				
11				
12				
13				
14				

[5] 最上段に、完全一致した成分が表示され、それ以降は、部分一致した成分が表示されます。

A	B	C	D	E
1	分類外について へ戻る	成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る		
2	CAS番号検索ページ (部分検索可能)			
3	成分名 (部分一致検索)	成分名候補	CAS番号	クリック
4	トルエン	トルエン	108-88-3	成分入力
5	T	ビニルトルエン	25013-15-4	成分入力
6	CAS番号を調べたい成分名の一部を記載してEnterキーで決定して下さい。	パラ-ターシャリ-ブチルトルエン	98-51-1	成分入力
7		トリニトロトルエン	118-96-7	成分入力
8		ジニトロトルエン	25321-14-6	成分入力
9		p-ニトロトルエン	89-80-0	成分入力
10	一番上に完全一致した成分名が表示されます。	o-ニトロトルエン	88-72-2	成分入力
11		o-クロトルエン	95-49-8	成分入力
12		n-ニトロトルエン	99-08-1	成分入力
13	その下に、部分一致した成分名が表示されます。	4-(2, 4-ジクロロベンゾイル)-1, 3-ジメチル-5-ピラゾ	58011-68-0	成分入力
14		3, 5-ジニトロトルエン	618-85-9	成分入力
15		3, 4-ジニトロトルエン	610-39-9	成分入力
16		2, 6-ジニトロトルエン	606-20-2	成分入力
17		2, 5-ジニトロトルエン	619-15-8	成分入力
18		2, 4-トルエンジアミン	95-80-7	成分入力
19		2, 4-ジニトロトルエン	121-14-2	成分入力
20		2', 4-ジクロロ- α , α , α -トリフルオロ-4'-ニトロ-	106917-52-6	成分入力
21		2, 3-ジニトロトルエン	602-01-7	成分入力
22				
23				

[6] 検索していた成分が見つければ、「成分入力」をクリックしてください。
ここでは、トルエンをクリックします。

A	B	C	D	E
1	分類外について へ戻る	成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る		
2	CAS番号検索ページ (部分検索可能)			
3	成分名 (部分一致検索)	成分名候補	CAS番号	クリック
4	トルエン	トルエン	108-88-3	成分入力
5	T	ビニルトルエン	13-15-4	成分入力
6	CAS番号を調べたい成分名の一部を記載してEnterキーで決定して下さい。	パラ-ターシャリ-ブチルトルエン	51-1	成分入力
7		トリニトロトルエン	98-51-1	成分入力
8		ジニトロトルエン	118-96-7	成分入力
9		p-ニトロトルエン	21-14-6	成分入力
10		o-ニトロトルエン	89-80-0	成分入力
11		o-クロトルエン	88-72-2	成分入力
12		n-ニトロトルエン	95-49-8	成分入力
13		4-(2, 4-ジクロロベンゾイル)-1, 3-ジメチル-5-ピラゾ	99-08-1	成分入力
14		3, 5-ジニトロトルエン	58011-68-0	成分入力
15		3, 4-ジニトロトルエン	618-85-9	成分入力
16		2, 6-ジニトロトルエン	610-39-9	成分入力
17		2, 5-ジニトロトルエン	606-20-2	成分入力
18		2, 4-トルエンジアミン	619-15-8	成分入力
19		2, 4-ジニトロトルエン	95-80-7	成分入力
20		2', 4-ジクロロ- α , α , α -トリフルオロ-4'-ニトロ-	121-14-2	成分入力
21		2, 3-ジニトロトルエン	106917-52-6	成分入力
22			602-01-7	成分入力
23				

【7】「成分入力ページ」にトルエンのCAS番号が入力されています。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
1	分類ソフトについてへ戻る				データ検索 (CAS分類)	全体を保存 シート保存	全体を開く	成分名から CAS検索 (部分検索)	混合物の 入力				
2	混合物の性状: 液体												
3	分類検索印刷ページへ		検索時期	02/02	pH2以下, pH11.5以上, 無機塩, アルデヒド類, フェノール類, 異国活性剤ならYESとする					NO	NO	NO	
4	【CAS No】と【含有量】を記入してください									毒性コメント	5.6		
5										表示			
6	混合物のpH:		pH2~11.5	毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)									
7	製品名		テスト	トルエンのCAS番号が入力されます					成分名	トルエン	CASなし	CASなし	
8	CAS No		↓合計が100%になっていません										
9	含有量 (mass %)		0.0										
10			0.0										
11			区分	物質ID	物質ID表示	注意喚起語	危険有害性情報			割合	成分1	成分2	成分3
12	物理化学的危険性												
13	1	火災類	区分外	なし	なし	なし	なし				-		
14	2	可燃性/引火性ガス	区分対象外	なし	なし	なし	なし				-		
15	3	可燃性/引火性エアゾール	区分外	なし	なし	なし	なし				-		

🎵 保存・読み出しを行おう

入力した項目を保存しよう

- [1] 保存のやり方を説明します。GHS 分類で取り扱う、成分および含有量データは各メーカーの機密データになります。そこで、作成した本人しかファイルを開くことができないように、「トップページ」の「本人確認パスワード」を入力する必要があります。

The screenshot shows a software interface with the following elements:

- Header:** Date 2011/7/10, Language options: 英語MSDS, 中国語MS.
- Title:** 混合物の分類ツツ (分類くん) について
- Introduction:** 本ツツはGHS分類に基づいた混合物の分類ツツであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ、また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)
- Input Classification (入力分類):**
 - ①物理化学危険入力
 - ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
 - ③MSDS (日本語) 入力項目
 - ④MSDS (英語) 入力項目
 - ⑤MSDS (中国語) 入力項目
 - ⑥最終結果変更
- MSDS (MSDS) Use Language (MSDS使用言語):** 日本語 (Selected)
- Customize (カスタマイズ) Settings (設定):**
 - ①プルダウン登録: MSDS組成情報自動入力 ON
 - ②データベース追加: ラベルCSV自動保存 ON
 - ③注意書きフリース登録: 法律が変更となった場合
 - ④MSDS入力項目コメント登録: ①表示対象物質追加
 - ⑤混合物登録: ②通知対象物質追加
 - ⑥オゾン層への有害対象物リスト
- Personal Confirmation Password (本人確認パスワード):** A text input field with a note: "ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。"
- Buttons:**
 - 全件を保存 (Save All)
 - 全件を開く (Open All)
 - 新規作成 (全クリア) (New Creation (All Clear)) - Note: ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。
 - データ検索 (GHS分類) (Data Search (GHS Classification))
- Classification Basis (分類根拠):** JIS Z 7252 (Selected) - Note: ←通常はJIS版。GHS2009版を要求された場合
- Footer Note:** ①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

- [2] 例えば、「IT-Alia」をパスワードとして入力します。

本人確認パスワード

IT-Alia

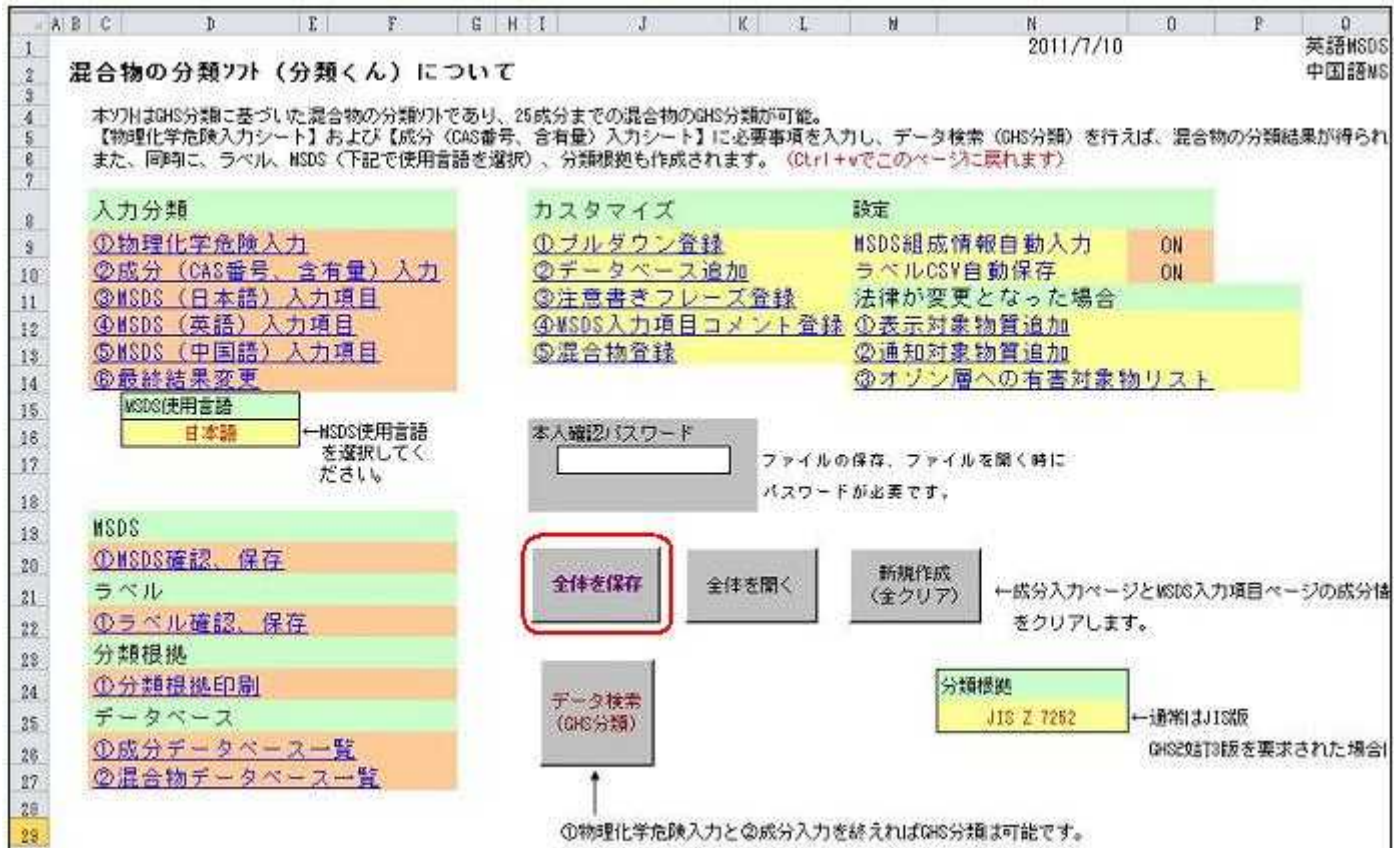
[3] 「パスワード」を入力後、「全体を保存」をクリックしてください。

「物理化学危険性」「成分 CAS 番号、含有量」入力、「MSDS (日本語) 入力項目」「MSDS (英語) 入力項目」「MSDS (中国語) 入力項目」

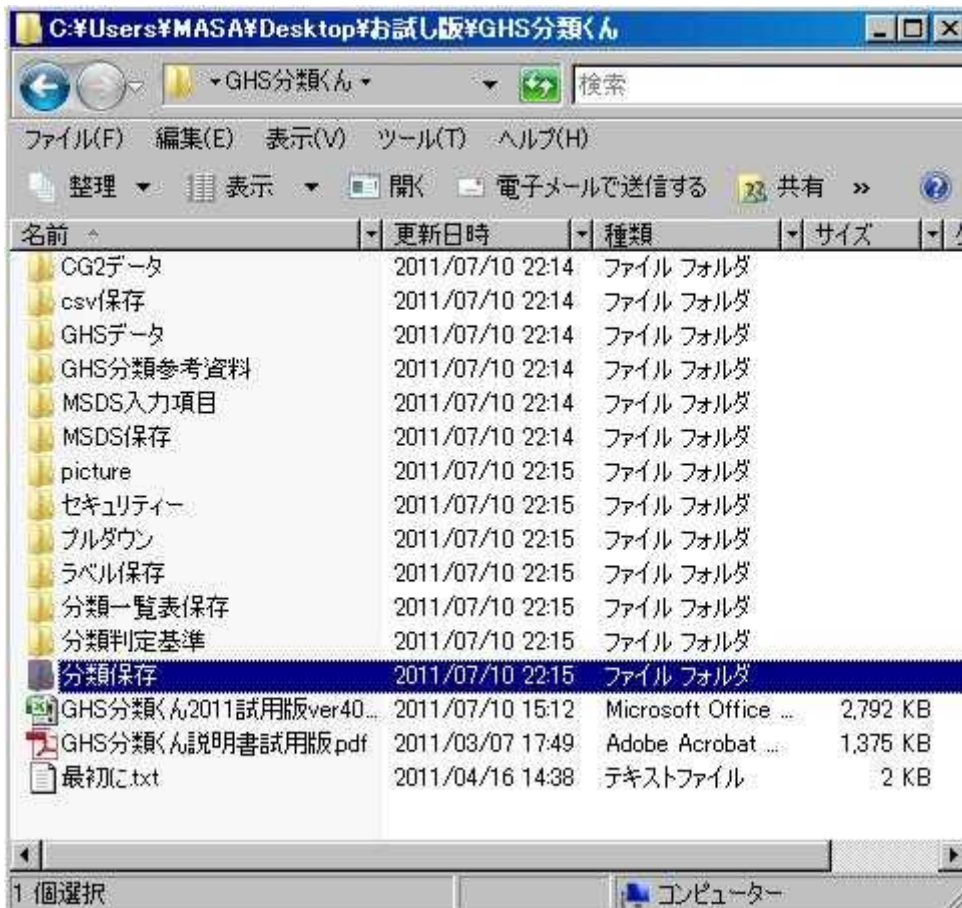
「最終結果変更」に入力した項目を保存します。

「トップページ」以外にも「全体を保存」ボタンはあり、どのボタンで保存を行っても構いません。

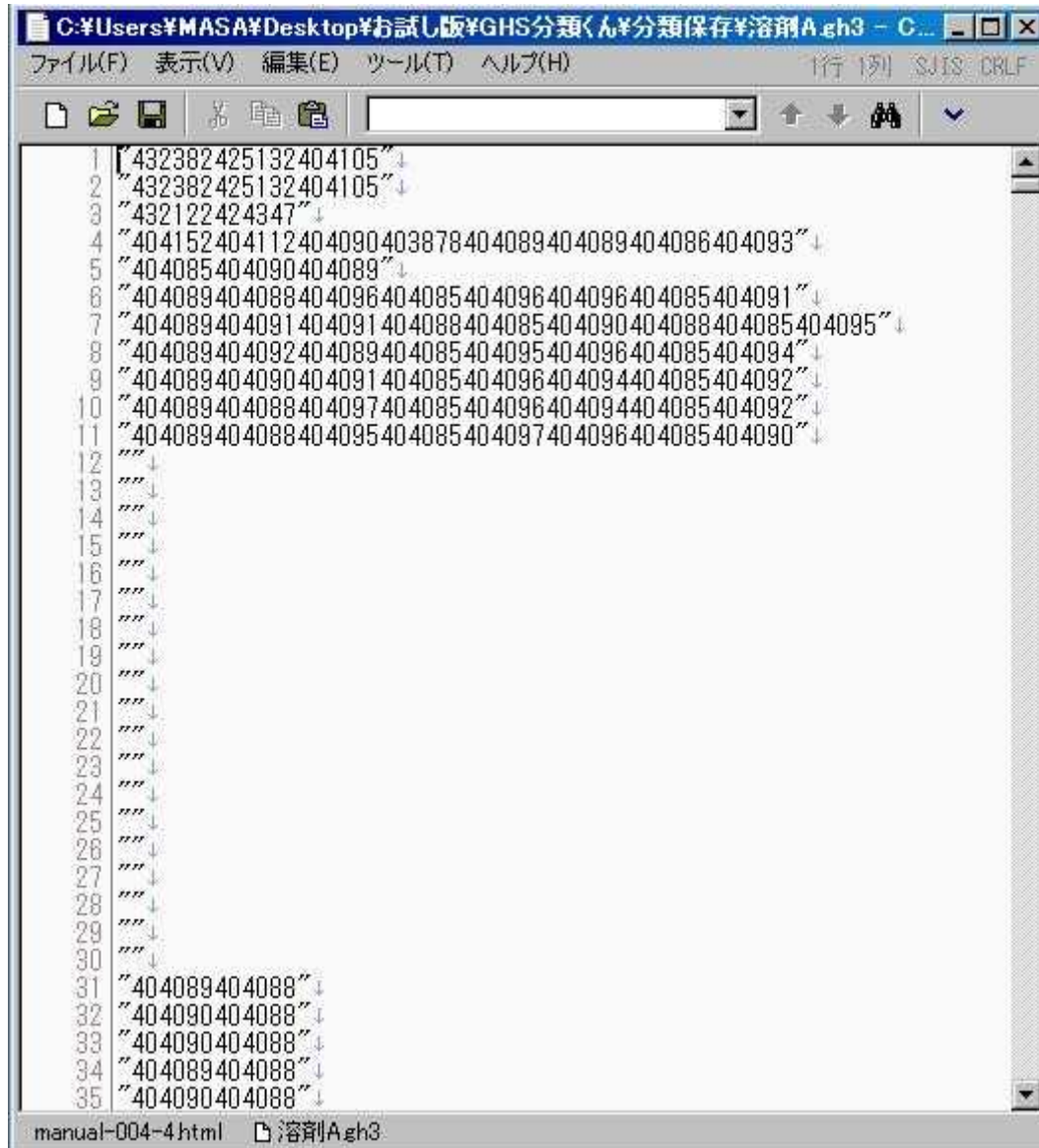
過去に保存したファイルの開き方は、[□ 以前に作成したファイルを開こう](#)を参考にしてください。



[4] ソフトのフォルダ内の「分類保存」フォルダに保存されます。



- [5] 万が一、分類保存フォルダ内のデータを盗まれたとしても、ファイルは下図のように暗号化されているため、組成情報が漏れることはありません。ソフトと共に盗まれたとしても、「本人確認パスワード」が分らないと過去のデータを読み出すことはできません。会社単位でパスワードを設定してもよいですし、部署単位でパスワードを設定してもよいでしょう。



以前に作成したファイルを開こう

【1】 過去に保存したファイルの開き方を説明します。

GHS 分類で取り扱う、成分および含有量データは各メーカーの機密データになります。

そこで、作成した本人しかファイルを開くことができないように、「トップページ」の「本人確認パスワード」を入力する必要があります。

保存時に入力したパスワードを入力してください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MSDS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①ブルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分（CAS番号、含有量）入力	②データベース追加	ラベルCSV自動保存 ON
③MSDS（日本語）入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS（英語）入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS（中国語）入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS
 ①MSDS確認、保存
 ラベル
 ①ラベル確認、保存
 分類根拠
 ①分類根拠印刷
 データベース
 ①成分データベース一覧
 ②混合物データベース一覧

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全件を保存 全件を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
 GHS2013版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類が可能です。

【2】 例えば、「IT-Allia」をパスワードとして入力します。

本人確認パスワード

IT-Allia

[3] 「パスワード」を入力後、「全体を開く」をクリックしてください。

読み出したい「～.gh3」ファイルを選択すれば、

「物理化学危険性」「成分 CAS 番号、含有量」入力「MSDS (日本語) 入力項目」「MSDS (英語) 入力項目」「MSDS (中国語) 入力項目」「最終結果変更」項目を読み出します。

読み出した後、GHS 分類も同時に行うため、ラベルや MSDS も一緒に作成されます。

以前に作成した以降、データベースを追加していれば、最新のデータベースを基に GHS 分類を行います。

読み出しおよび GHS 分類、ラベルと MSDS の作成に 2～3 分必要となります。(パソコンの能力によって分類時間は変化します。)

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①ブルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分 (CAS番号、含有量) 入力	②データベース追加	ラベルCSV自動保存 ON
③MSDS (日本語) 入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS (英語) 入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS (中国語) 入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語: 日本語 (MSDS使用言語を選択してください)

本人確認パスワード: [] (ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。)

MSDS: ①MSDS確認、保存

ラベル: ①ラベル確認、保存

分類根拠: ①分類根拠印刷

データベース: ①成分データベース一覧 ②混合物データベース一覧

データ検索 (GHS分類)

分類根拠: JIS Z 7252 (通常はJIS版、GHS第3版を要求された場合)

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

🎵 MSDS を作成しよう

MSDS 作成（入力項目）を記載しよう

【1】MSDS を作成しましょう。

MSDS を作成するためには、日本では **JIS Z 7250:2010 に準拠して作成する必要があります。**

例えば、「MSDS の各ページには、ラベルなどに使用した化学物質等の名称、最新の改訂日及びページ番号を記載しなければならない。」

といった、決まりがあります。つまり、ページのヘッダーかフッターに上記の情報を記載する必要があります。

「会社名」「住所」「電話番号」は記載しなければならず、「緊急連絡電話番号」は記載することが望ましいと書かれています。

このような MSDS を簡単に作成できるようにソフトは作られています。

まずは、TOP ページの「**MSDS (日本語) 入力項目**」を選択してください。

The screenshot shows the main interface of the MSDS software. It includes a menu on the left with options like 'MSDS確認、保存', 'ラベル', '分類根拠', and 'データベース'. The central area contains a 'カスタマイズ' (Customize) section with checkboxes for 'MSDS組成情報自動入力' (ON), 'ラベルCSV自動保存' (ON), and '表示対象物質追加'. There are also buttons for '全体を保存', '全体を閉く', and '新規作成 (全クリア)'. A 'データ検索 (GHS分類)' button is visible at the bottom, with a note that it requires GHS classification data.

【2】作成日、最新の改訂日、製品の名称のように、**濃いオレンジ色のセル**は自由に入力する項目になります。

セルに何も記載せずに「空白」とすれば、MSDS には項目も記載されません。

下図の場合は、製品番号の項目は「空白」ですので、MSDS には製品番号の項目は記載されません。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	分類ソフトについてへ戻る			
2	作成日:	2010/11/3				
3	最新の改訂日:	2011/4/1				
4	1. 製品及び会社情報					
5	製品名:	外装用塗料				
6	製品名:	テスト				
7	MSDS No.:	MSDS-001				
8	製品番号:					
9	産地 (事業所):	本社				
10	産地番号1 (MSDSに印刷なし):					
11	産地番号2 (MSDSに印刷なし):					
12	改訂履歴:					
13	言語:	日本語				
14	会社情報					
15	会社名:	IT-Allie株式会社				
16	郵便番号:	662-0915				
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401				
18	担当部門:	GHS部				
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び非推奨用途:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

- [3] 製品名の行、6Dのセルに表示されるのは保存名です。MSDS やラベルに記載される製品名は6Cのセルに記載した文言となります。保存名はトップページの [物理化学危険入力](#) のページで入力することができます。この保存名は、MSDS やラベルに記載されることはありません。

A	B	C	D	E	F	G
	全体を保存	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く	分類ソフトについてへ戻る		
1	製品安全データシート				日本語入力シート	
2	作成日:	2010/11/9			2. 危険有害性の要約	Ctrl+Q でA2セルにも開きます。
3	最新改訂日:	2011/4/1			3. 組成及び成分情報	
4	1. 製品及び会社情報				4. 応急措置	
5	製品の名称:	外装用塗料	保存名		5. 火災時の措置	
6	製品名:	アクリル			6. 漏出時の措置	本社
7	MSDS No.:	MSDS-001			7. 取扱い及び保管上の注意	IT-001
8	製品番号:				8. 廃棄防止及び保護措置	
9	選択(事業所):	本社	↑プルダウンで事業所を選択してください		9. 物理的及び化学的性質	日本語
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし):				10. 安定性及び反応性	本社
11	メモ1 (MSDSに印刷なし):				11. 有害性情報	IT-Allia株式会社
12	改版履歴1:				12. 環境影響情報	662-0915
13	言語:				13. 廃棄上の注意	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401
14	会社情報	本社	↓自動入力		14. 輸送上の注意	GHS部
15	会社名:	IT-Allia株式会社			15. 適用法令	090-2350-3713
16	郵便番号:	662-0915			16. その他の情報	0798-22-6404
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401				090-2350-3713
18	担当部門:	GHS部				mitsumoto@inter7.jp
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重大危険有害性:					

[4] 黄色のセルは、プルダウンで選択することができます。

選択(事務所)セル C9 の項目をプルダウンで選択すると、C14～C23の項目が自動入力されます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存		分類ノドについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9		日本語入力シート		
3	最新改訂日:	2011/4/1		ctrl + G でA2セルに飛びます。		
4	1. 製品及び会社情報			2. 危険有害性の要約		
5	製品名:	外装用塗料	↓保存	3. 組成及び成分情報		
6	製品名:	テスト		4. 応急措置		
7	MSDS No.:	MSDS-001		5. 火災時の措置		
8	製品番号:			6. 漏出時の措置		
9	選択(事務所):	本社	↑プルダウンで事務所を選択すると	7. 取扱い及び保管上の注意		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし):			8. 廃棄防止及び保護措置		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし):			9. 物理的及び化学的性質		
12	改版履歴:			10. 安定性及び反応性		
13	言語:			1.1. 有害性情報		
14	会社情報	本社	↑自動入力	1.2. 環境影響情報		
15	会社名:	IT-Allia株式会社		1.3. 廃棄上の注意		
16	郵便番号:	662-0915		1.4. 輸送上の注意		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		1.5. 適用法令		
18	担当部門:	GHS部		1.6. その他の情報		
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

C9セルのプルダウン選択

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存		分類ノドについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9		日本語入力シート		
3	最新改訂日:	2011/4/1		ctrl + G でA2セルに飛びます。		
4	1. 製品及び会社情報			2. 危険有害性の要約		
5	製品名:	外装用塗料	↓保存	3. 組成及び成分情報		
6	製品名:	テスト		4. 応急措置		
7	MSDS No.:	MSDS-001		5. 火災時の措置		
8	製品番号:			6. 漏出時の措置		
9	選択(事務所):	本社	↑プルダウンで事務所を選択すると	7. 取扱い及び保管上の注意		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし):			8. 廃棄防止及び保護措置		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし):			9. 物理的及び化学的性質		
12	改版履歴:			10. 安定性及び反応性		
13	言語:			1.1. 有害性情報		
14	会社情報	本社	↑自動入力	1.2. 環境影響情報		
15	会社名:	IT-Allia株式会社		1.3. 廃棄上の注意		
16	郵便番号:	662-0915		1.4. 輸送上の注意		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		1.5. 適用法令		
18	担当部門:	GHS部		1.6. その他の情報		
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

自動入力(白色セル)

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存		分類ノドについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9		日本語入力シート		
3	最新改訂日:	2011/4/1		ctrl + G でA2セルに飛びます。		
4	1. 製品及び会社情報			2. 危険有害性の要約		
5	製品名:	外装用塗料	↓保存	3. 組成及び成分情報		
6	製品名:	テスト		4. 応急措置		
7	MSDS No.:	MSDS-001		5. 火災時の措置		
8	製品番号:			6. 漏出時の措置		
9	選択(事務所):	本社	↑プルダウンで事務所を選択すると	7. 取扱い及び保管上の注意		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし):			8. 廃棄防止及び保護措置		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし):			9. 物理的及び化学的性質		
12	改版履歴:			10. 安定性及び反応性		
13	言語:			1.1. 有害性情報		
14	会社情報	本社	↑自動入力	1.2. 環境影響情報		
15	会社名:	IT-Allia株式会社		1.3. 廃棄上の注意		
16	郵便番号:	662-0915		1.4. 輸送上の注意		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		1.5. 適用法令		
18	担当部門:	GHS部		1.6. その他の情報		
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

[5] MSDSを作成するためには、日本では JIS Z 7250:2010 に準拠して作成する必要があります。

JIS Z 7250:2010 で「記載しなければならない」と書かれている項目を「太文字」としています。

下図を例にすると、「製品名」「会社名」「郵便番号」「住所」「電話番号」「FAX 番号」が「記載しなければならない」項目になります。
太文字の項目を、全て記載すれば、JIS Z 7250:2010 に準拠して MSDS を作成できます。

	A	B	C
		全体を保存	4. 応急措置以降の文言保存 文言を開く
1	製品安全データシート		
2	作成日:		2010/11/9
3	最新の改訂日:		2011/4/1
4	1. 製品及び会社情報		
5	製品の名称:		外装用塗料
6	製品名:		テスト
7	MSDS No.:		MSDS-001
8	製品コード:		
9	選択(事業所)		本社
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)		
12	改版履歴:		
13	言語:		
14	会社情報		本社
15	会社名:		IT-Allia株式会社
16	郵便番号:		662-0915
17	住所:		兵庫県西宮市馬場町6-20-1401
18	担当部門:		GHS部
19	電話番号:		090-2350-3713
20	FAX番号:		0798-22-6404
21	緊急連絡先電話番号:		090-2350-3713
22	電子メールアドレス:		mitsumoto@inter7.jp
23	推奨用途及び使用上の制限:		塗料

[6] JIS Z 7250:2010 で「記載することが望ましい」「記載してもよい」と書かれている項目を「細文字」としています。

下図を例にすると、会社情報の中でも、「担当部門」「緊急連絡電話番号」「電子メールアドレス」「住所」「電話番号」「FAX 番号」は「記載することが望ましい」もしくは「記載してもよい」項目になります。

	A	B	C
		全体を保存	4. 応急措置以降の文言保存 文言を開く
1	製品安全データシート		
2	作成日:		2010/11/9
3	最新の改訂日:		2011/4/1
4	1. 製品及び会社情報		
5	製品の名称:		外装用塗料
6	製品名:		テスト
7	MSDS No.:		MSDS-001
8	製品コード:		
9	選択(事業所)		本社
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)		
12	改版履歴:		
13	言語:		
14	会社情報		本社
15	会社名:		IT-Allia株式会社
16	郵便番号:		662-0915
17	住所:		兵庫県西宮市馬場町6-20-1401
18	担当部門:		GHS部
19	電話番号:		090-2350-3713
20	FAX番号:		0798-22-6404
21	緊急連絡先電話番号:		090-2350-3713
22	電子メールアドレス:		mitsumoto@inter7.jp
23	推奨用途及び使用上の制限:		塗料

[7] 項目「2. 危険有害性の要約」以降は、「ジャンプボタン」をクリックすると、簡単にシート内を移動できます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	全文を開く	分類ソフトについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9		日本語入力シート		
3	最新改訂日:	2011/4/1		2. 危険有害性の要約		
4	1. 製品及び会社情報			3. 組成及び成分情報		
5	製品名:	外装用塗料	↓保存	4. 応急措置		
6	製品名:	テスト	↑プルダウンで	5. 火災時の措置		
7	MSDS No.:	MSDS-001	事業所を	6. 漏出時の措置		
8	製品番号:		選択すると	7. 取扱い及び保管上の注意		
9	選択(事業所):	本社		8. 漏洩防止及び保護措置		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)			9. 物理的及び化学的性質		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)			10. 安定性及び反応性		
12	改版履歴:			1.1. 有害性情報		
13	言語:	日本語	↑自動入力	1.2. 環境影響情報		
14	会社情報	IT-Allis株式会社		1.3. 廃棄上の注意		
15	会社名:	IT-Allis株式会社		1.4. 輸送上の注意		
16	郵便番号:	662-0915		1.5. 適用法令		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		1.6. その他の情報		
18	担当部門:	GHS部				
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

[8] Ctrl + Q で A2 セルまで戻ることができます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	全文を開く	分類ソフトについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9		日本語入力シート		
3	最新改訂日:	2011/4/1		2. 危険有害性の要約		
4	1. 製品及び会社情報			3. 組成及び成分情報		
5	製品名:	外装用塗料	↓保存	4. 応急措置		
6	製品名:	テスト	↑プルダウンで	5. 火災時の措置		
7	MSDS No.:	MSDS-001	事業所を	6. 漏出時の措置		
8	製品番号:		選択すると	7. 取扱い及び保管上の注意		
9	選択(事業所):	本社		8. 漏洩防止及び保護措置		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)			9. 物理的及び化学的性質		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)			10. 安定性及び反応性		
12	改版履歴:			1.1. 有害性情報		
13	言語:	日本語	↑自動入力	1.2. 環境影響情報		
14	会社情報	IT-Allis株式会社		1.3. 廃棄上の注意		
15	会社名:	IT-Allis株式会社		1.4. 輸送上の注意		
16	郵便番号:	662-0915		1.5. 適用法令		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		1.6. その他の情報		
18	担当部門:	GHS部				
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

[9] 「3. 組成及び成分情報」では、記載が必要な項目のセルが濃いオレンジ色となっています。
 例えば、化学名または一般名を変更したい場合は、下図の 82 行目の D82 セルに記載します。
 MSDS に表示したくない成分がある場合は、このセルに、非表示と記載すると、MSDS にこの成分の表は記載されません。

77	非常事態の概要:				
78	国・地域情報:				
79	3. 組成及び成分情報				組成情報 入力
80	単一物質・混合物の区分:	混合物			
81	1				
82	化学名または一般名	エチレングリコール			←変更する場合
83	別名				↑「非表示」と入力すればMSDSに、この成分は記載されま
84	CAS番号	107-21-1			←変更する場合
85	濃度又は濃度範囲(重量%)			100	
86	化学式または構造式				↑正確な値が表示される
87	官報公示整理番号(化審法・安衛法)				
88	分類に寄与する不純物及び安定化添加物				
89	TSCA登録の有無				
90	EINECS No.				
91	PRTR法指定化学物質				
92	安衛法通知対象物	安衛法通知対象物			
93	毒劇法毒物劇物				

- [10] セルに記入すると、セルの色が薄い黄色に変わります。
 非表示と記載したので、MSDS にこの成分の表は記載されなくなります。
 MSDS に表示したくない成分は下図のように非表示と記載してください。

77	非常事態の概要:			
78	国・地域情報:			
79	3. 組成及び成分情報			組成情報 入力
80	単一物質・混合物の区分:	混合物		
81	1			
82	化学名または一般名	エチレングリコール	非表示	←変更する場合
83	別名		↑「非表示」と入力すればMSDSに、この成分は記載されま	
84	CAS番号	107-21-1		←変更する場合
85	濃度又は濃度範囲(重量%)		100	
86	化学式または構造式		↑正確な値が表示される	
87	官報公示整理番号(化審法・安衛法)			
88	分類に寄与する不純物及び安定化添加物			
89	TSCA登録の有無			
90	EINECS No.			
91	PRTR法指定化学物質			
92	安衛法通知対象物	安衛法通知対象物		
93	毒劇法毒物劇物			

- [11] 85 行目のセルには、GHS 分類に用いた正確な成分含有量が表示されています。
 しかし、MSDS に記載する際は、約 90%とか、85 ~ 95%のように、ある程度範囲を持たせて成分含有量を記載することが多いと思います。
 正確な値を参考に、濃度又は濃度範囲の項目を記載しましょう。

77	非常事態の概要:			
78	国・地域情報:			
79	3. 組成及び成分情報			組成情報 入力
80	単一物質・混合物の区分:	混合物		
81	1			
82	化学名または一般名	エチレングリコール		←変更する場合
83	別名		↑「非表示」と入力すればMSDSに、この成分は記載されま	
84	CAS番号	107-21-1		←変更する場合
85	濃度又は濃度範囲(重量%)		100	
86	化学式または構造式		↑正確な値が表示される	
87	官報公示整理番号(化審法・安衛法)			
88	分類に寄与する不純物及び安定化添加物			
89	TSCA登録の有無			
90	EINECS No.			
91	PRTR法指定化学物質			
92	安衛法通知対象物	安衛法通知対象物		
93	毒劇法毒物劇物			

- [12] 下図のように、必要項目を入力すると、入力したセルが薄い黄色に変わります。
 濃度又は濃度範囲の項目は下図のように 90 ~ 100%のように幅を持たせて記載することが多いでしょう。

77	非常事態の概要:			
78	国・地域情報:			
79	3. 組成及び成分情報			組成情報 入力
80	単一物質・混合物の区分:	混合物		
81	1			
82	化学名または一般名	エチレングリコール	非表示	←変更する場合
83	別名		↑「非表示」と入力すればMSDSに、この成分は記載されま	
84	CAS番号	107-21-1		←変更する場合
85	濃度又は濃度範囲(重量%)	90~100%	100	
86	化学式または構造式		↑正確な値が表示される	
87	官報公示整理番号(化審法・安衛法)			
88	分類に寄与する不純物及び安定化添加物			
89	TSCA登録の有無			
90	EINECS No.			
91	PRTR法指定化学物質			
92	安衛法通知対象物	安衛法通知対象物		
93	毒劇法毒物劇物			

- [13] 成分(CAS 番号、含有量)入力ページで入力しなかった成分では、項目のセルがグレーとなっています。
 これらのセルには入力する必要がありません。

94	2			
95	化学名または一般名	CASなし		←変更する場合
96	別名		↑「非表示」と入力すればMSDSに、この成分は記載されま	
97	CAS番号	0		←変更する場合
98	濃度又は濃度範囲(重量%)		0	←変更する場合
99	化学式または構造式			↑正確な値が表示される
100	官報公示整理番号(化審法・安衛法)			
101	分類に寄与する不純物及び安定化添加物			
102	TSCA登録の有無			
103	EINECS No.			
104	PRTR法指定化学物質			
105	安衛法通知対象物	対象物ではない		
106	毒劇法毒物劇物			

[14] 間違ってグレーのセルに入力した場合、下図のようにセルの色が赤色に変化します。

94	2			
95	化学名または一般名	CASなし		←変更する場合
96	別名	無し		↑「非表示」と入力すればMSDSに、この成分は記載されま
97	CAS番号	0		←変更する場合
98	濃度又は濃度範囲(重量%)		0	←正確な値が表示される
99	化学式または構造式			
100	官報公示整理番号(化審法・安衛法)			
101	分類に寄与する不純物及び安定化添加物			
102	TSCA登録の有無			
103	EINECS No.			
104	PRTR法指定化学物質			
105	安衛法通知対象物	対象物ではない		
106	毒劇法毒物劇物			

[15] 「3. 組成及び成分情報」として MSDS に記載する項目を選択することができます。

初期設定では、日本語のMSDSには下図全ての項目を表示するようになっていますが、表示を非表示に変更することで、MSDSへの表示・非表示を簡単に選択することができます。

	MSDS表示
化学名または一般名	表示
別名	表示
CAS番号	表示
濃度又は濃度範囲(重量%)	表示
化学式または構造式	表示
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	表示
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	表示
TSCA登録の有無	表示
EINECS No.	表示
PRTR法指定化学物質	表示
安衛法通知対象物	表示
毒劇法毒物劇物	表示

[16] 「4. 応急処置」以下の項目では MSDS に相応しい文言を記入する C 列と、

MSDS に表示するか非表示とすることを記入する D 列に分かれています。

A	B	C	D	E	F	G
	全体を保存	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く	分類ソフトについてへ戻る		
1	製品安全データシート			↑「1」を入れるとその項目が表示される。↑英語で選択されている項目のセルは黄色となります。		
405	毒劇法毒物劇物				No data available 没有信息。	
406	4. 応急措置					
407	全般的な事項:					
408		情報なし。				
409						
410						
411						
412						
413						
414						
415						
416						
417						
418						
419						
420						
421						
422						
423						
424						
425						
426						
427	搬入した場合:	新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、医師の手当を受ける。			Remove to treat 将操作人员转移至空气新鲜处静养。接受	
428		体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。			Wrap victim's body with blanket or similar, and keep warm.	
429		呼吸していないければ人工呼吸を行う。			If not breathing, give artificial respiration.	
430		直ちに医師の手当を受ける。			Seek medical attention immediately.	
431	P340	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。	1		Remove victim to fresh air and rest.	
432	P310	直ちに医師に連絡すること。			Immediately call a poison center or doctor.	
433	P312	気が悪い時は、医師に連絡すること。	1		Call a POISON CENTER or doctor if you feel unwell.	
434	P341	呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。			If breathing is difficult, move to fresh air and rest.	
435		情報なし。			No data available 没有信息。	
436						
437						
438						

[17] MSDS に記載する項目の D 列に「1」を代入しましょう。

「1」を代入した項目のセルが「ピンク色」になり、MSDS に記載されます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存				分類ソフトについてへ戻る
405	毒劇法毒物劇物					
408	4. 応急措置					
407	全般的な事項:					
408		情報なし				No data available 没有信息。
409						
410						
411						
412						
413						
414						
415						
416						
417						
418						
419						
420						
421						
422						
423						
424						
425						
426						
427	搬入した場合:	新鮮な空気の場所へ移動させ安静にし、医師の手当を受ける。				Remove to fresh 将操作人员转移至空气新鲜处静养。接受
428		体を毛布などで包み、保温して安静を保つ。				Wrap victim's body 用毯子等保暖。并保持安静。
429		呼吸していなければ人工呼吸を行う。				If not breathing, 若呼吸停止, 需进行人工呼吸。
430		直ちに医師の手当を受ける。				Seek medical at 立即接受医生治疗。
431	P340	空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせること。	1			Remove victim 将受害人转移到空气新鲜处, 保持呼吸舒
432	P310	直ちに医師に連絡すること。				Immediately call 立即呼叫解毒中心或医生。
433	P312	気が悪い時は、医師に連絡すること。	1			Call a POISON C 如感觉不适, 呼叫解毒中心或医生。
434	P341	呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせること。				If breathing is difficult 如呼吸困难, 将受害人转移到空气新鲜处。
435		情報なし				No data available 没有信息。
436						
437						
438						

「1」を記載するとセルの色がピンクになります。

MSDSに表示したい項目に「1」を記載してください。

[18] もし記載したい項目が見つからない場合は、御社独自の文言を追加することもできます。

C 列の空白部に御社独自の文言を追加してください。

その項目に「1」を代入すれば、先ほど同様、MSDS に記載されます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存				分類ソフトについてへ戻る
405	毒劇法毒物劇物					
408	4. 応急措置					
407	全般的な事項:					
408		情報なし				No data available 没有信息。
409						
410						
411						
412						
413						
414						
415						
416						
417						
418						
419						
420						
421						
422						
423						
424						
425						
426						
427	搬入した場合:	新鮮な空気の場所へ移動させ安静にし、医師の手当を受ける。				Remove to fresh 将操作人员转移至空气新鲜处静养。接受
428		体を毛布などで包み、保温して安静を保つ。				Wrap victim's body 用毯子等保暖。并保持安静。
429		呼吸していなければ人工呼吸を行う。				If not breathing, 若呼吸停止, 需进行人工呼吸。
430		直ちに医師の手当を受ける。				Seek medical at 立即接受医生治疗。
431	P340	空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせること。	1			Remove victim 将受害人转移到空气新鲜处, 保持呼吸舒
432	P310	直ちに医師に連絡すること。				Immediately call 立即呼叫解毒中心或医生。
433	P312	気が悪い時は、医師に連絡すること。	1			Call a POISON C 如感觉不适, 呼叫解毒中心或医生。
434	P341	呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせること。				If breathing is difficult 如呼吸困难, 将受害人转移到空气新鲜处。
435		情報なし				No data available 没有信息。
436						
437						
438						

C 列の空白部に御社独自の文言を記載することができます。

[19] 御社独自の文言を追加したら、今後も利用できるように保存しましょう。

下図のように、4.応急措置以降の文言保存ボタンをクリックすると保存することができます。

一度、保存してしまえば、次回からはMSDSに記載したい項目に「1」を記入するだけで、MSDSに反映されます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	全文を開く	分類ソフトについてへ戻る		
405	毒劇法毒物劇物					
408	4. 応急措置					
407	全般的な事項:					
408		情報なし				No data available 没有信息。
409						
410						
411						
412						
413						
414						
415						
416						
417						
418						
419						
420						
421						
422						
423						
424						
425						
426						
427	搬入した場合:	新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、医師の手当を受ける。 体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。 呼吸していなければ人工呼吸を行う。 直ちに医師の手当を受ける。				Remove to fresh 将操作人员转移至空气新鲜处静养。接受 Wrap victim's body with blankets 并用保温毯。并保持安静。 If not breathing, 若呼吸停止, 需进行人工呼吸。 Seek medical at 立即接受医生治疗。
431	P340	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。	1			Remove victim to 将受害人转移到空气新鲜处, 保持呼吸舒 immediately call 立即呼叫解毒中心或医生。
432	P310	直ちに医師に連絡すること。				
433	P312	気が付かない時は、医師に連絡すること。	1			Call a POISON C 如感觉不适, 呼叫解毒中心或医生。
434	P341	呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。				If breathing is difficult 如呼吸困难, 将受害人转移到空气新鲜处。
435		情報なし				No data available 没有信息。
436						

[20] 過去に保存した文言を読み出したい場合は、文言を開くボタンをクリックしてください。

日本語・英語・中国語の文言の全てを保存、読み出します。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	全文を開く	分類ソフトについてへ戻る		
405	毒劇法毒物劇物					
408	4. 応急措置					
407	全般的な事項:					
408		情報なし				No data available 没有信息。
409						
410						
411						
412						
413						
414						
415						
416						
417						
418						
419						
420						
421						
422						
423						
424						
425						
426						
427	搬入した場合:	新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、医師の手当を受ける。 体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。 呼吸していなければ人工呼吸を行う。 直ちに医師の手当を受ける。				Remove to fresh 将操作人员转移至空气新鲜处静养。接受 Wrap victim's body with blankets 并用保温毯。并保持安静。 If not breathing, 若呼吸停止, 需进行人工呼吸。 Seek medical at 立即接受医生治疗。
431	P340	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。	1			Remove victim to 将受害人转移到空气新鲜处, 保持呼吸舒 immediately call 立即呼叫解毒中心或医生。
432	P310	直ちに医師に連絡すること。				
433	P312	気が付かない時は、医師に連絡すること。	1			Call a POISON C 如感觉不适, 呼叫解毒中心或医生。
434	P341	呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。				If breathing is difficult 如呼吸困难, 将受害人转移到空气新鲜处。
435		情報なし				No data available 没有信息。
436						

[21] 「8. 暴露防止及び保護措置」には濃いオレンジ色のセルがあり、自由入力できます。必要でしたら管理濃度・許容濃度を記載してください。

A	B	C	D	E
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	全文を開く	分類ソフト
1088				
1087				
1088				
1089				
1090				
1091				
1092	8. 暴露防止及び保護措置			
1093	管理濃度:			記入すると表示、空白だと非表示
1094	許容濃度:			
1095	設備対策:	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼装置を設け、その位置を明確に表示する。 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。 液体類は防液措置とし、設備は静電気対策を実施する。		
1096				
1097				
1098				

[22] 「9. 物理的及び化学的性質」も濃いオレンジ色のセルがあります。
 類似品の場合でも、この項目は製品ごとに記載する必要があります。
 これまで同様、空白とすれば、項目ごと MSDS には表示されません。

A	B	C	D	E
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く	分類ノ
1234				
1235				
1236	9. 物理的及び化学的性質			
1237	物理的状态:	白色透明液		
1238	形状:	スリ		
1239	色:	白色		
1240	臭い(臭いの強さ):			
1241	pH:	約7		
1242	融点/凝固点:			
1243	沸点:	71.7℃		
1244	清濁状態:			
1245	引火点:	-4℃(静置エチル)		
1246	自然発火温度:			
1247	燃焼性(固体、ガス):			
1248	燃焼又は爆発範囲の上限/下限:			
1249	蒸気圧:			
1250	蒸気密度:			
1251	蒸気速度:			
1252	比重(相対密度):	約0.8		
1253	溶解度:			
1254	n-オクタノール/水分配係数:			
1255	分解温度:			
1256	粘度(粘性定):			

[23] 「11. 有害性情報」以降では、下図のように分類結果が代入される項目がいくつかあります。
 初期設定では、これらの項目の D 列に「1」が記載されており、自動的に MSDS に記載されます。

A	B	C	D
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く
1387			
1388	11. 有害性情報		
1389	急性毒性:	急性毒性(経口)は「区分外」に分類される。	1
1390		急性毒性(経皮)は「区分外」に分類される。	1
1391		急性毒性(吸入:ガス)は「区分外」に分類される。	1
1392		急性毒性(吸入:蒸気)は「区分外」に分類される。	1
1393		急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)は「区分外」に分類される。	1
1394			
1395			
1396			
1397			
1398			
1399			
1400			
1401			
1402			
1403			
1404			
1405			
1406			
1407			
1408			
1409	皮膚腐食性・刺激性:	皮膚腐食性/刺激性は「区分外」に分類される。	1
1410			

[24] 「14. 輸送上の注意」にも濃いオレンジ色のセルがあり、自由入力する項目になります。

A	B	C	D
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く
1869			
1870			
1871	14. 輸送上の注意		
1872	国際規制		
1873	国連分類:	クラス9	
1874	国連番号:	1024	
1875	品名(国連輸送名):		
1876	容器等級:		
1877	海洋汚染物質:		
1878	MARPOL73/78(該当・非該当):		
1879		MARPOL73/81: 該当	
1880		MARPOL73/81: 非該当	1

[25] C列への入力は、下図のように複数行で入力することも可能です。

	A	B	C	D
1	製品安全データシート	全株を保存	4.応急措置以降の文言保存	文言を開く
1898				
1899				
1900	国内規制		消防法の規程に従う	
1901				
1902			陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。 船舶による輸送においては「UN」マーク入り容器を使用する。 航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。 航空機による輸送においては「UN」マーク入り容器を使用する。 陸上・航空機に於ける輸送に際しては、圧力容器の検査を厳密に実施し、転倒、落下による 容器の損傷をきたさないように、積載し、荷崩れ防止等の処置を確実に実施する。 消防法の第1類、第4類の危険物および高圧ガスとは混載してはならない。 タンク車（ローリー等）への充填、積み下ろしの際は、サイドブレーキを掛け、エンジンを 停止させ、車止めを差し、作業する。 消防法、道路運送車両法等の他の関係法規を遵守する。	
1903				

[26] 2343行以降で、シンボル、注意喚起語、危険有害情報、注意書きがない場合の表示語の設定とMSDS・ラベルの1行の文字数の設定ができます。MSDSやラベルの印刷時に文章末が入りきらない時は、文字数を大きくしてください。

	A	B	C	D
1	製品安全データシート	全株を保存	4.応急措置以降の文言保存	文言を開く
2337				
2338				
2339				
2340	記録の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含石室、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。			
2341	また、注意事項は通常の取扱を前提としたものであって、特殊な場合は用途用法に適合した安全対策を実施してください。			
2342				
2343	【シンボルがない場合の表示】		表示なし	
2344	【注意喚起語がない場合の表示】		注意喚起語なし	
2345	【危険有害性情報がない場合の表示】		危険有害性情報なし	
2346	【注意書きがない場合の表示】		注意書きなし	
2347	MSDSの1行の文字数		42	
2348	ラベルの1行の文字数		44	
2349				
2350				

MSDS を作成しよう

- [1] 「トップページ」の **MSDS 使用言語** を選択します。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ワケ (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ワケであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS 使用言語

日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード

ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版 GHS2002版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

- [2] 「トップページ」 - 「入力分類」の**対象言語のMSDS 入力項目**を選択し、MSDS やラベルに記載したい項目を入力します。
 GHS 分類してみようの [MSDS 作成 \(入力項目\) を記載しよう](#) を参照ください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ワケ (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ワケであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS 使用言語

日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード

ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版 GHS2002版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

- [3] 「データ検索」ボタンをクリックすると、**MSDS およびラベルが自動的に作成**されます。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分（CAS番号、含有量）入力
- ③MSDS（日本語）入力項目
- ④MSDS（英語）入力項目
- ⑤MSDS（中国語）入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成（全クリア） ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索（GHS分類）

分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
GHS2009版を要求された場合

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[4] 下図のようなMSDSが作成されます。

A	B	C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z AA AB AC AD AE AF AG AH AI AJ AK AL AM AN AO AP AQ AR AS AT AU AV AW AX AY AZ BA BB
1	分類ソフトについてへ戻る	製品安全データシート
2	MSDS作成	
3		作成日：2010/11/09
4	MSDS保存	最新の改訂日：2011/04/01
5		1. 製品及び会社情報
6		製品の名称： 外装用塗料
7		製品名： テスト
8		MSDSNo.： MSDS-001
9		会社情報
10		会社名： IT-Allia株式会社
11		郵便番号： 682-0915
12		住所： 兵庫県西宮市馬場町6-20-1401
13		担当部門： GHS部
14		電話番号： 090-2350-3713
15		FAX番号： 0798-22-6404
16		緊急連絡先電話番号： 090-2350-3713
17		電子メールアドレス： mitsumoto@inter7.jp
18		
19		推奨用途及び使用上の制限：
20		塗料
21		
22		2. 危険有害性の要約
23		<input type="checkbox"/>
24		

MSDS を保存しよう

[1] 作成した MSDS を保存しましょう。

作成した MSDS は、印刷や編集が可能な **エクセルファイル** で保存することができます。

まずは、TOP ページの「 **MSDS 確認、保存** 」を選択してください。

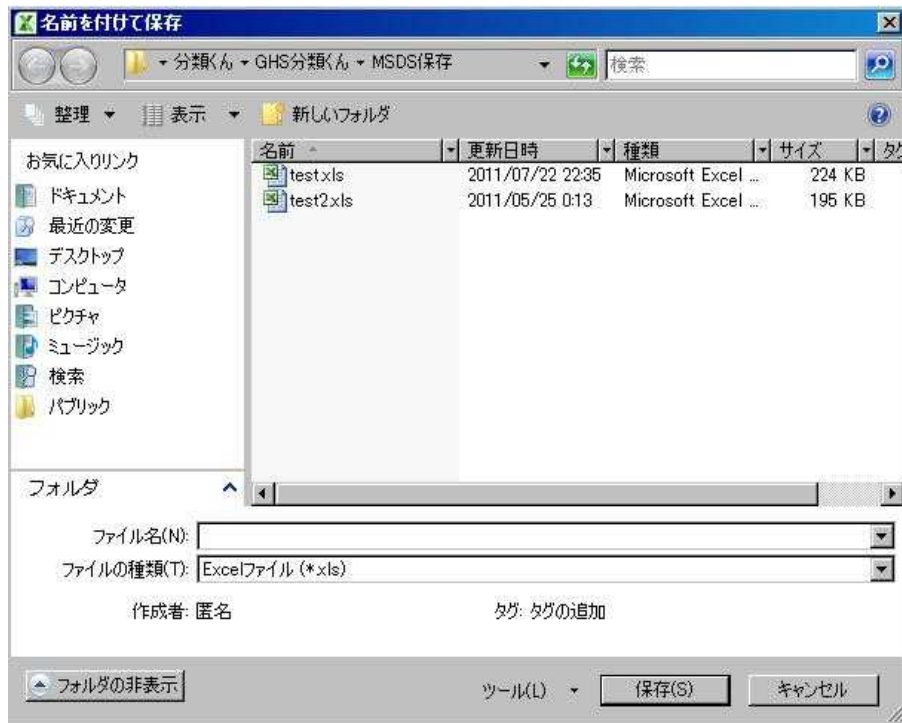
The screenshot shows the main menu of the MSDS software. The 'MSDS 確認、保存' button is highlighted in red. Other buttons include 'MSDS 確認、保存', 'ラベル確認、保存', '分類根拠印刷', '成分データベース一覧', and '混合物データベース一覧'. The 'カスタマイズ' section includes options like 'フルダウン登録', 'データベース追加', '注意書きフリース登録', 'MSDS入力項目コメント登録', and '混合物登録'. The 'MSDS' section includes 'MSDS使用言語' (Japanese selected) and 'MSDS確認、保存'. The 'ラベル' section includes 'ラベル確認、保存'. The '分類根拠' section includes '分類根拠印刷'. The 'データベース' section includes '成分データベース一覧' and '混合物データベース一覧'. The 'データ検索 (GHS分類)' button is also visible, with a note that it requires GHS classification data.

[2] 下図のような、MSDS が作成されたページが表示されます。

The screenshot shows the generated MSDS document. The title is '製品安全データシート' (Product Safety Data Sheet). The product name is '外装用塗料' (Exterior Coating). The product name is 'テスト' (Test). The MSDS No. is 'MSDS-001'. The company name is 'IT-Allia株式会社'. The address is '兵庫県西宮市馬場町6-20-1401'. The phone number is '090-2350-3713'. The fax number is '0798-22-6404'. The emergency contact number is '090-2350-3713'. The email address is 'mitsumoto@inter7.jp'. The usage instructions are '推奨用途及び使用上の制限: 塗料' (Recommended uses and restrictions: Coating). The document also includes a section for '危険有害性の要約' (Summary of Hazards and Precautions).

[5] **名前を付けて保存**しましょう。

保存先はお好きなフォルダを選択できます。初期設定は「GHS 分類くん」フォルダ内の「MSDS 保存」フォルダとなっています。



MSDS の文言を保存しよう

[1] 御社独自の文言を追加したら、今後も利用できるように保存しましょう。

下図のように、4.応急措置以降の文言保存ボタンをクリックすると保存することができます。

一度、保存してしまえば、次回からはMSDSに記載したい項目に「1」を記入するだけで、MSDSに反映されます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	日本語 入力シート	分類ソフトについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9	2. 危険有害性の要約	ctrl + O でA2セルに戻れます。		
3	最終改訂日:	2011/4/1	3. 組成及び成分情報			
4	1. 製品及び会社情報		4. 応急措置			
5	製品名:	外装用塗料	5. 火災時の措置			
6	製品名:	テスト	6. 漏出時の措置	本社		
7	MSDS No.:	MSDS-001	7. 取扱い及び保管上の注意	IT-001		
8	製品番号:		8. 暴露防止及び保護措置			
9	選択(事業所):	本社	9. 物理的及び化学的性質	日本語		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)		10. 安定性及び反応性	本社		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)		1.1. 有害性情報	IT-Allia株式会社		
12	改版履歴:		1.2. 環境影響情報	662-0915		
13	言語:		1.3. 廃棄上の注意	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		
14	会社情報	本社	1.4. 輸送上の注意	GHS部		
15	会社名:	IT-Allia株式会社	1.5. 適用法令	090-2350-3713		
16	郵便番号:	662-0915	1.6. その他の情報	0798-22-6404		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		090-2350-3713		
18	担当部門:	GHS部		mitsumoto@inter7.jp		
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

[2] 過去に保存した文言を読み出したい場合は、文言を開くボタンをクリックしてください。

日本語・英語・中国語の文言の全てを保存、読み出します。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	日本語 入力シート	分類ソフトについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9	2. 危険有害性の要約	ctrl + O でA2セルに戻れます。		
3	最終改訂日:	2011/4/1	3. 組成及び成分情報			
4	1. 製品及び会社情報		4. 応急措置			
5	製品名:	外装用塗料	5. 火災時の措置			
6	製品名:	テスト	6. 漏出時の措置	本社		
7	MSDS No.:	MSDS-001	7. 取扱い及び保管上の注意	IT-001		
8	製品番号:		8. 暴露防止及び保護措置			
9	選択(事業所):	本社	9. 物理的及び化学的性質	日本語		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)		10. 安定性及び反応性	本社		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)		1.1. 有害性情報	IT-Allia株式会社		
12	改版履歴:		1.2. 環境影響情報	662-0915		
13	言語:		1.3. 廃棄上の注意	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		
14	会社情報	本社	1.4. 輸送上の注意	GHS部		
15	会社名:	IT-Allia株式会社	1.5. 適用法令	090-2350-3713		
16	郵便番号:	662-0915	1.6. その他の情報	0798-22-6404		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		090-2350-3713		
18	担当部門:	GHS部		mitsumoto@inter7.jp		
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

[3] 4.応急措置以降の文言とは、下記の項目にあたります。

この項目は、御社独自の文言に修正可能です。□ [MSDS作成\(入力項目\)に記載しよう](#)でも説明しております。

A	B	C	D
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く
483			
484			
485			
486			
487	飲み込んだ場合:	活性炭を水と共に飲ませ吐き出させた後、卵白または牛乳を飲ませて直ちに医師の 手当を受ける。 口をすすいだ後、吐かせないこと。 直ちに医師の手当を受ける。 意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。 嘔吐が生じる場合、開いた気道を維持するため患者をうつぶせにして寝かせる。 無理に吐かせないで医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は水で 十分洗う。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 少量の水を飲ませ、嘔吐させた後に医師の診断を受ける。 飲み込んだ場合でも害はないが、異常があれば医師の処置を受ける。	
488			
489	P310		1
490	P330		
491	P331		
492			
493			
494			
495			
496			
497			
498			
499			
500			
501			

🎵 英文 MSDS を作成しよう

超簡単に英語 MSDS を作ろう

- [1] 日本語の MSDS の作成が終わってれば、英語の MSDS の作成は1クリックで作成することができます。
 下図のように、**日本** **英語** ボタンをクリックしてください。

	A	B	C	D	E	F
1	Material Safety Data Sheet		全体を保存	4.応急措置以降の文言保存	文言を開く	日本→英語
2	Creation date :		2010/10/29			英語入力カード
3	Revision date :		2011/4/1			
4	1. Product and company identification					
5	Product name :		test1	↓保存名		2. 危険有害性の要約
6	Name of product :		test2			3. 組成及び成分情報
7	MSDS No.:					4. 応急措置
8	Product code :					5. 火災時の措置
9	Selection(Plant)		Head Office	←プルダウンで 事業所を 選択する		6. 漏出時の措置
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)					7. 取扱い及び保管上の注意
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)					8. 暴露防止及び保護措置
12	Revision history :					9. 物理的及び化学的性質
13	Language :					10. 安定性及び反応性
14	Company identification					
15	Name of supplier :		Head Office	↓自動入力		11. 有害性情報
16	Postal/ZIP Code :		IT-Allia Ltd.			12. 環境影響情報
17	Address :		662-0915			13. 廃棄上の注意
18	Department responsible :		6-20-1401, Baba-cho, Nishinomiya-shi, Hyogo, Japan			14. 輸送上の注意
19	Telephone number :		Technical Division			15. 適用法令
20	Fax number :		+81-798-22-6403			16. その他の情報
21	Emergency telephone number :		+81-798-22-6404			
22	E-mail address :		+81-798-22-6404			
23	Recommended use of the product and restrictions on use :		mitsumoto@inter7.jp			
24	2. Hazards identification					
25	The most important hazards :		Additive for Process Ink			
26	Specific hazards :					
27	GHS classification :		Available			

- [2] □ MSDS 作成(入力項目)を記載しよう で日本語の MSDS 用ページでチェックした項目は、英語 MSDS 作成ページで、**背景色が黄色**となっています。

	A	B	C	D	E	F
1	Material Safety Data Sheet		全体を保存	4.応急措置以降の文言保存	文言を開く	日本→英語
425						
426						
427	Inhalation :		Remove to fresh air and keep at rest. Seek medical attention...			新鮮な空気の場所に移動させ安安静体を毛布などでおおい、保温して安呼吸していなければ人工呼吸を行直ちに医師の手当を受ける。空気の新鮮な場所に移し、呼吸し
428			Wrap victim's body in blanket, and keep warm and at rest.			
429			If not breathing, give artificial respiration.			
430			Seek medical attention immediately.			
431		P340	Remove victim to fresh air and keep at rest in a position comfortable for breathing.			
432		P310	Immediately call a POISON CENTER or doctor/physician.			
433		P312	Call a POISON CENTER or doctor/physician if you feel unwell.			
434		P341	If breathing is difficult, remove victim to fresh air and keep at rest in a position comfortable for breathing.			
435			No data available.			
436						
437						
438						
439						
440						
441						
442						
443						
444						
445						
446						
447	Skin contact :		Remove contaminated clothing and shoes immediately.			服物、汚染された衣類を全て直ち多量の水および石鹸で洗い流す。炎症を生じた時は医師の手当を受ける直ちに医師の手当を受ける。冷たい水に浸すこと/湿った包帯で多量の水と石鹸で優しく洗うこと。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診皮膚刺激または発疹が生じた場合
448			Wash with plenty of soap and water.			
449			If irritation occurs, seek medical attention.			
450			Seek medical attention immediately.			
451		P334	Immerse in cool water/wrap in wet bandages.			
452		P350	Gently wash with plenty of soap and water.			
453		P352	Wash with plenty of soap and water.			
454		P332P313	If skin irritation occurs: Get medical advice/attention.			
455		P333P313	If skin irritation or rash occurs: Get medical advice/attention.			
456			No data available.			

- [3] 日本 英語ボタンをクリックをクリックすると、日本語の MSDS 用ページでチェックした項目にチェックが入ります。つまり、1クリックすれば、日本語で作成した項目と同じ項目にチェックが入ります。

#	A	B	C	D	E	F
1	Material Safety Data Sheet	全体を保存	4.応急措置以降の文言保存	文言を開く	日本→英語	分類ソフトについて
425						
426						
427	Inhalation :		Remove to fresh air and keep at rest. Seek medical attention.			新鮮な空気の場合に移動させ安
428			Wrap victim's body in blanket, and keep warm and at rest.			体を毛布などでおおい、保温してま
429			If not breathing, give artificial respiration.			呼吸していなければ人工呼吸を行
430			Seek medical attention immediately.			直ちに医師の手当を受ける。
431		P340	Remove victim to fresh air and keep at rest in a position comfortable for breathing.	1		空気の新鮮な場所に移し、呼吸し
432		P310	Immediately call a POISON CENTER or doctor/physician.			直ちに医師に連絡すること。
433		P312	Call a POISON CENTER or doctor/physician if you feel unwell.	1		気分が悪い時は、医師に連絡する
434			If breathing is difficult, remove victim to fresh air and keep at rest in a position comfortable for breathing.			呼吸が困難な場合には、空気の新
435		P341	No data available.			情報なし
436						
437						
438						
439						
440						
441						
442						
443						
444						
445						
446						
447	Skin contact :		Remove contaminated clothing and shoes immediately.			服物、汚染された衣類を全て直ち
448			Wash with plenty of soap and water.			多量の水および石鹸で洗い流す。
449			If irritation occurs, seek medical attention.			炎症を生じた時は医師の手当を受
450			Seek medical attention immediately.			直ちに医師の手当を受ける。
451		P334	Immerse in cool water/wrap in wet bandages.			冷たい水に浸すこと/湿った包帯
452		P350	Gently wash with plenty of soap and water.	1		多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
453		P352	Wash with plenty of soap and water.			多量の水と石鹸で洗うこと。
454		P332P313	If skin irritation occurs: Get medical advice/attention.	1		皮膚刺激が生じた場合、医師の診
455		P333P313	If skin irritation or rash occurs: Get medical advice/attention.			皮膚刺激または発疹が生じた場合

- [4] 「3. 組成及び成分情報」として MSDS に記載する項目を選択することができます。初期設定では、英語の MSDS には下図の項目を表示するようになっていますが、表示を非表示に変更することで、MSDS への表示・非表示を簡単に選択することができます。

	MSDS表示
化学名または一般名	表示
別名	表示
CAS番号	表示
濃度又は濃度範囲(重量%)	表示
化学式または構造式	表示
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	非表示
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	表示
TSCA登録の有無	表示
EINECSNo.	表示
PRTR法指定化学物質	非表示
安衛法通知対象物	非表示
毒劇法毒物劇物	非表示

[5] 「トップページ」の **MSDS 使用言語** で英語を選択します。

2012/4/22 英語MSDS
中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られます。また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+wでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
英語 ←MSDS使用言語を選択してください。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
JIS Z 7252 ←通常はJIS版
GHS改訂3版を要求された場合

[6] 「データ検索」ボタンをクリックすると、**MSDS およびラベルが自動的に作成**されます。

2012/4/22 英語MSDS
中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られます。また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+wでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
英語 ←MSDS使用言語を選択してください。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
JIS Z 7252 ←通常はJIS版
GHS改訂3版を要求された場合

英語 MSDS 作成 (入力項目) を記載しよう

[1] 英文の MSDS を作成しましょう。

日本では JIS Z 7250:2010 に準拠して作成する必要がありますが、
 英文 MSDS の場合、GHS 改訂 3 版に準拠して作成するとよいでしょう。
 TOP ページの「MSDS (英語) 入力項目」を選択してください。

[2] 英語でも日本語の時と、作成方法は一緒になります。

□ [MSDS 作成 \(入力項目\) を記載しよう](#) を参照にオレンジ色のセル、黄色のセルの入力を行ってください。

[3] 日本語の MSDS の作成が終わってれば、英語の MSDS の作成は 1 クリックで作成することができます。

下図のように、日本 英語 ボタンをクリックしてください。

[4] □ [MSDS 作成 \(入力項目\) を記載しよう](#) で日本語の MSDS 用ページでチェックした項目は、英語 MSDS 作成ページで、背景色が黄色となっています。

	A	B	C	D	E	F
1	Material Safety Data Sheet	全体を保存	4.応急措置以降の文言保存	文言を開く	日本→英語	分類ソフトについて
425						
426						
427	Inhalation :		Remove to fresh air and keep at rest. Seek medical attention.			新鮮な空気の場所に移動させ安
428			Wrap victim's body in blanket, and keep warm and at rest.			体を毛布などでおおい、保温して安
429			If not breathing, give artificial respiration.			呼吸していなければ人工呼吸を行
430			Seek medical attention immediately.			直ちに医師の手当を受ける。
431		P340	Remove victim to fresh air and keep at rest in a position comfortable for breathing.			空気の新鮮な場所に移し、呼吸し
432		P310	Immediately call a POISON CENTER or doctor/physician.			直ちに医師に連絡すること。
433		P312	Call a POISON CENTER or doctor/physician if you feel unwell.			気分が悪い時は、医師に連絡する
434		P341	If breathing is difficult, remove victim to fresh air and keep at rest in a position comfortable for breathing.			呼吸が困難な場合には、空気の新
435			No data available.			情報なし
436						
437						
438						
439						
440						
441						
442						
443						
444						
445						
446						
447	Skin contact :		Remove contaminated clothing and shoes immediately.			服物、汚染された衣類を全て直ち
448			Wash with plenty of soap and water.			多量の水および石鹸で洗い流す。
449			If irritation occurs, seek medical attention.			炎症を生じた時は医師の手当を受
450			Seek medical attention immediately.			直ちに医師の手当を受ける。
451		P334	Immerse in cool water/wrap in wet bandages.			冷たい水に浸すこと/湿った包帯
452		P350	Gently wash with plenty of soap and water.			多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
453		P352	Wash with plenty of soap and water.			多量の水と石鹸で洗うこと。
454		P332P313	If skin irritation occurs: Get medical advice/attention.			皮膚刺激が生じた場合、医師の診
455		P333P313	If skin irritation or rash occurs: Get medical advice/attention.			皮膚刺激または発疹が生じた場合
456			No data available.			情報なし

- [5] 日本 英語ボタンをクリックをクリックすると、日本語の MSDS 用ページでチェックした項目にチェックが入ります。つまり、1クリックすれば、日本語で作成した項目と同じ項目にチェックが入ります。

	A	B	C	D	E	F
1	Material Safety Data Sheet	全体を保存	4.応急措置以降の文言保存	文言を開く	日本→英語	分類ソフトについて
425						
426						
427	Inhalation :		Remove to fresh air and keep at rest. Seek medical attention.			新鮮な空気の場所に移動させ安
428			Wrap victim's body in blanket, and keep warm and at rest.			体を毛布などでおおい、保温して安
429			If not breathing, give artificial respiration.			呼吸していなければ人工呼吸を行
430			Seek medical attention immediately.			直ちに医師の手当を受ける。
431		P340	Remove victim to fresh air and keep at rest in a position comfortable for breathing.	1		空気の新鮮な場所に移し、呼吸し
432		P310	Immediately call a POISON CENTER or doctor/physician.			直ちに医師に連絡すること。
433		P312	Call a POISON CENTER or doctor/physician if you feel unwell.	1		気分が悪い時は、医師に連絡する
434		P341	If breathing is difficult, remove victim to fresh air and keep at rest in a position comfortable for breathing.			呼吸が困難な場合には、空気の新
435			No data available.			情報なし
436						
437						
438						
439						
440						
441						
442						
443						
444						
445						
446						
447	Skin contact :		Remove contaminated clothing and shoes immediately.			服物、汚染された衣類を全て直ち
448			Wash with plenty of soap and water.			多量の水および石鹸で洗い流す。
449			If irritation occurs, seek medical attention.			炎症を生じた時は医師の手当を受
450			Seek medical attention immediately.			直ちに医師の手当を受ける。
451		P334	Immerse in cool water/wrap in wet bandages.			冷たい水に浸すこと/湿った包帯
452		P350	Gently wash with plenty of soap and water.	1		多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
453		P352	Wash with plenty of soap and water.			多量の水と石鹸で洗うこと。
454		P332P313	If skin irritation occurs: Get medical advice/attention.	1		皮膚刺激が生じた場合、医師の診
455		P333P313	If skin irritation or rash occurs: Get medical advice/attention.			皮膚刺激または発疹が生じた場合

- [6] 「3. 組成及び成分情報」として MSDS に記載する項目を選択することができます。初期設定では、英語の MSDS には下図全ての項目を表示するようになっていますが、表示を非表示に変更することで、MSDS への表示・非表示を簡単に選択することができます。

	MSDS表示
化学名または一般名	表示
別名	表示
CAS番号	表示
濃度又は濃度範囲(重量%)	表示
化学式または構造式	表示
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	非表示
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	表示
TSCA登録の有無	表示
EINECSNo.	表示
PRTR法指定化学物質	非表示
安衛法通知対象物	非表示
毒劇法毒物劇物	非表示

英文 MSDS を作成しよう

[1] 「トップページ」の **MSDS 使用言語** を選択します。

2012/4/22 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ツツ (分類くん) について

本ツツはGHS分類に基づいた混合物の分類ツツであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られます。また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+wでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語: **英語** ←MSDS使用言語を選択してください。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力: ON
- ラベルCSV自動保存: ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード: ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索 (GHS分類) 分類根拠: JIS Z 7252 ←通常はJIS版 GHS改訂3版を要求された場合

[2] 「トップページ」- 「入力分類」の**対象言語の MSDS 入力項目** を選択し、MSDS やラベルに記載したい項目を入力します。
 英文 MSDS を作成しようの口 [英文 MSDS 作成\(入力項目\)を記載しよう](#) を参照ください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ツツ (分類くん) について

本ツツはGHS分類に基づいた混合物の分類ツツであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られます。また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+wでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語: **日本語** ←MSDS使用言語を選択してください。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力: ON
- ラベルCSV自動保存: ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード: ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索 (GHS分類) 分類根拠: JIS Z 7252 ←通常はJIS版 GHS改訂3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

MSDS を保存しよう

[1] 作成した MSDS を保存しましょう。

作成した MSDS は、印刷や編集が可能な **エクセルファイル** で保存することができます。

まずは、TOP ページの「 **MSDS 確認、保存** 」を選択してください。

The screenshot shows the main menu of the MSDS software. The title is '混合物の分類ソフト (分類くん) について'. The interface is divided into several sections:

- 入力分類 (Input Classification):** Includes buttons for '物理化学危険入力', '成分 (CAS番号、含有量) 入力', 'MSDS (日本語) 入力項目', 'MSDS (英語) 入力項目', 'MSDS (中国語) 入力項目', and '最終結果変更'.
- カスタマイズ (Customize):** A table of settings:

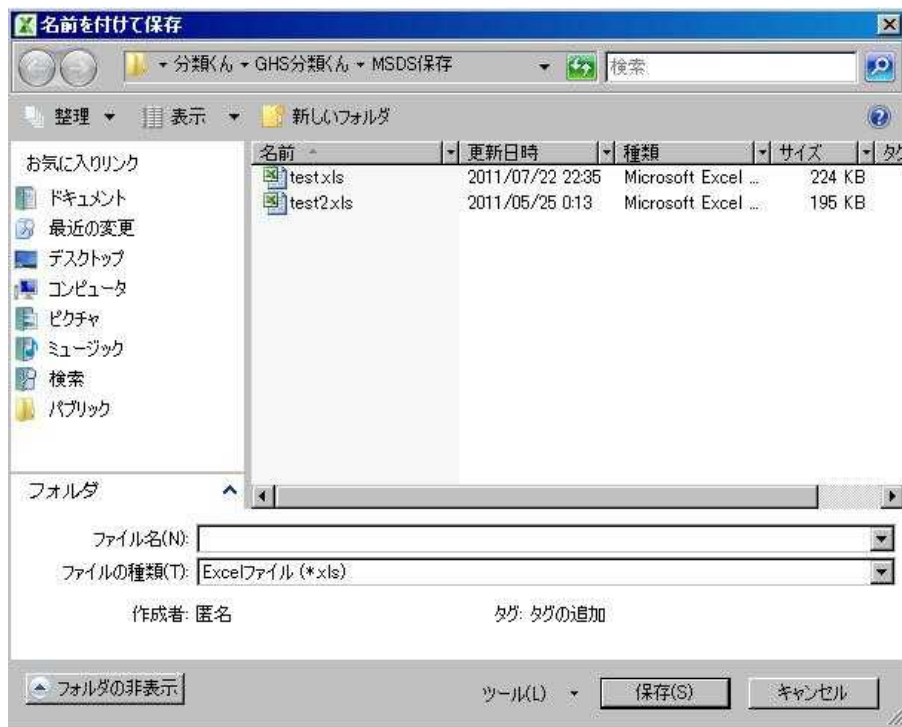
カスタマイズ	設定
①プルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 <input checked="" type="checkbox"/> ON
②データベース追加	ラベルCSV自動保存 <input checked="" type="checkbox"/> ON
③注意書きフリーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤混合物登録	②通知対象物質追加
	③オゾン層への有害対象物リスト
- MSDS (MSDS):** The 'MSDS確認、保存' button is highlighted in red.
- ラベル (Label):** Includes 'ラベル確認、保存'.
- 分類根拠 (Classification Basis):** Includes '分類根拠印刷'.
- データベース (Database):** Includes '成分データベース一覧' and '混合物データベース一覧'.
- 本人確認パスワード (Personal Confirmation Password):** A text input field with a note: 'ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。'
- 操作ボタン (Action Buttons):** '全体を保存', '全体を開く', '新規作成 (全クリア)'. A note: '成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。'
- データ検索 (データ検索 (GHS分類)):** A button with a note: '①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。'
- 分類根拠 (Classification Basis):** A dropdown menu showing 'JIS Z 7252' with a note: '通常はJIS版 GHS第3版を要求された場合'.

[2] 下図のような、MSDS が作成されたページが表示されます。

The screenshot shows the generated MSDS document. The title is '製品安全データシート'. The document is structured as follows:

- MSDS作成** (MSDS Creation) button
- MSDS保存** (MSDS Save) button
- 1. 製品及び会社情報 (Product and Company Information):**
 - 製品の名称: 外装用塗料
 - 製品名: テスト
 - MSDSNo.: MSDS-001
 - 会社情報:
 - 会社名: IT-Allia株式会社
 - 郵便番号: 662-0915
 - 住所: 兵庫県西宮市馬場町6-20-1401
 - 担当部門: GHS部
 - 電話番号: 090-2350-3713
 - FAX番号: 0798-22-6404
 - 緊急連絡先電話番号: 090-2350-3713
 - 電子メールアドレス: mitsumoto@inter7.jp
- 推奨用途及び使用上の制限:** 塗料
- 2. 危険有害性の要約** (Summary of Hazardous Properties)

[5] 名前を付けて保存しましょう。



MSDS の文言を保存しよう

(1) 御社独自の文言を追加したら、今後も利用できるように保存しましょう。

下図のように、4.応急措置以降の文言保存ボタンをクリックすると保存することができます。

一度、保存してしまえば、次回からはMSDSに記載したい項目に「1」を記入するだけで、MSDSに反映されます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	日本語 入力シート	分類ソフトについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9	2. 危険有害性の要約	ctrl + O でA2セルに戻れます。		
3	最終改訂日:	2011/4/1	3. 組成及び成分情報			
4	1. 製品及び会社情報		4. 応急措置			
5	製品名:	外装用塗料	5. 火災時の措置			
6	製品名:	テスト	6. 漏出時の措置	本社		
7	MSDS No.:	MSDS-001	7. 取扱い及び保管上の注意	IT-001		
8	製品番号:		8. 暴露防止及び保護措置			
9	選択(事業所):	本社	9. 物理的及び化学的性質	日本語		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)		10. 安定性及び反応性	本社		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)		1.1. 有害性情報	IT-Allia株式会社		
12	改版履歴:		1.2. 環境影響情報	662-0915		
13	言語:		1.3. 廃棄上の注意	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		
14	会社情報	本社	1.4. 輸送上の注意	GHS部		
15	会社名:	IT-Allia株式会社	1.5. 適用法令	090-2350-3713		
16	郵便番号:	662-0915	1.6. その他の情報	0798-22-6404		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		090-2350-3713		
18	担当部門:	GHS部		mitsumoto@inter7.jp		
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

(2) 過去に保存した文言を読み出したい場合は、文言を開くボタンをクリックしてください。

日本語・英語・中国語の文言の全てを保存、読み出します。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	日本語 入力シート	分類ソフトについてへ戻る		
2	作成日:	2010/11/9	2. 危険有害性の要約	ctrl + O でA2セルに戻れます。		
3	最終改訂日:	2011/4/1	3. 組成及び成分情報			
4	1. 製品及び会社情報		4. 応急措置			
5	製品名:	外装用塗料	5. 火災時の措置			
6	製品名:	テスト	6. 漏出時の措置	本社		
7	MSDS No.:	MSDS-001	7. 取扱い及び保管上の注意	IT-001		
8	製品番号:		8. 暴露防止及び保護措置			
9	選択(事業所):	本社	9. 物理的及び化学的性質	日本語		
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)		10. 安定性及び反応性	本社		
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)		1.1. 有害性情報	IT-Allia株式会社		
12	改版履歴:		1.2. 環境影響情報	662-0915		
13	言語:		1.3. 廃棄上の注意	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		
14	会社情報	本社	1.4. 輸送上の注意	GHS部		
15	会社名:	IT-Allia株式会社	1.5. 適用法令	090-2350-3713		
16	郵便番号:	662-0915	1.6. その他の情報	0798-22-6404		
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401		090-2350-3713		
18	担当部門:	GHS部		mitsumoto@inter7.jp		
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

(3) 4.応急措置以降の文言とは、下記の項目にあたります。

この項目は、御社独自の文言に修正可能です。□ [MSDS作成\(入力項目\)に記載しよう](#)でも説明しております。

A	B	C	D
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	日本語 入力シート
483			
484			
485			
486			
487	飲み込んだ場合:	活性炭を水と共に飲ませ吐き出させた後、卵白または牛乳を飲ませて直ちに医師の手当を受ける。	
488		口をすすいだ後、吐かせないこと。	
489		直ちに医師の手当を受ける。	
490		意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。	
491		嘔吐が生じる場合、開いた気道を維持するため患者をうつぶせにして寝かせる。	
492		無理に吐かせないで医師の手当を受ける。口の中が汚染されている場合は水で十分洗う。	
493		気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。	
494		多量の水を飲ませ、嘔吐させた後に医師の診断を受ける。	
495		飲み込んでも害はないが、異常があれば医師の処置を受ける。	
496	P310	直ちに医師に連絡すること。	1
497	P330	口をすすぐこと。	
498	P331	無理に吐かせてはならない。	
499		記載なし	
500			
501			

🎵 中国語の MSDS を作成しよう

超簡単に中国語の MSDS を作ろう

- 【1】日本語の MSDS の作成が終わってれば、中国の MSDS の作成は1クリックで作成することができます。
 下図のように、**日本** **中国語**ボタンをクリックしてください。

	A	B	C	D	E	F
1	製品安全データ表		4. 応急措置以降の文言保存	日本→中国語	分類ソフトについて	
2	作成日:		2010/10/29		中国語入力シート	
3	改正日:		2011/4/1			
4	1. 製品及会社情報				2. 危険有害性の要約	
5	製品の名称:		試作1	↓保存名	3. 組成及び成分情報	
6	製品名:		試作2		4. 応急措置	
7	MSDS No.:				5. 火災時の措置	
8	製品番号:				6. 漏出時の措置	
9	選択(工場)		本社	←プルダウンで 事業所を 選択すると	7. 取扱い及び保管上の注意	
10	整理番号1(MSDSに印刷なし)				8. 暴露防止及び保護措置	
11	メモ1(MSDSに印刷なし)				9. 物理的及び化学的性質	
12	改版履歴:				10. 安定性及び反応性	
13	语言:			↓自動入力	1.1. 有害性情報	
14	1. 製品及会社情報		本社		1.2. 環境影響情報	
15	会社名:		IT-Asia Ltd.		1.3. 廃棄上の注意	
16	郵便番号:		662-0915		1.4. 輸送上の注意	
17	住 址:		6-20-1401, Baba-cho, Nishinomiya-shi, Hyogo, Japan		1.5. 適用法令	
18	担当部門:		部門		1.6. その他の情報	
19	電話番号:		+81-798-22-6403			
20	传真号码/电子邮件地址:		+81-798-22-6404			
21	紧急联络电话号码:		+81-798-22-6404			
22	电子邮件地址:		mitsumoto@inter7.jp			
23	推荐用途及使用上的限制:					
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					
26	特有危険有害性:					

- 【2】☐ MSDS 作成(入力項目)を記載しようで日本語の MSDS 用ページでチェックした項目は、中国語の MSDS 作成ページで、**背景色が黄色**となっています。

	A	B	C	D	E	F
1	製品安全データ表		4. 応急措置以降の文言保存	日本→中国語	分類ソフトについて	
425						
426						
427	如誤吸入:		将操作人员转移至空气新鲜处静养, 接受医生治疗。	1	新鮮な空気の場所に移動。体を毛布などでおおい、呼吸を止めていなければ人工呼吸をしない。直ちに医師の手当を受ける。新鮮な場所に移動し、直ちに医師に連絡すること。気分が悪い時は、医師に連絡する。呼吸が困難な場合は、直ちに医師に連絡すること。情報なし。	
428			裹上毛毯等保暖, 并保持安静。			
429			若呼吸停止, 需进行人工呼吸。			
430			立即接受医生治疗。			
431		P340	将受害人转移到空气新鲜处, 保持呼吸舒适的休息姿势。			
432		P310	立即呼叫解毒中心或医生。			
433		P312	如感觉不适, 呼叫解毒中心或医生。			
434		P341	如呼吸困难, 将受害人转移到空气新鲜处, 保持呼吸舒适的休息姿势。			
435			没有信息。			
436						
437						
438						
439						
440						
441						
442						
443						
444						
445						
446						
447	如皮肤沾染:		立即将鞋和受污衣服全部脱掉。		廢物、汚染された衣類を多量の水および石鹸で洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。直ちに医師の手当を受ける。冷たい水に浸すこと/湿った多量の水と石鹸でよく洗う。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、直ちに医師に連絡すること。情報なし。	
448			用大量的水和肥皂清洗。			
449			若产生炎症, 需接受医生治疗。			
450			立即接受医生治疗。			
451		P334	浸入冷水中/用湿绷带包扎。			
452		P350	用大量的水和肥皂冲洗。			
453		P352	用大量肥皂和水清洗。			
454		P332P313	如发生皮肤刺激: 求医/就诊。			
455		P333P313	如发生皮肤刺激请立即求医/就诊。			
456			没有信息。			
457						

- [3] 日本 中国語ボタンをクリックをクリックすると、日本語の MSDS 用ページでチェックした項目にチェックが入ります。
つまり、1クリックすれば、日本語で作成した項目と同じ項目にチェックが入ります。

	A	B	C	D	E	F
		全体を保存	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く	日本→中国語	分類ソフトについて
1	製品安全データ表					
425						
426						
427	如誤吸入:		将操作人员转移至空气新鲜处静养, 接受医生治疗。			新鮮な空気の場所に移動させ安
428			裹毛毯等保暖, 并保持安静。			体を毛布などでおおい、保温して
429			若呼吸停止, 需进行人工呼吸。			呼吸していなければ人工呼吸を行
430			立即接受医生治疗。			直ちに医師の手当を受ける。
431		P340	将受害人转移到空气新鲜处, 保持呼吸舒适的休息姿势。	1		空気の新鮮な場所に移し、呼吸し
432		P310	立即呼叫解毒中心或医生。			直ちに医師に連絡すること。
433		P312	如感觉不适, 呼叫解毒中心或医生。	1		気分が悪い時は、医師に連絡する
434		P341	如呼吸困难, 将受害人转移到空气新鲜处, 保持呼吸舒适的休息姿势。			呼吸が困難な場合には、空気の新
435			没有信息。			情報なし。
436						
437						
438						
439						
440						
441						
442						
443						
444						
445						
446						
447	如皮肤沾染:		立即将鞋和受污衣服全部脱掉。			履物、汚染された衣類を全て直ち
448			用大量的水和肥皂清洗。			多量の水および石鹸で洗い流す。
449			若产生炎症, 需接受医生治疗。			炎症を生じた時は医師の手当を受
450			立即接受医生治疗。			直ちに医師の手当を受ける。
451		P334	浸入冷水中/用湿绷带包扎。			冷たい水に浸すこと/湿った包帯
452		P350	用大量的水和肥皂冲洗。	1		多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
453		P352	用大量肥皂和水清洗。			多量の水と石鹸で洗うこと。
454		P332P313	如发生皮肤刺激: 求医/就诊。	1		皮膚刺激が生じた場合、医師の診
455		P333P313	如发生皮肤刺激: 求医/就诊。			皮膚刺激または発疹が生じた場合
456			没有信息。			情報なし。

- [4] 「3. 組成及び成分情報」として MSDS に記載する項目を選択することができます。
初期設定では、中国の MSDS には下図の項目を表示するようになっていますが、表示を非表示に変更することで、MSDS への表示・非表示を簡単に選択することができます。

	MSDS表示
化学名または一般名	表示
別名	表示
CAS番号	表示
濃度又は濃度範囲(重量%)	表示
化学式または構造式	表示
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	非表示
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	表示
TSCA登録の有無	表示
EINECSNo.	表示
PRTR法指定化学物質	非表示
安衛法通知対象物	非表示
毒劇法毒物劇物	非表示

[5] 「トップページ」の **MSDS 使用言語** で中国を選択します。

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+wでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 中国語 (選択済み) → MSDS使用言語
 を選択してく
 ださい。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①ブルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時に
 パスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
 をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
 JIS Z 7252 ←通常のJIS版
 GHS改訂3版を要求された場合

[6] 「データ検索」ボタンをクリックすると、**MSDS およびラベルが自動的に作成**されます。

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+wでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 中国語 (選択済み) → MSDS使用言語
 を選択してく
 ださい。

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①ブルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時に
 パスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
 をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
 JIS Z 7252 ←通常のJIS版
 GHS改訂3版を要求された場合

【7】 下図のような中国のMSDSが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA
1		分類ソフトについて へ戻る	制品安全数据表																																																		
2		MSDS作成	作成日: 2010/10/29																																																		
3			改正日: 2011/04/01																																																		
4			1. 制品及公司情报																																																		
5		MSDS保存	制品的名称: 試作1																																																		
6			制品名: 試作2																																																		
7			公司情报																																																		
8			公司名: IT-Allia Ltd.																																																		
9			邮政编码: 662-0915																																																		
10			住址: 6-20-1401, Baba-cho, Nishinomiya-shi, Hyogo, Japan																																																		
11			担当部门: 部门																																																		
12			电话号码: +81-798-22-6403																																																		
13			传真号码/电子邮件地址: +81-798-22-6404																																																		
14			紧急联络电话号码: +81-798-22-6404																																																		
15			电子邮件地址: mitsumoto@inter7.jp																																																		
16			2. 危险有害性的要点																																																		
17			GHS分类: 相当																																																		
18			物理化学的危险性																																																		
19			爆炸物: 其他																																																		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA
46			特定目标器官毒性-重复接触:																																																		
47			第1类 (中枢神经系统, 肝脏, 肾脏, 血液系统, 心脏, 末梢神经系统, 眼睛)																																																		
48			吸入危险: 第1类																																																		
49			对环境的有害性																																																		
50			危害水生环境-急性毒性: 第1类																																																		
51			危害水生环境-慢性毒性: 第1类																																																		
52			臭氧层的有害性: 其他																																																		
53			上述没有记载危险有害性的是对象外或无法分类																																																		
54			GHS标签要素																																																		
55			用图表示或符号:																																																		
56																																																					
57																																																					
58																																																					
59																																																					
60																																																					
61			唤起注意: 危险																																																		
62			危险有害性情报:																																																		
63	H302		· 吞咽有害																																																		
64	H332		· 吸入有害																																																		
65	H315		· 造成皮肤刺激																																																		
66	H319		· 造成严重眼损伤																																																		
67	H317		· 可能导致皮肤过敏反应																																																		
68	H360		· 可能对生育能力或胎儿造成伤害																																																		
69	H370		· 对器官造成损害																																																		
70	H372		· 长期或重复接触会对器官造成伤害																																																		

中国語 MSDS 作成 (入力項目) を記載しよう

【1】中国語の MSDS を作成しましょう。

日本では JIS Z 7250:2010 に準拠して作成する必要がありますが、
中国語の MSDS の場合、GHS 改訂 3 版に準拠して作成するとよいでしょう。
TOP ページの「MSDS (中国語) 入力項目」を選択してください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語

日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①ブルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード

ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 **全体を開く** **新規作成 (全クリア)** ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版 GHS改訂3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類が可能です。

【2】中国語でも日本語の時と、作成方法は一緒になります。

□ [MSDS 作成 \(入力項目\) を記載しよう](#)を参照にオレンジ色のセル、黄色のセルの入力を行ってください。

【3】日本語の MSDS の作成が終わってれば、中国語の MSDS の作成は 1クリックで作成することができます。

下図のように、日本 中国語ボタンをクリックしてください。

	A	B	C	D	E	F
1		全体を保存	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く	日本→中国語	分類ソフトについて
2	製品安全データ表					
3	作成日:	2010/10/29				中国語入力シート
4	改正日:	2011/4/1				
5	1. 製品及会社情報					2. 危険有害性の要約
6	製品の名称:	試作1		↓保存名		3. 組成及び成分情報
7	製品名:	試作2				4. 応急措置
8	MSDS No.:					5. 火災時の措置
9	製品番号:					6. 漏出時の措置
10	選択 (工場):	本社		←ブルダウンで 事業所を 選択すると		7. 取扱い及び保管上の注意
11	整理番号1 (MSDSに印刷なし):					8. 暴露防止及び保護措置
12	整理番号2 (MSDSに印刷なし):					9. 物理的及び化学的性質
13	改版履歴:					10. 安定性及び反応性
14	言語:					11. 有害性情報
15	14. 会社情報			↓自動入力		12. 環境影響情報
16	会社名:	IT-Allia Ltd.				13. 廃棄上の注意
17	郵便番号:	662-0915				14. 輸送上の注意
18	住所:	6-20-1401, Baba-cho, Nishinomiya-shi, Hyogo, Japan				15. 適用法令
19	担当部門:	部				16. その他の情報
20	電話番号:	+81-798-22-6403				
21	伝真番号/電子メールアドレス:	+81-798-22-6404				
22	緊急連絡電話番号:	+81-798-22-6404				
23	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
24	推奨用途及使用上の制限:					
25	2. 危険有害性の要約					
26	重要危険有害性:					
27	特有危険有害性:					

【6】「3. 組成及び成分情報」として MSDS に記載する項目を選択することができます。

初期設定では、中国語の MSDS には下図の項目を表示するようになっていますが、表示を非表示に変更することで、MSDS への表示・非表示を簡単に選択することができます。

	MSDS表示
化学名または一般名	表示
別名	表示
CAS番号	表示
濃度又は濃度範囲(重量%)	表示
化学式または構造式	表示
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	非表示
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	表示
TSCA登録の有無	表示
EINECSNo.	表示
PRTR法指定化学物質	非表示
安衛法通知対象物	非表示
毒劇法毒物劇物	非表示

中国語のMSDSを作成しよう

[1] 「トップページ」のMSDS使用言語を選択します。

The screenshot shows the 'MSDS Use Language' dropdown menu with '中国語' (Chinese) selected. The interface includes sections for 'Input Classification', 'Customize', 'MSDS', and 'Classification Root'. The 'MSDS Use Language' dropdown is highlighted with a red box, and a note indicates to select the language.

[2] 「トップページ」-「入力分類」の対象言語のMSDS入力項目を選択し、MSDS やラベルに記載したい項目を入力します。

中国語のMSDSを作成しようの口 [中国語MSDS作成\(入力項目\)を記載しよう](#)を参照ください。

The screenshot shows the 'MSDS (Chinese) Input Item' selected in the 'Input Classification' section. The 'MSDS Use Language' dropdown is now set to '日本語' (Japanese). A note at the bottom indicates that GHS classification is possible after completing the physical/chemical hazard and component input.

[3] 「データ検索」ボタンをクリックすると、MSDS およびラベルが自動的に作成されます。

2012/4/22 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+wでこのページに戻れます）

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分（CAS番号、含有量）入力
- ③MSDS（日本語）入力項目
- ④MSDS（英語）入力項目
- ⑤MSDS（中国語）入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 中国語
MSDS使用言語を選択してください。

MSDS

- ①MSDS確認、保存

ラベル

- ①ラベル確認、保存

分類根拠

- ①分類根拠印刷

データベース

- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①ブルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

MSDS組成情報自動入力	ON
ラベルCSV自動保存	ON
法律が変更となった場合	
①表示対象物質追加	
②通知対象物質追加	
③オゾン層への有害対象物リスト	

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成（全クリア）
←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索（GHS分類）

分類根拠
 ←通常はJIS版
GHS改訂3版を要求された場合

[4] 下図のような中国語のMSDSが作成されます。

分類ソフトについてへ戻る

MSDS作成

MSDS保存

制品安全数据表

作成日: 2010/10/29
 改正日: 2011/04/01

1. 制品及公司情报

制品的名称: 試作1
 制品名: 試作2

公司信息
 公司名: IT-Asia Ltd.
 邮政编码: 662-0915
 住址: 6-20-1401, Baba-cho, Nishinomiya-shi, Hyogo, Japan

担当部门: 部门
 电话号码: +81-798-22-6403
 传真号码/电子邮件地址: +81-798-22-6404
 紧急联络电话号码: +81-798-22-6404
 电子邮件地址: mitsumoto@inter7.jp

2. 危险有害性的要点

GHS分类: 相当
 物理化学的危险性
 爆炸物: 其他

MSDS を保存しよう

【1】作成した MSDS を保存しましょう。

作成した MSDS は、印刷や編集が可能な **エクセルファイル** で保存することができます。

まずは、TOP ページの「 **MSDS 確認、保存** 」を選択してください。

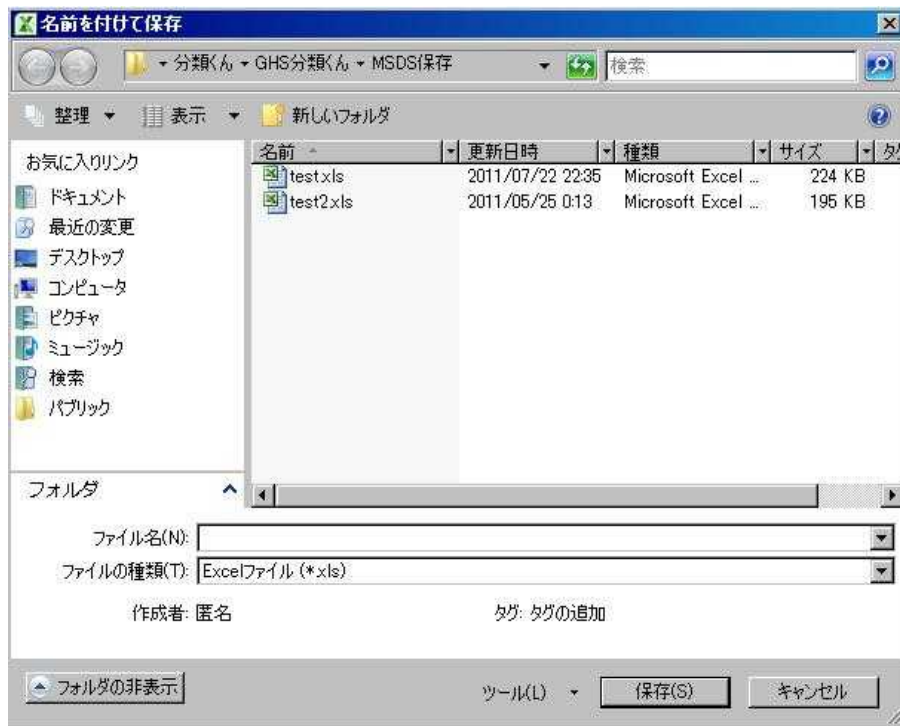
The screenshot shows the main menu of the MSDS software. The 'MSDS 確認、保存' button is highlighted in red. Other buttons include 'MSDS', 'ラベル', '分類根拠', 'データベース', 'データ検索 (GHS分類)', '分類根拠', '全体を保存', '全体を閉く', '新規作成 (全クリア)', and 'MSDS 作成'.

【2】下図のような、MSDS が作成されたページが表示されます。

The screenshot shows the generated MSDS document. The title is '製品安全データシート'. The document includes the following information:

- 作成日: 2010/11/09
- 最新の改訂日: 2011/04/01
- 1. 製品及び会社情報
 - 製品の名称: 外装用塗料
 - 製品名: テスト
 - MSDSNo.: MSDS-001
 - 会社情報
 - 会社名: IT-Allia株式会社
 - 郵便番号: 662-0915
 - 住所: 兵庫県西宮市馬場町6-20-1401
 - 担当部門: GHS部
 - 電話番号: 090-2350-3713
 - FAX番号: 0798-22-6404
 - 緊急連絡先電話番号: 090-2350-3713
 - 電子メールアドレス: mitsumoto@inter7.jp
- 推奨用途及び使用上の制限: 塗料
- 2. 危険有害性の要約

[5] 名前を付けて保存しましょう。



MSDS の文言を保存しよう

(1) 御社独自の文言を追加したら、今後も利用できるように保存しましょう。

下図のように、4.応急措置以降の文言保存ボタンをクリックすると保存することができます。

一度、保存してしまえば、次回からはMSDSに記載したい項目に「1」を記入するだけで、MSDSに反映されます。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	日本語 入力シート	2. 危険有害性の要約	ctrl + O でA2セルに戻れます。	
2	作成日:	2010/11/9	↓保存	3. 組成及び成分情報		
3	最終改訂日:	2011/4/1	↑プルダウンで 事業所を 選択すると	4. 応急措置		
4	1. 製品及び会社情報		↓自動入力	5. 火災時の措置		
5	製品の名前:	外装用塗料		6. 漏出時の措置	本社	
6	製品名:	テスト		7. 取扱い及び保管上の注意	IT-001	
7	MSDS No.:	MSDS-001		8. 暴露防止及び保護措置		
8	製品番号:			9. 物理的及び化学的性質	日本語	
9	選択(事業所):	本社		10. 安定性及び反応性	本社	
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)			1.1. 有害性情報	IT-Allia株式会社	
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)			1.2. 環境影響情報	662-0915	
12	改版履歴:			1.3. 廃棄上の注意	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401	
13	言語:			1.4. 輸送上の注意	GHS部	
14	会社情報	本社		1.5. 適用法令	090-2350-3713	
15	会社名:	IT-Allia株式会社		1.6. その他の情報	090-2350-3713	
16	郵便番号:	662-0915			mitsumoto@inter7.jp	
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401				
18	担当部門:	GHS部				
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

(2) 過去に保存した文言を読み出したい場合は、文言を開くボタンをクリックしてください。

日本語・英語・中国語の文言を全てを保存、読み出します。

A	B	C	D	E	F	G
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	日本語 入力シート	2. 危険有害性の要約	ctrl + O でA2セルに戻れます。	
2	作成日:	2010/11/9	↓保存	3. 組成及び成分情報		
3	最終改訂日:	2011/4/1	↑プルダウンで 事業所を 選択すると	4. 応急措置		
4	1. 製品及び会社情報		↓自動入力	5. 火災時の措置	本社	
5	製品の名前:	外装用塗料		6. 漏出時の措置	IT-001	
6	製品名:	テスト		7. 取扱い及び保管上の注意		
7	MSDS No.:	MSDS-001		8. 暴露防止及び保護措置	日本語	
8	製品番号:			9. 物理的及び化学的性質	本社	
9	選択(事業所):	本社		10. 安定性及び反応性	IT-Allia株式会社	
10	整理番号1 (MSDSに印刷なし)			1.1. 有害性情報	662-0915	
11	メモ1 (MSDSに印刷なし)			1.2. 環境影響情報	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401	
12	改版履歴:			1.3. 廃棄上の注意	GHS部	
13	言語:			1.4. 輸送上の注意	090-2350-3713	
14	会社情報	本社		1.5. 適用法令	0798-22-6404	
15	会社名:	IT-Allia株式会社		1.6. その他の情報	090-2350-3713	
16	郵便番号:	662-0915			mitsumoto@inter7.jp	
17	住所:	兵庫県西宮市馬場町6-20-1401				
18	担当部門:	GHS部				
19	電話番号:	090-2350-3713				
20	FAX番号:	0798-22-6404				
21	緊急連絡先電話番号:	090-2350-3713				
22	電子メールアドレス:	mitsumoto@inter7.jp				
23	推奨用途及び使用上の制限:	塗料				
24	2. 危険有害性の要約					
25	重要危険有害性:					

(3) 4.応急措置以降の文言とは、下記の項目にあたります。

この項目は、御社独自の文言に修正可能です。□ [MSDS 作成\(入力項目\)に記載しよう](#)でも説明しております。

A	B	C	D
1	製品安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	文言を開く
483			
484			
485			
486			
487	飲み込んだ場合:	活性炭を水と共に飲ませ吐き出させた後、卵白または牛乳を飲ませて直ちに医師の 手当てを受ける。	
488		口をすすいだ後、吐かせないこと。	
489		直ちに医師の手当てを受ける。	
490		意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。	
491		嘔吐が生じる場合、開いた気道を維持するため患者をうつぶせにして寝かせる。	
492		無理に吐かせないで医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は水で 十分洗う。	
493		気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。	
494		多量の水を飲ませ、嘔吐させた後に医師の診断を受ける。	
495		飲み込んだりも害はないが、異常があれば医師の処置を受ける。	
496	P310	直ちに医師に連絡すること。	1
497	P330	口をすすぐこと。	
498	P331	無理に吐かせてはならない。	
499		記載なし	
500			
501			

🎵 ラベルを作成しよう

ラベルを作成しよう

【1】ラベルを作成しましょう。

「データ検索」ボタンをクリックすると、MSDS およびラベルが自動的に作成されます。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ツツ (分類くん) について

本ツツはGHS分類に基づいた混合物の分類ツツであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
GHS2013版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

【2】トップページの、「ラベル確認、保存」をクリックすると作成したラベルの確認および保存を行うことができます。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ツツ (分類くん) について

本ツツはGHS分類に基づいた混合物の分類ツツであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索 (GHS分類)




分類根拠 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
GHS2013版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

【3】 選択した言語によって、下図のようなラベルが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE
1	分類ソフトについて へ戻る																														
2																															
3																															
4	ラベル作成																														
5	CSV書出し																														
6																															
7																															
8																															
9	ラベル保存																														
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															
21																															
22																															
23																															
24																															
25																															
26																															
27																															
28																															
29																															
30																															
31																															
32																															
33																															

テスト

危険   




- ・飲み込むと有害
- ・吸入すると有害
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器の障害
- ・長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害
- ・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性

注意書き
予防策：

- ・取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE
1	分類ソフトについて へ戻る																														
2																															
3																															
4	ラベル作成																														
5	CSV書出し																														
6																															
7																															
8																															
9	ラベル保存																														
10																															
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															
21																															
22																															
23																															
24																															
25																															
26																															
27																															
28																															
29																															
30																															
31																															
32																															
33																															

test2

Danger   

- ・Harmful if swallowed
- ・Harmful if inhaled
- ・Causes skin irritation
- ・Causes serious eye irritation
- ・May cause an allergic skin reaction
- ・May damage fertility or the unborn child
- ・Causes damage to organs
- ・Causes damage to organs through prolonged or repeated exposure
- ・May be fatal if swallowed and enters airways
- ・Very toxic to aquatic life

Precautionary statements
Prevention :

- ・Wash hand thoroughly after handling.
- ・Do not eat, drink or smoke when using this product.
- ・Avoid breathing dust/fume/gas/mist/vapours/spray.
- ・Use only outdoors or in a well-ventilated area.
- ・Wear protective gloves/protective clothing/eye protection/face protection.

ラベルを保存しよう

[1] ラベルを保存しましょう。

トップページの、「ラベル確認、保存」をクリックすると作成したラベルの確認および保存を行うことができます。

The screenshot shows a software window titled '混合物の分類ソフト (分類くん) について'. It contains several sections:

- 入力分類 (Input Classification):** Includes options for physical/chemical hazard input, component input (CAS number, concentration), MSDS input (Japanese, English, Chinese), and final result update.
- MSDS (MSDS):** Includes options for MSDS confirmation/saving, label creation, label confirmation/saving (highlighted in red), classification basis, classification basis printing, and data bases.
- カスタマイズ (Customize):** Includes options for print registration, database addition, warning phrase registration, MSDS input item comment registration, and mixture registration.
- 設定 (Settings):** Includes options for automatic MSDS composition information input, automatic label CSV saving, and adding substances for display, notification, and ozone layer.
- 本人確認パスワード (Personal Confirmation Password):** A field for password entry.
- Buttons:** '全体を保存' (Save All), '全体を開く' (Open All), '新規作成 (全クリア)' (New Creation (All Clear)), and 'データ検索 (GHS分類)' (Data Search (GHS Classification)).
- 分類根拠 (Classification Basis):** A dropdown menu showing 'JIS Z 7252'.

[2] ラベル保存ボタンをクリックすると、レイアウトの変更可能なエクセルファイル形式で保存できます。

保存先はお好きなフォルダを選択できます。初期設定は「GHS 分類くん」フォルダ内の「ラベル保存」フォルダとなっています。

The screenshot shows the software interface with the 'ラベル保存' button highlighted in red. The resulting label is displayed in a grid format, featuring hazard symbols and text:

テスト

危険 (Hazard symbols: Health, Environment, Exclamation mark)

- ・飲み込むと有害
- ・吸入すると有害
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器の障害
- ・長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害
- ・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性

注意書き
予防策:

- ・取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

ラベルの内容を txt 形式に出力しよう

[1] ラベルの内容を txt 形式に出力しましょう。

トップページの、「ラベル txt 形式自動保存」を ON にすると、ラベルの内容を txt 形式で出力することができます。
 他のラベル印刷システムを利用している場合でも、「ラベル txt 形式自動保存」機能を利用することで、
 GHS 分類した結果をテキストデータとして出力でき、他のソフトで利用することができます。

2012/7/16 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 また、同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+Wでこのページに戻れます）

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①プルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分（CAS番号、含有量）入力	②データベース追加	ラベルtxt形式自動保存 OFF
③MSDS（日本語）入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS（英語）入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS（中国語）入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語
 英語 ←MSDS使用言語を選択してください。

MSDS
 ①MSDS確認、保存
 ラベル
 ①ラベル確認、保存
 分類根拠
 ①分類根拠印刷
 データベース
 ①成分データベース一覧
 ②混合物データベース一覧

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成（全クリア） ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情をクリアします。

データ検索（GHS分類）

分類根拠
 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
 GHS改訂3版を要求された場合

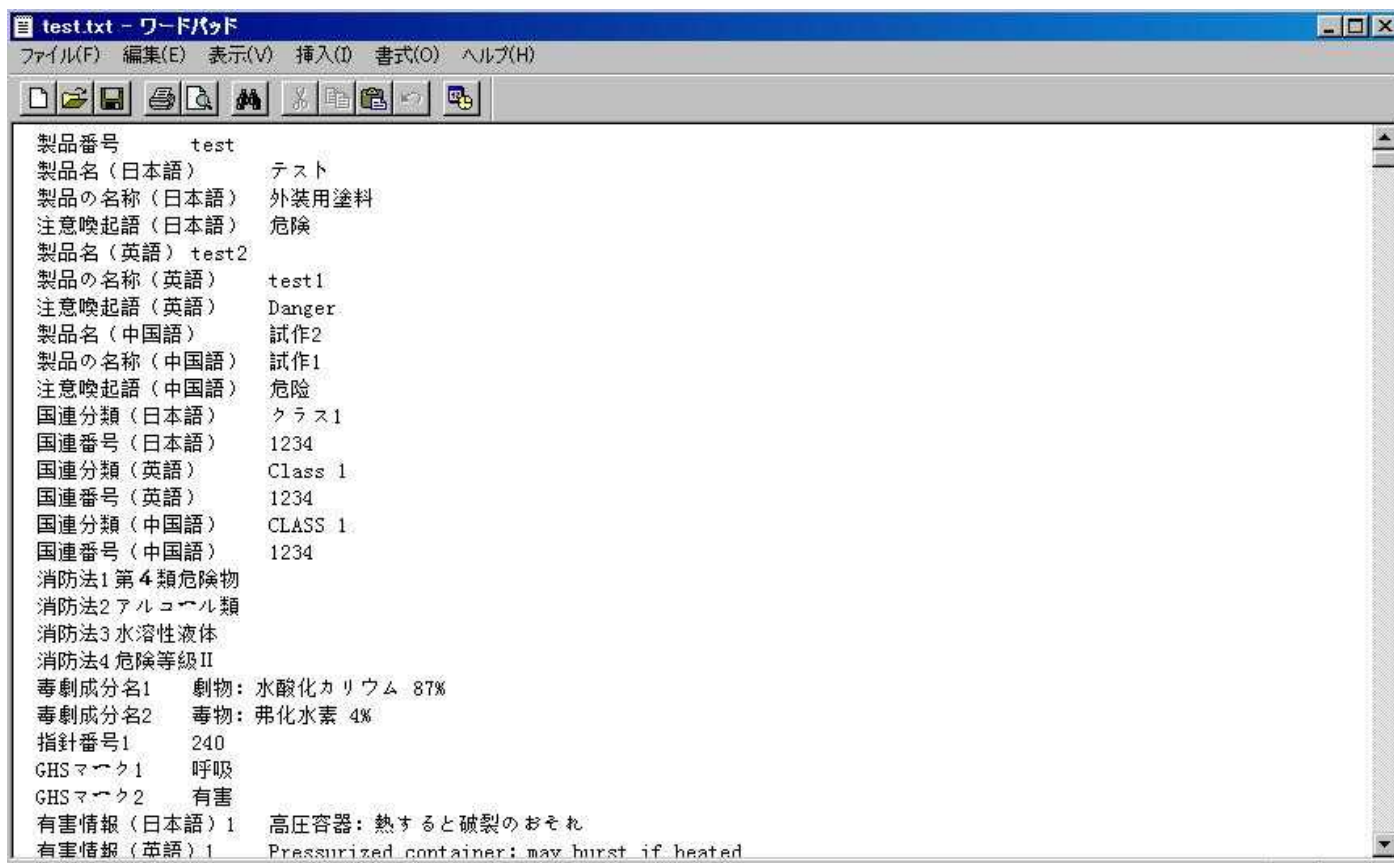
①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[2] トップページの、「ラベル txt 形式自動保存」を ON としていると、データ検索中に、自動でテキストデータが作成されます。
 ソフトの初期設定は「ラベル txt 形式自動保存」は OFF となっております。
 自動保存される、テキストデータの保存先は、ソフトのフォルダ内の「csv 保存」フォルダに「保存名.txt」で保存されています。



[3] 作成されたテキストデータは下図のように、TAB 区切りとなっております。

出力形式の変更や出力項目の追加・削減、および項目名の変更が必要な場合は、[ソフト修正の見積もり](#)をご依頼ください。



The screenshot shows a Notepad window titled "test.txt - ワードパッド". The text content is as follows:

製品番号	test
製品名 (日本語)	テスト
製品の名称 (日本語)	外装用塗料
注意喚起語 (日本語)	危険
製品名 (英語)	test2
製品の名称 (英語)	test1
注意喚起語 (英語)	Danger
製品名 (中国語)	試作2
製品の名称 (中国語)	試作1
注意喚起語 (中国語)	危険
国連分類 (日本語)	クラス1
国連番号 (日本語)	1234
国連分類 (英語)	Class 1
国連番号 (英語)	1234
国連分類 (中国語)	CLASS 1
国連番号 (中国語)	1234
消防法1 第4類危険物	
消防法2 アルコール類	
消防法3 水溶性液体	
消防法4 危険等級II	
毒劇成分名1	劇物: 水酸化カリウム 87%
毒劇成分名2	毒物: 弗化水素 4%
指針番号1	240
GHS マーク1	呼吸
GHS マーク2	有害
有害情報 (日本語) 1	高圧容器: 熱すると破裂のおそれ
有害情報 (英語) 1	Pressurized container: max burst if heated

🎵 分類根拠を確認しよう

分類根拠を確認しよう

【1】 分類根拠を確認しましょう。

このソフトでは、GHSの分類根拠を簡単に調べることができます。

例えば、なぜ、急性毒性(経口)が区分1になったのか?を調べることができます。

データ検索後、トップページの **分類根拠印刷** を選択ください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①ブルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分 (CAS番号、含有量) 入力	②データベース追加	ラベルCSV自動保存 ON
③MSDS (日本語) 入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS (英語) 入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS (中国語) 入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語: 日本語 (←MSDS使用言語を選択してください)

本人確認パスワード: (←ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。)

MSDS: ①MSDS確認、保存

ラベル: ①ラベル確認、保存

分類根拠: ①**分類根拠印刷**

データベース: ①成分データベース一覧 ②混合物データベース一覧

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) (←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。)

データ検索 (GHS分類) 分類根拠: JIS Z 7252 (←通常はJIS版 GHS2013版を要求された場合)

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[2] それぞれの危険区分となった根拠が表示されます。

例えば、急性毒性(経口)の分類根拠では急性毒性推定値を計算によって求めて、分類します。

この分類根拠を手元を持っていれば、分類担当者でなくても、分類根拠をお客様に説明することができます。

	A	B	C	D	E
10					
11					健康に対する有害性
12					
13					3. 急性毒性 (経口)
14					CAS No.108-88-3 「区分5」 50%含有。急性毒性(経口)「区分5」の急性毒性変換値は2500である。よって、CAS No.108-88-3の濃度/急性毒性変換値=50/2500=0.02である。
15					CAS No.118-96-7 「区分4」 50%含有。急性毒性(経口)「区分4」の急性毒性変換値は500である。よって、CAS No.118-96-7の濃度/急性毒性変換値=50/500=0.1である。
16					よって、未知の成分は含まれていない。
17					未知の成分が全成分の10%以下であるため、次の式に従って急性毒性推定値 (ATEmix) を算出する。 $ATEmix = 100 / (\sum Ci / AETi)$
18					混合物中の急性毒性(経口)の濃度/急性毒性変換値の合計値=0.12。よって、急性毒性推定値=100/(濃度/急性毒性変換値の合計値)=833.333。『300< 区分4 ≤2000』であるため、【区分4】に分類した。
19					
20					4. 急性毒性 (経皮)
21					CAS No.108-88-3 「区分外」(毒性なし) 50%含有。
22					CAS No.118-96-7 「分類できない」(未知成分) 50%含有。
23					よって、未知の成分は全成分の50%含まれている。
24					未知の成分が全成分の10%を超えるため、次の式に従って急性毒性推定値 (ATEmix) を算出する。 $ATEmix = (100 - \sum Cunknown) / (\sum Ci / AETi)$
25					混合物中の急性毒性推定値=0であり、【区分外】とした。
26					判定区分は「区分外」となるが、「分類できない」成分が合計50%含まれ、カットオフ値1%以上であることから、【分類できない】とする。

一覧表を印刷しよう

[1] GHS分類の一覧表を印刷しましょう。

GHSの分類結果をまとめた一覧表もこのソフトでは作成されます。

データ検索後、トップページの **成分(CAS番号、含有量)入力** を選択ください。

[2] 「トップページ」 - 「入力分類」の **成分(CAS番号、含有量)入力** ページに分類結果の一覧表が作成されます。

下図に示すように、E列に混合物の分類された結果が表示されます。

K列以降には、各成分の区分データが表示されますので、混合物のGHS分類された理由を一覧表で確認することができます。

このページを印刷しておけば、GHSの分類結果を一目で確認できます。

物理化学危険入力で入力した値が表示されています。

製品名	テスト	区分	ラベル	ラベル表示	注意喚起語	危険有害性情報	成分名	トルエン	アセトアルデヒド	CASなし
CAS No.	↓合計が100%になっていません						100-88-3	75-07-0		
含有量 (mass %)	100.0						80.00	21.00		
							79.21	20.79	0.00	
物理化学的危険性										
1 火災危険	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
2 可燃性/引火性ガス	分類対象外	なし	なし	なし	なし	なし				
3 可燃性/引火性エアゾール	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
4 炎燃性/酸化性ガス	分類対象外	なし	なし	なし	なし	なし				
5 高圧ガス	分類対象外	なし	なし	なし	なし	なし				
6 引火性液体	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
7 可燃性液体	分類対象外	なし	なし	なし	なし	なし				
8 自己反応性物質および混合物	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
9 自然発火性液体	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
10 自然発火性固体	分類対象外	なし	なし	なし	なし	なし				
11 自己発熱性物質および混合物	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
12 水と接触して可燃性/引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
13 酸化性液体	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
14 酸化性固体	分類対象外	なし	なし	なし	なし	なし				
15 有機過酸化液	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
16 有機過酸化固体	区分外	なし	なし	なし	なし	なし				
健康に対する有害性										
1-1 急性毒性 (経口)	区分4	感嘆符	感嘆符	警告	飲み込むと有害	不明成分0.0%	区分3	区分4	区分できない	
1-2 急性毒性 (経皮)	分類できない	なし	なし	なし	なし	不明成分20.0%	区分外	分類できない	分類できない	
1-3 急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外	なし	なし	なし	なし	不明成分0.0%	分類対象外	分類対象外	分類できない	
1-4 急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分4	感嘆符	感嘆符	警告	吸入すると有害	不明成分0.0%	区分4	区分外	分類できない	
1-5 急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	分類できない	なし	なし	なし	なし	不明成分100.0%	分類できない	分類できない	分類できない	
2 皮膚腐食性/刺激性	区分2	感嘆符	感嘆符	警告	皮膚刺激	不明成分0.0%	区分2	区分2	分類できない	
3 眼に対する重篤な刺激性/眼刺激性	区分2	感嘆符	感嘆符	警告	強い眼刺激	不明成分0.0%	区分2	区分2	分類できない	
4 呼吸器刺激性又は皮膚刺激性	呼吸器分類できない/皮膚分類できない	なし/なし	なし/なし	なし/なし	なし/なし	不明成分20.0%	呼吸器刺激性: 分類できない/皮膚刺激性: 分類できない	呼吸器刺激性: 分類できない/皮膚刺激性: 分類できない	呼吸器刺激性: 分類できない/皮膚刺激性: 分類できない	
呼吸器刺激性	分類できない	なし	なし	なし	なし	不明成分100.0%	分類できない	分類できない	分類できない	
皮膚刺激性	分類できない	なし	なし	なし	なし	不明成分0.0%	区分外	区分外	分類できない	

GHS分類マニュアルに基づいて分類された結果が表示されます。各成分の区分を表示しています。(データベースの値)

🎵 成分のデータを追加しよう

未登録成分データを登録しよう

【1】未登録成分データを登録しましょう。

このソフトでは、NITE より公表されている約 2200 種類の GHS の分類結果のデータを最初から保持しております。
しかし、基本的に公表されている物質は危険物質であり、安全な物質のデータは入っておりません。
たとえば、塩化ナトリウム(塩)のような、安全な物質は登録されておりません。

また、危険物質でもすべての物質が網羅されているわけではありません。

データベースにない物質があり、成分データをお持ちの場合は、そのデータを**新規登録**すれば、精度の高い GHS 分類をすることができます。

もちろん、成分データをお持ちでない場合でも GHS 分類を行うことは可能です。

その場合は、データのない成分は、すべての項目で「分類できない」成分であるとして計算します。

データベースの登録は、トップページのカスタマイズ項目の **データベース追加** を選択ください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①プルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分 (CAS番号、含有量) 入力	②データベース追加	ラベルCSV自動保存 ON
③MSDS (日本語) 入力項目	③注意書きフリース登録	法律が変更となった場合
④MSDS (英語) 入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS (中国語) 入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語: 日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

本人確認パスワード: ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索 (GHS分類) 分類根拠: JIS Z 7252 ←通常はJIS版 GHS第3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[2] 成分の分類結果の追加ページが表示されます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	分類ソフトについてへ戻る				全体を保存	分類データを開く	分類データ追加・変更	クリア	作成日:		←[データ追加・変更ボタン] この分類ソフトでは、物理		
2	危険有害性の分類結果データの追加												
3													
4													
5													
6													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													

[3] 成分の追加は下図のようにプルダウンで簡単に登録できます。

このソフトでは、物理化学的危険性に関するデータは入力する必要がなく、登録作業も簡単に行えます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	分類ソフトについてへ戻る				全体を保存	分類データを開く	分類データ追加・変更	クリア	作成日:		←[データ追加・変更ボタン] この分類ソフトでは、物理		
2	危険有害性の分類結果データの追加												
3													
4													
5													
6													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													

【4】 特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露) と特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露) については例を参考にしてください。

臓器の部分は Y 列の中から選択してください。

(区分 1)、(区分 2)、(区分 3)の後に対象臓器を記載して、対象臓器は「、」読点で区切ってください。

臓器名の後ろには必ず「、」読点を記載してください。

「区分外」、「分類できない」については下図の例3、例4のように句読点は必要ありません。

区分の異なる対象臓器がある場合は、例1のように記載ください。

区分 1 であることは分かっているが、対象臓器が不明である場合は、例5のように「(区分 1)不明、」と記載ください。

記載に間違いがあるとエラー表示がでますので、もう一度入力を確認後、登録してください。

例 1

(区分 1)呼吸器系、神経系、(区分 3)麻酔作用、

例 2

(区分 2)肝臓、聴覚、血液系、中枢神経系、

例 3

区分外

例 4

分類できない

例 5

(区分 1)不明、

36	8	特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)	分類できない	<p>例1 (臓器の部分はY列の中から選択してください。) (区分1)呼吸器系、神経系、(区分3)麻酔作用、</p> <p>例2 (区分2)肝臓、聴覚、血液系、中枢神経系、</p> <p>例3 区分外</p> <p>例4 分類できない</p> <p>例5 (G2でのデータの場合や影響する臓器がわからない場合) (区分1)不明、</p>				
37	9	特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)	分類できない	<p>例1 (臓器の部分はY列の中から選択してください。) (区分1)呼吸器系、神経系、(区分2)肝臓、聴覚、血液系、中枢神経系、</p> <p>例2 区分外</p> <p>例3 分類できない</p> <p>例4 (G2でのデータの場合や影響する臓器がわからない場合) (区分1)不明、(区分2)不明、</p>				
38	10	吸引性呼吸器有害性	分類できない	区分1	区分2	区分外	分類できない	分類対象外
39	環境に対する有害性							

[5] 登録可能な標的臓器は Y 列以降に表示されています。

T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC
					臓器部分				
					不明	心血管系	吸入	泌尿器	脂
					神経系	気道刺激性	眼	感覚器	リンパ
					呼吸器系	免疫系	骨	歯	脾臓
					中枢神経系	消化器系	子宮	歯周組織	吸入経路
					麻酔作用	心臓	鼻	鼻粘膜	皮膚付属
					甲状腺	歯肉	眼網膜	唾液腺	気管支
					肝臓	リンパ節	膀胱	毛脱毛症	前立腺
					腎臓	脳血管系	顎下腺	経口	精巣付属
					骨髄	血経	吸入肝臓	視神経系	心筋
					肺	副腎	筋肉	呼吸器系吸入	副生殖器官
					胃	全身	下垂体	小腸	十二指腸
					聴覚	血管系	腸管	全身性	

臓器名 →

[6] 毒性濃度 LC50 もしくは EC50 のデータを mg/L の単位で入力してください。

< 記載上の注意 >

水生動植物の毒性濃度 LC50 または EC50(mg/L)が不明の場合は「分類できない」を記載してください。

水生環境有害性(急性)もしくは水生環境有害性(慢性)が「区分1」の場合は記入する必要があります。

単位には十分注意してください。

例えば 1.2 µg/L の場合は、単位を mg/L に変換すると 0.0012mg/L ですので、「0.0012」を記入してください。

水生環境有害性(急性)もしくは水生環境有害性(慢性)が「区分1」以外の場合記載する必要はありません。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
38		10	吸引性呼吸器有害性		分類できない			区分1	区分2	区分外	分類できない	分類対象外			
39			環境に対する有害性												
40		11-1	水生環境有害性(急性)		分類できない			区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない	分類対象外		
41		11-2	水生環境有害性(慢性)		分類できない			区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	分類対象外	
42		11	毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)		0.0000000000			水生動植物の毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)が不明の場合は「分類できない」を記載。水生環境有害性(急性)もしくは水生環境有害性(慢性)が「区分1」の場合は記入する必要があります。単位に注意してください。例えば1.2 µg/Lの場合は、単位をmg/Lに変換すると0.0012mg/Lですので、「0.0012」を記入してください。							
100			別名												
101			化学式または構造式												
102			官報公示整理番号(化審法・安衛法)												
103			分類に寄与する不純物及び安定化添加物												
104			TSCA登録の有無												
105			EINECSNo.												
106			PRTR法指定化学物質												
107			毒劇法毒物劇物												
108			Chemical identity of the substance :												
109			Synonym of the substance :												
110			Impurities and stabilizing additives :												
111			物質的化学名称:												
112			同物異名:												
113			杂质和安定化添加剤:												
114															

ない場合は、「-」を記入しておく。英語MSDSでも組成情報入力の際の見栄えが良いです。

英語名での「化学名または一般名」
 英語名での「別名」
 英語名での「分類に寄与する不純物及び安定化添加物」
 中国語名での「化学名または一般名」
 中国語名での「別名」
 中国語名での「分類に寄与する不純物及び安定化添加物」

【7】すべての項目の入力が終われば、**分類データ追加・変更**ボタンをクリックすれば**成分データ**は保存されます。

成分名	六臭化ビフェニル(ポリ臭化ビフェニル)						
CAS No.	36355-01-8						
健康に対する有害性							
1-1 急性毒性(経口)	区分外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-2 急性毒性(経皮)	分類できない	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-3 急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-4 急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-5 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
2 皮膚腐食性/刺激性	分類できない	区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分1A-1C	区分1B-1C
3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	区分1	区分2	区分2A	区分2A-2B	区分2B	区分外
4 呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性:分類できない/皮膚感受性:分類できない	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:区分1	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分外/ 皮膚感受性:区分1	呼吸器感受性:区分外/ 皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:分類できない	呼吸器感受性:分類できない/ 皮膚感受性:区分1
5 生殖細胞変異原性	分類できない	区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分2	区分外
6 発がん性	区分2	区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分2	区分外

【8】保存しているデータの修正や変更を行いたい場合は、**分類データを開く**ボタンをクリックすれば**保存してある分類データを読み出す**ことができます。

成分名	六臭化ビフェニル(ポリ臭化ビフェニル)						
CAS No.	36355-01-8						
健康に対する有害性							
1-1 急性毒性(経口)	区分外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-2 急性毒性(経皮)	分類できない	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-3 急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-4 急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-5 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
2 皮膚腐食性/刺激性	分類できない	区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分1A-1C	区分1B-1C
3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	区分1	区分2	区分2A	区分2A-2B	区分2B	区分外
4 呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性:分類できない/皮膚感受性:分類できない	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:区分1	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分外/ 皮膚感受性:区分1	呼吸器感受性:区分外/ 皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:分類できない	呼吸器感受性:分類できない/ 皮膚感受性:区分1
5 生殖細胞変異原性	分類できない	区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分2	区分外
6 発がん性	区分2	区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分2	区分外

化学式や官報公示整理番号を登録しよう

- [1] 化学式や官報公示整理番号を登録しよう。
データベースの登録は、トップページのカスタマイズ項目の **データベース追加** を選択ください。

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS(使用言語)
日本語 ←MSDS使用言語
を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認(パスワード)
パスワードが必要時

全体を保存 全体を閉く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分値をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
JIS Z 7252 ←通常はJIS版
GHS第3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

- [2] 成分の分類結果の追加ページが表示されます。

分類ソフトについてへ戻る

危険有害性の分類結果データの追加

全体を保存 分類データを開く 分類データ追加・変更 クリア

作成日: _____
←[データ追加・変更ボタン]
この分類ソフトでは、物理

成分名 CAS No.	六臭化ビフェニル【六臭化ビフェニル】	リスト							
健康に対する有害性									
1-1	急性毒性(経口)	区分外		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-2	急性毒性(経皮)	分類できない		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-3	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-4	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
1-5	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外
2	皮膚腐食性/刺激性	分類できない		区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分1A-1C	区分1B-1C
3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない		区分1	区分2	区分2A	区分2A-2B	区分2B	区分外
4	呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性:分類できない/皮膚感受性:分類できない		呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:区分1	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分外/ 皮膚感受性:区分1	呼吸器感受性:区分外/ 皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:分類できない	呼吸器感受性:区分1/ 皮膚感受性:区分1
5	生殖細胞変異原性	分類できない		区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分2	区分外
6	発がん性	区分2		区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分2	区分外

[3] 保存しているデータの修正や変更を行いたい場合は、**分類データを開く**ボタンをクリックすれば**保存してある分類データを読み出す**ことができます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	分類ソフトについてへ戻る												
2	危険有害性の分類結果データの追加												
3													
4													
5													
6													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													

[4] 下図の欄に記載し保存する事で、**MSDSの第3項**で表示される項目をデータベースに登録できます。
 弊社は化学品のデータベース会社ではないため、下記のデータベース項目のデータベースについては提供していません。
 納入時には、下記のデータベースは登録されておりませんので、各メーカーにてご登録ください。

- 別名
- 化学式または構造式
- 官報公示整理番号(化審法・安衛法)
- 分類に寄与する不純物及び安定化添加物
- TSCA登録の有無
- EINECS No.
- PRTR法指定化学物質
- 毒劇法毒物劇物

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
38	10	吸引性呼吸器有害性			分類できない			区分1	区分2	区分外	分類できない	分類対象外			
39	環境に対する有害性														
40	11-1	水生環境有害性(急性)			分類できない			区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない	分類対象外		
41	11-2	水生環境有害性(慢性)			分類できない			区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	分類対象外	
42	11	毒性濃度LD50またはEC50(mg/L)			0.0000000000			水生動植物の毒性濃度LD50またはEC50(mg/L)が不明の場合は「分類できない」を記載。 水生環境有害性(急性)もしくは水生環境有害性(慢性)が「区分1」の場合は記入する必要あり。単位に注意してください。 例えば1.2 μg/Lの場合は、単位をmg/Lに変換すると0.0012mg/Lですので、「0.0012」を記入してください。							
100	別名														
101	化学式または構造式														
102	官報公示整理番号(化審法・安衛法)														
103	分類に寄与する不純物及び安定化添加物														
104	TSCA登録の有無														
105	EINECS No.														
106	PRTR法指定化学物質														
107	毒劇法毒物劇物														
108	Chemical identity of the substance :														
109	Synonym of the substance :														
110	Impurities and stabilizing additives :														
111	物質的化学品名:														
112	同物異名:														
113	杂质和稳定添加剂:														
114															

上記の項目を登録しておけば、MSDS 入力項目ページにおいて、
 下図の**組成情報入力**ボタンをクリックすれば、登録されたデータを一括入力できます。

B	C	D	E	F
安全データシート	4. 応急措置以降の文言保存	全文を開く		分類ソフトについて
分類に該当しない他の危険有害性:				
な兆候:				
事故の概要:				
危険性:				
組成及び成分情報				
物質・混合物の区分:	混合物			組成情報 入力
名または一般名	CASなし			
番号	0			←変更する場合 ↑↑非表示に <input type="checkbox"/> 入力すればMSDSにこの成分は記載されず ←変更する場合
又は濃度範囲(重量%)				
式または構造式				↑正確な値が表示される
公示整理番号(化審法・安衛法)				
に寄与する不純物及び安定化添加物				
A登録の有無				
OSNo.				
邦法指定化学物質				
法通知対象物	対象物ではない			
法毒物劇物				

トップページの MSDS 組成情報自動入力を ON にしておけば
MSDS 入力項目ページに移動する際に自動で登録されたデータを一括入力できます。
MSDS 組成情報自動入力を ON としてソフトを使用する場合は、
MSDS の第3項のデータベースへの登録を必ず行ってください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られます。また、同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存

ラベル

- ①ラベル確認、保存

分類根拠

- ①分類根拠印刷

データベース

- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

本人確認パスワード
ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
JIS Z 7252 ←通常はJIS版
GHS2009版を要求された場合

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

↑①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

英語名や中国語名を登録しよう

【1】 英語名や中国語名を登録しましょう。

データベースの登録は、トップページのカスタマイズ項目の **データベース追加** を選択ください。

【2】 成分の分類結果の**追加ページ**が表示されます。

分類ソフトについて へ戻る

危険有害性の分類結果データの追加

全体を保存 分類データを開く 分類データ追加・変更 クリア 作成日: []

←[データ追加・変更ボタン] この分類ソフトでは、物質

成分名 CAS No.	六臭化ビフェニル[ポリ臭化ビフェニル]	リスト							
健康に対する有害性									
1-1 急性毒性(経口)	区分外		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外	
1-2 急性毒性(経皮)	分類できない		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外	
1-3 急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外	
1-4 急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外	
1-5 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分外	
2 皮膚腐食性/刺激性	分類できない		区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分1A-1C	区分1B-1C	
3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない		区分1	区分2	区分2A	区分2A-2B	区分2B	区分外	
4 呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性:分類できない/皮膚感受性:分類できない		呼吸器感受性:区分1/皮膚感受性:区分1	呼吸器感受性:区分1/皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分外/皮膚感受性:区分1	呼吸器感受性:区分外/皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分1/皮膚感受性:区分外	呼吸器感受性:区分外/皮膚感受性:区分1	
5 生殖細胞変異原性	分類できない		区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分2	区分外	
6 発がん性	区分2		区分1	区分1A	区分1A-1B	区分1B	区分2	区分外	

[5] ソフトの納入時点のデータベースには、各成分の中国語名等の下記項目が登録されていません。

下記のデータを登録する事で中国語のMSDSが簡単に作成できるようになります。

(オプション機能で中国後バージョンの機能を追加している場合のみ)

中国語名での「化学名または一般名」

中国語名での「別名」

中国語名での「分類に寄与する不純物及び安定化添加物」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
38		10	吸引性呼吸器有害性			分類できない			区分1	区分2	区分外	分類できない	分類対象外			
39			環境に対する有害性													
40		11-1	水生環境有害性(急性)			分類できない			区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない	分類対象外		
41		11-2	水生環境有害性(慢性)			分類できない			区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	分類対象外	
42		11	毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)			0.0000000000			水生動植物の毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)が不明の場合は「分類できない」を記載。 水生環境有害性(急性)もしくは水生環境有害性(慢性)が「区分1」の場合は記入する必要あり。単位に注意してください。 例えば1.2 μg/Lの場合は、単位をmg/Lに変換すると0.0012mg/Lですので、「0.0012」を記入してください。							
100			別名													
101			化学式または構造式													
102			官報公示整理番号(化審法・安衛法)													
103			分類に寄与する不純物及び安定化添加物													
104			TSCA登録の有無													
105			EINECSNo.													
106			FRTR法指定化学物質													
107			毒劇法毒物劇物													
108			Chemical identity of the substance :													
109			Synonym of the substance :													
110			Impurities and stabilizing additives :													
111			物質的化学名称:													
112			同物異名:													
113			杂质和稳定添加剂:													
114																

ない場合は、「-」を記入しておく、英語MSDSでも組成情報入力の際の見栄えが良いです。

英語名での「化学名または一般名」

英語名での「別名」

英語名での「分類に寄与する不純物及び安定化添加物」

中国名での「化学名または一般名」

中国語名での「別名」

中国語名での「分類に寄与する不純物及び安定化添加物」

- [6] 上記の項目を登録しておけば、MSDS 入力項目ページにおいて、
 下図の**組成情報入力**ボタンをクリックすれば、登録されたデータを一括入力できます。

安全データシート		4. 応急措置以降の文言保存		全文を開く		分類ソフトについて	
分類に該当しない他の危険有害性: な兆候: 事象の概要: 危険情報:						組成情報 入力	
組成及び成分情報		混合物					
物質・混合物の区分:		CASなし				←変更する場合	
名または一般名		0				↑↑非表示にすればMSDSにこの成分は記載されず	
番号		0				←変更する場合	
又は濃度範囲(重量%)		0				↑正確な値が表示される	
式または構造式							
公示整理番号(化学法・安衛法)							
に寄与する不純物及び安定化添加物							
A登録の有無							
OSNo.							
邦法指定化学物質							
法通知対象物		対象物ではない					
法毒物劇物							

トップページの **MSDS 組成情報自動入力** を ON にしておけば
 MSDS 入力項目ページに移動する際に **自動** で登録されたデータを一括入力できます。
MSDS 組成情報自動入力 を ON としてソフトを使用する場合は、
MSDS の第3項のデータベースへの登録 を必ず行ってください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト (分類くん) について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。(Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①プルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分 (CAS番号、含有量) 入力	②データベース追加	ラベルCSV自動保存 ON
③MSDS (日本語) 入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS (英語) 入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS (中国語) 入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語: 日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

本人確認パスワード: [] ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

MSDS: ①MSDS確認、保存

ラベル: ①ラベル確認、保存

分類根拠: ①分類根拠印刷

データベース: ①成分データベース一覧 ②混合物データベース一覧

全体を保存 全体を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分性をクリアします。

データ検索 (GHS分類) 分類根拠 JIS Z 7262 ←通常はJIS版 GHS第3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

[2] 混合物登録ページが表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		
1	分類ノットについて へ戻る													
2	混合物登録ページ				全体を保存		混合物データを開く		混合物データ登録・追加		入力項目クリア		成分名からCAS検索	
3	↑以前に登録したデータを開きたい場合は「データを開く」として													
4	混合物登録番号				混合物名									
5	IT-001				混合キシレン									
7			合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7				
8	成分名			トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし				
9	成分CAS No.			108-88-3	1330-20-7									
10	入力含有量 (mass %)		100.00	10.00	90.00									
11	登録含有量 (mass %)		100.00	10.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
12	↑													
13	混合物中の成分のCAS番号と含有量を登録できます。													

[3] 新規登録の際、クリアボタンをクリックすると記載されているセルがすべて空白となります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	分類ノットについて へ戻る											
2	混合物登録ページ		全体を保存	混合物データを開く	混合物データ登録・追加	入力項目クリア	成分名からCAS検索					
3	↑以前に登録したデータを開きたい場合は「データを開く」として											
4	混合物登録番号		混合物名									
5	IT-001		混合キシレン									
7		合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7			
8	成分名		トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし			
9	成分CAS No.		108-88-3	1330-20-7								
10	入力含有量 (mass %)	100.00	10.00	90.00								
11	登録含有量 (mass %)	100.00	10.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	分類ノットについて へ戻る											
2	混合物登録ページ		全体を保存	混合物データを開く	混合物データ登録・追加	入力項目クリア	成分名からCAS検索					
3	↑以前に登録したデータを開きたい場合は「データを開く」として											
4	混合物登録番号		混合物名									
5												
7		合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7			
8	成分名		CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし			
9	成分CAS No.											
10	入力含有量 (mass %)	0.00										
11	登録含有量 (mass %)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
12	↑											
13	混合物中の成分のCAS番号と含有量を登録できます。											

[4] 混合物登録番号と混合物名を入力してください。

混合物登録番号はCAS番号の代わりに使用する番号になります。数字でなくても構いません。

御社独自の覚えやすい記号をご使用ください。

1 [分類ノットについて へ戻る](#)

2 **混合物登録ページ**

↑以前に登録したデータを開きたい場合は「データを開く」として

混合物登録番号	混合物名						
IT-001	混合キシレン						

	合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7
成分名		CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
成分CAS No								
入力含有量 (mass %)	0.00							
登録含有量 (mass %)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

↑
混合物中の成分のCAS番号と含有量を登録できます。

[5] 次に、混合物に含まれる成分のCAS番号と含有量を入力してください。

CAS番号の直接入力の代わりに、成分名からCAS検索ボタンをクリックすることで、成分検索できます。

1 [分類ノットについて へ戻る](#)

2 **混合物登録ページ**

↑以前に登録したデータを開きたい場合は「データを開く」として

混合物登録番号	混合物名						
IT-001	混合キシレン						

	合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7
成分名		CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
成分CAS No								
入力含有量 (mass %)	0.00							
登録含有量 (mass %)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

↑
混合物中の成分のCAS番号と含有量を登録できます。

[6] CAS 番号検索ページが開かれますので検索語を入力し、Enter キーで決定してください。

	A	B	C	D	E
1		分類外について へ戻る	成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る		
2	CAS番号検索ページ (部分検索可能)				
3		成分名 (部分一致検索)	成分名候補	CAS番号	クリック
4		トルエン			
5					
6		CAS番号を調べたい成分名の一部を記載してEnterキーで決定して下さい。			
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

[7] 最上段に、完全一致した成分が表示され、それ以降は、部分一致した成分が表示されます。

	A	B	C	D	E
1		分類外について へ戻る	成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る		
2	CAS番号検索ページ (部分検索可能)				
3		成分名 (部分一致検索)	成分名候補	CAS番号	クリック
4		トルエン	トルエン	108-88-3	成分入力
5		T	ビニルトルエン	25013-15-4	成分入力
6		CAS番号を調べたい成分名の一部を記載してEnterキーで決定して下さい。	パラ-タ-シャリ-ブチルトルエン	98-51-1	成分入力
7			トリニトロトルエン	118-96-7	成分入力
8			ジニトロトルエン	25321-14-6	成分入力
9			p-ニトロトルエン	89-80-0	成分入力
10			o-ニトロトルエン	88-72-2	成分入力
11			o-クロロトルエン	85-49-8	成分入力
12			n-ニトロトルエン	99-08-1	成分入力
13			4-(2, 4-ジクロロベンゾイル)-1, 3-ジメチル-5-ピラゾ	58011-68-0	成分入力
14			3, 5-ジニトロトルエン	618-85-9	成分入力
15			3, 4-ジニトロトルエン	610-39-9	成分入力
16			2, 6-ジニトロトルエン	606-20-2	成分入力
17			2, 5-ジニトロトルエン	619-15-8	成分入力
18			2, 4-トルエンジアミン	95-80-7	成分入力
19			2, 4-ジニトロトルエン	121-14-2	成分入力
20		2', 4-ジクロロ- α , α , α -トリフルオロ-4'-ニトロ-	106917-52-6	成分入力	
21		2, 3-ジニトロトルエン	602-01-7	成分入力	
22					
23					

- [8] 検索していた成分が見つければ、「成分入力」をクリックしてください。
ここでは、トルエンをクリックします。

	A	B	C	D	E
1		分類ノットについて へ戻る	成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る		
2		CAS番号検索ページ (部分検索可能)			
3		成分名 (部分一致検索)	成分名候補	CAS番号	クリック
4		トルエン	トルエン	108-88-3	成分入力
5		T	ビニルトルエン	13-15-4	成分入力
6		CAS番号を調べたい成分名の一部を記載してEnterキーで決定して下さい。	パラ-ターシャリ-ブチルトルエン	51-1	成分入力
7			トリニトロトルエン	78-06-7	成分入力
8			ジニトロトルエン	21-14-6	成分入力
8			p-ニトロトルエン	88-0	成分入力
10			o-ニトロトルエン	88-72-2	成分入力
11			o-クロロトルエン	95-48-8	成分入力
12			m-ニトロトルエン	99-08-1	成分入力
13			4-(2, 4-ジクロロベンゾイル)-1, 3-ジメチル-5-ピラゾ	58011-68-0	成分入力
14			3, 5-ジニトロトルエン	618-85-9	成分入力
15			3, 4-ジニトロトルエン	610-39-9	成分入力
16		2, 6-ジニトロトルエン	606-20-2	成分入力	
17		2, 5-ジニトロトルエン	619-15-8	成分入力	
18		2, 4-トルエンジアミン	95-80-7	成分入力	
19		2, 4-ジニトロトルエン	121-14-2	成分入力	
20		2', 4'-ジクロロ- α , α , α -トリフルオロ-4'-ニトロ-	106917-52-6	成分入力	
21		2, 3-ジニトロトルエン	602-01-7	成分入力	
22					
23					

下図のように、トルエンのCAS番号が入力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
1		分類ノットについて へ戻る											
2		混合物登録ページ			全体を保存	混合物データ を開く	混合物データ 登録・追加	入力項目 クリア	成分名から CAS検索				
3					↑以前に登録したデータを開きたい場合は「データを開く」として								
4					混合物登録番号	混合物名							
5					IT-001	混合キシレン							
7						合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7
8					成分名		トルエン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
9					成分CAS No.		108-88-3						
10					入力含有量 (mass %)	0.00							
11					登録含有量 (mass %)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12													
13													

↑
混合物中の成分のCAS番号と含有量を登録できます。

[9] キシレンの CAS 番号も入力し、含有量を、トルエン 10%、キシレン 90%で入力しました。

混合物データ登録・追加ボタンをクリックすると、入力した内容が登録されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	分類ノットについて へ戻る											
2	混合物登録ページ				全体を保存	混合物データを開く	混合物データ登録・追加	入力項目クリア	成分名からCAS検索			
3	↑以前に登録したデータを開きたい場合は「データを開く」として											
4	混合物登録番号		混合物名									
5	IT-001		混合キシレン									
7		合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7			
8	成分名		トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし			
9	成分CAS No.		108-88-3	1330-20-7								
10	入力含有量 (mass %)	100.00	10.00	90.00								
11	登録含有量 (mass %)	100.00	10.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
12	↑											
13	混合物中の成分のCAS番号と含有量を登録できます。											

【10】 以前に登録した混合物データの修正を行いたい場合は、**混合物データを開く**ボタンをクリックしてください。

混合物登録番号	混合物名
IT-001	混合キシレン

	合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7
成分名		トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
成分CAS No.		108-88-3	1330-20-7					
入力含有量 (mass %)	100.00	10.00	90.00					
登録含有量 (mass %)	100.00	10.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

↑
混合物中の成分のCAS番号と含有量を登録できます。

混合物データを開くボタンをクリックすると、下図のようにフォルダが開かれますので、変更したいファイルを選択してください。



登録した混合物を利用してみよう

【1】登録した混合物を利用しましょう。

「トップページ」 - 「入力分類」の **成分(CAS番号、含有量)入力**を選択してください。

混合物登録では、**混合物に含まれる成分と含有量をデータとして保存**することができます。

前もって、混合物を作成しておき、数種類の混合物を配合して製品化するには重宝する機能です。

塗料メーカー等では原色と呼ばれる塗料を数種類作っておいて、それらを配合して製品化します。

例えば、赤色塗料と黄色塗料を配合してオレンジ塗料を作成して製品にします。

赤色塗料 A と黄色塗料 B を配合してオレンジ塗料とする製品を想像してください。

赤色塗料 A と黄色塗料 B をそれぞれ混合物登録しています。赤色塗料 A と黄色塗料 B の両方にキシレンが含まれているとします。

この場合、赤色塗料 A と黄色塗料 B を配合した時の GHS 分類の計算は、

赤色塗料 A に含まれるキシレン量と黄色塗料 B に含まれるキシレン量のそれぞれに含まれる**キシレンの合計値**を用いて行います。

つまり、**混合物中のそれぞれの成分の合計値を計算して、GHS 分類することができる機能**ということになります。

【2】下図のように成分と含有量の入力ページが開かれます。

成分名	CAS No.	含有量 (mass %)	危険有害性情報
↓合計が100%になっていません			
		0.0	
		0.0	

物理化学的危険性	区分	カテゴリー	カテゴリー表示	注意喚起語	危険有害性情報
1 炎発性	0	なし	なし	なし	なし
2 可燃性/引火性ガス	0	なし	なし	なし	なし
3 可燃性/引火性エアロゾル	0	なし	なし	なし	なし

- [3] 混合物を成分に用いる場合は、前もって**混合物登録**を行う必要があります。
 混合物登録の方法は、「[混合物を登録しよう](#)」を参考にしてください。

登録済みの混合物を成分に用いる場合は、「**混合物入力**」ボタンをクリックします。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	分類ノリについて へ戻る			混合物の性状: 液体	データ検索 (CAS分類)	全体を保存	全体を開く	成分名からCAS検索 (部分検索)	混合物の入力			
2	分類情報印刷ページへ			検査時間 82/82	pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド類、フェノール類、異性活性剤ならYESとする			毒性コメント 表示				
3	「CAS No」と「含有量」も記入してください											
4	混合物のpH:		pH2~11.5		毒性濃度(A50またはEC50(mg/L))							
5	製品名:		テスト		混合物登録された品目を 利用する際はこちらです。			成分名				
6	CAS No.				↓合計が100%とありません			100-08-3				
7	含有量 (mass %)				0.0			0.00 0.00 0.00				
8					0.0			成分 1 成分 2 成分 3				
9	物理化学的危険性											
10	区分		ラベル		ラベル表示		注意喚起語		危険有害性情報			コピ
11	1 炎発性		区分外		なし		なし		なし			-
12	2 可燃性/引火性ガス		分類対象外		なし		なし		なし			-
13	3 可燃性/引火性エアゾール		区分外		なし		なし		なし			-

- [4] 下図のように混合物の入力ページが開かれます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	分類ノリについて へ戻る			成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る											
2	混合物入力ページ														
3												混合物一覧表から選択		「混	
4												混合物名検索 (部分検索)		含	
5												混合物中の成分含有率計算		ら、	
6												成分入力へ転送		含	
7												入力		ク	
8												クリア		す	
9														算	
10														さ	
11														」	
12														を	
13														ク	
14														分	
15														入	
16														が	
17														転	
18														送	

	合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7	成分 8	成分 9	成分 10	成分 11
成分名		トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
CAS No.		100-08-3	1330-20-7									

[5] 新規入力の場合は、**入力クリア**ボタンをクリックしてください。

混合物登録番号	含有率 (%)	混合物名
IT-001	50	混合キシレン
IT-002	50	混合キシレン2
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし

成分名	合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7	成分 8	成分 9	成分 10	成分 11
		トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
CAS No		108-88-3	1330-20-7									

「混
「含
「有
「ク
「算
「さ
」
を
ク
分
入
が
転

混合物一覧表から選択

混合物名検索 (部分検索)

混合物中の成分含有率計算

成分入力へ転送

**入力
クリア**

下記のように、入力欄が空白になります。

混合物登録番号	含有率 (%)	
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし

[6] 混合物の登録件数が少ない場合は、**混合物一覧表から選択**ボタンをクリックして、混合物を選ぶ方が効率的です。

混合物登録番号	含有率 (%)	混合物名
IT-001	50	混合キシレン
IT-002	50	混合キシレン2
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし

成分名	合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7	成分 8	成分 9	成分 10	成分 11
		トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
CAS No		108-88-3	1330-20-7									

「混
「含
「有
「ク
「算
「さ
」
を
ク
分
入
が
転

混合物一覧表から選択

混合物名検索 (部分検索)

混合物中の成分含有率計算

成分入力へ転送

入力
クリア

【7】一覧表の中から、入力したい混合物の**混合物入力**択セルをクリックして、混合物を選択しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		IT-001	混合キシレン	データを開く	削除	混合物入力	分類ノドについて へ戻る			
2		IT-002	混合キシレン2	データを開く	削除	混合物入力				
3		IT-003	混合キシレン3	データを開く	削除	混合物入力	混合物データベース一覧			
4		IT-004	混合塗料B	データを開く	削除	混合物入力				
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										

【8】混合物の登録件数多くなれば、**混合物名検索 (部分検索)** ボタンをクリックして、検索をして目的の混合物を検索しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	分類ノドについて へ戻る		成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る													
2	混合物入力ページ															
3																
4	混合物登録番号		含有率 (%)		混合物名											
5	IT-001		50		混合キシレン											
6	IT-002		50		混合キシレン2											
7					番号なし											
8					番号なし											
9					番号なし											
10					番号なし											
11					番号なし											
12					番号なし											
13					番号なし											
14					番号なし											
15																
16			合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7	成分 8	成分 9	成分 10	成分 11		
17	成分名			トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	
18	CAS No.			108-88-3	1330-20-7											

【9】一覧表の中から、入力したい混合物の**混合物入力**択セルをクリックして、混合物を選択しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1	分類ノドについて へ戻る		混合物入力ページへ戻る						
2	混合物名検索ページ (部分検索可能)								
3	混合物名 (部分一致検索)		混合物名候補		混合物登録番号		クリック		
4	キシレン		混合キシレン		IT-001		混合物入力		
5	↑		混合キシレン2		IT-002		混合物入力		
6	混合物登録番号を調べたい混合物名の一部を記載してEnterキーで決定して下さい。		混合キシレン3		IT-003		混合物入力		
7									
8									
9									
10									

【10】混合物を選択後はその混合物の含有量を入力しましょう。例として、IT-001 が 20%、IT-002 が 20%、最終製品に入って場合で説明します。

混合物登録番号	含有率 (%)	
IT-001	20	混合キシレン
IT-002	20	混合キシレン2
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし

[11] 混合物および含有量を入力すれば、混合物中の成分含有率計算ボタンをクリックしてください。

成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る

混合物入力ページ

混合物登録番号	含有率 (%)	混合物名
IT-001	50	混合キシレン
IT-002	50	混合キシレン2
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし

混合物一覧表から選択
混合物名検索 (部分検索)
混合物中の成分含有率計算
成分入力へ転送
入力クリア

「混
「含
ら、
含有
率さ
」を
ク
分
入
が
転

	合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7	成分 8	成分 9	成分 10	成分 11
成分名		トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
CAS No.		108-88-3	1330-20-7									

[12] 下図のように混合物中の成分毎の含有率が計算されます。

IT-001 は 20%製品中に含有していますが、その内訳はトルエン 2%とキシレン 18%です。
IT-002 も 20%製品中に含有していますが、その内訳はトルエン 10%とキシレン 10%です。

	合計	成分 1	成分 2	成分 3
成分名		トルエン	キシレン	CASなし
CAS No.		108-88-3	1330-20-7	
含有量 (mass %)	40.00	12.00	28.00	0.00

IT-001	20.00	2.00	18.00	0.00
IT-002	20.00	10.00	10.00	0.00
0	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0.00	0.00	0.00	0.00

【13】 その結果、IT-001 と IT-002 を 20%ずつ混合したものは、トルエン 12%とキシレン 28%の混合物であると計算されます。

	合計	成分 1	成分 2	成分 3
成分名		トルエン	キシレン	CASなし
CAS No		108-88-3	1330-20-7	
含有量 (mass %)	40.00	12.00	28.00	0.00

IT-001	20.00	2.00	18.00	0.00
IT-002	20.00	10.00	10.00	0.00
0	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0.00	0.00	0.00	0.00

【14】 計算が終了し、計算結果が問題なければ、成分入力へ転送ボタンをクリックしてください。計算結果を成分入力画面に転送します。

分類ノットについてへ戻る 成分 (CAS番号、含有量) 入力へ戻る

混合物入力ページ

混合物登録番号	含有率 (%)	混合物名
IT-001	50	混合キシレン
IT-002	50	混合キシレン2
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし
		番号なし

混合物一覧表から選択
混合物名検索 (部分検索)
混合物中の成分含有率計算
成分入力へ転送
入力クリア

	合計	成分 1	成分 2	成分 3	成分 4	成分 5	成分 6	成分 7	成分 8	成分 9	成分 10	成分 11
成分名		トルエン	キシレン	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし	CASなし
CAS No		108-88-3	1330-20-7									

【15】 下図のように、トルエンおよびキシレンの CAS 番号と含有量が成分入力画面に転送されています。

分類ノットについてへ戻る

混合物の性状: 0

データ検索 (GHS分類) 全体を保存 全体を開く 成分名からCAS検索 (部分検索) 混合物の入力

シート保存

検索時間 100/100 pH2以下、pH11.5以上、無機塩、アルデヒド類、フェノール類、界面活性剤ならYESとする

「CAS No」と「含有量」を記入してください

毒性コメント NO NO

表示 表示対象 230.00 0.00

混合物のpH: 0 毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)

保存名 (製品名) 成分名 トルエン キシレン

CAS No ↓合計が100%になっていません 108-88-3 1330-20-7

含有量 (mass %) 40.00 12.00 28.00

30.00 70.00

	区分	ラベル	ラベル表示	注意喚起語	危険有害性情報	コメント	成分 1	成分 2
物理化学的危険性								
1 爆発物	0	なし	なし	なし	なし			
2 可燃性/引火性ガス	0	なし	なし	なし	なし			
3 エアゾール	0	なし	なし	なし	なし			

🎵 最終結果を変更しよう

最終結果を変更してみよう

【1】最終結果を変更してみましょう。

最終結果の変更は、トップページの入力分類の **最終結果変更** を選択ください。

この変更機能とは、GHS マニュアルにしたがって分類した結果を訂正することができる機能です。

例えば、GHS マニュアルにしたがって分類した結果でドクロマークの表示を行わなくてはならない場合でも、

実際にその製品を分析した結果、ドクロマークの表示の必要の無い区分であると判明したのであれば、

分類結果を訂正することができます。

分類結果を訂正する場合は、訂正理由を記入できるようにコメント欄も用意しています。

【2】変更したい項目結果の欄を**変更**して、変更理由も記載してください。

変更理由を記載することで、あとからファイルを読み出した際、なぜ、変更したのかを知ることができます。

最終結果の編集ができます。変更した場合変更理由も同時に記載しましょう。

うらわざモード 1

物理化学的危険性		入力	変更理由		
6	引火性液体			区分1	区分2
健康に対する有害性					
1-1	急性毒性 (経口)	区分4	製品を分析した結果	区分1	区分2
1-2	急性毒性 (経皮)			区分1	区分2
1-3	急性毒性 (吸入: ガス)			区分1	区分2
1-4	急性毒性 (吸入: 蒸気)			区分1	区分2
1-5	急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)			区分1	区分2
2	皮膚腐食性/刺激性			区分1	区分1A
3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性			区分1	区分2
4	呼吸器感受性			区分1	区分非

- [3] 変更した項目は、成分入力ページでセルの色が赤色(急性毒性経口)に表示されています。
このページをプリントアウトしておけば、最終結果の変更が行われていることが一目瞭然です。

28	16	金属腐食性物質	区分外	なし	なし	なし	なし
29		健康に対する有害性					
30	1-1	急性毒性(経口)	区分4	感嘆符	感嘆符	警告	飲み込むと有害
31	1-2	急性毒性(経皮)	分類できない	なし	なし	なし	なし
32	1-3	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	なし	なし	なし	なし
33	1-4	急性毒性(吸入:蒸気)	区分外	なし	なし	なし	なし
34	1-5	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない	なし	なし	なし	なし
35	2	皮膚腐食性/刺激性	区分2	感嘆符	感嘆符	警告	皮膚刺激
36	3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A	感嘆符	感嘆符	警告	強い眼刺激
37	4	呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器分類できない/皮膚分類できない	なし/なし		なし/なし	なし/なし

登録されているデータを確認しよう

成分データベース一覧

【1】成分データベース一覧を確認してみましょう。

データベースの確認は、トップページのデータベースの **成分データベース一覧** を選択ください。

【2】このページから、登録されている成分データを「データを開く」をクリックして、

英語や中国語の成分名の追加登録、および、化学式や官報公示整理番号の追加登録ができます。

削除をクリックすれば、登録されている成分データを削除することも可能です。

詳細は、[未登録成分データを登録しよう](#)や、[化学式や官報公示整理番号を登録しよう](#)を参照して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	追加	7440-38-2	砒素	データを開く	削除		分類ツツについて へ戻る		
2	追加	10103-61-4	砒酸銅	データを開く	削除		成分データベース一覧		
3	追加	10102-49-5	砒酸鉄	データを開く	削除		CAS番号 ソート		
4	追加	7778-43-0	砒酸水素二ナトリウム	データを開く	削除		成分名 ソート		
5	追加	7784-40-9	砒酸鉛	データを開く	削除				
6	追加	1303-39-5	砒酸亜鉛	データを開く	削除				
7	追加	7784-38-5	砒酸マンガン	データを開く	削除				
8	追加	13464-38-5	砒酸ナトリウム	データを開く	削除				
9	追加	7778-44-1	砒酸カルシウム	データを開く	削除				
10	追加	7784-41-0	砒酸カリウム	データを開く	削除				
11	追加	7774-41-8	砒酸1/2水和物	データを開く	削除				
12	追加	7778-39-4	砒酸	データを開く	削除				
13	追加	2551-62-4	六弗化硫黄	データを開く	削除				
14	追加	15825-70-4	六硝酸マンニトール	データを開く	削除				
15	ID1408	36355-01-8	六臭化ビフェニル【ポリ臭化ビフェニル】	データを開く	削除				
16	ID1012	87-68-3	六塩化ブタジエン	データを開く	削除				
17	ID317	7783-82-6	六フッ化タンダステン	データを開く	削除				
18	ID299	7758-98-7	硫酸銅(II)・無水物	データを開く	削除				
19	ID300	7758-99-8	硫酸銅(II)・五水和物	データを開く	削除				
20	ID1281	7488-55-3	硫酸第一スズ	データを開く	削除				
21	追加	7681-38-1	硫酸水素ナトリウム	データを開く	削除				
22	追加	7646-93-7	硫酸水素カリウム	データを開く	削除				
23	追加	7783-35-9	硫酸水銀 (I I)	データを開く	削除				
24	ID1187	10294-26-5	硫酸銀	データを開く	削除				
25	ID1108	7446-20-0	硫酸亜鉛(7水塩)	データを開く	削除				
26	ID247	7733-02-0	硫酸亜鉛	データを開く	削除				

混合物データベース一覧

[1] 混合物データベース一覧を確認してみましょう。

混合物のデータベースの確認は、トップページのデータベースの **混合物データベース一覧** を選択ください。

[2] このページから、登録されている混合物のデータを「**データを開く**」をクリックして、登録内容の修正を行うことができます。

また、**削除**をクリックすれば、登録されている混合物データを削除することも可能です。

混合物入力をクリックすれば、登録した混合物データを使用して GHS の分類を行うことができます。

詳細は、[混合物を登録しよう](#)や、[登録した混合物を利用してみよう](#)を参照して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		IT-001	混合キシレン	データを開く	削除	混合物入力	分類ワットについて へ戻る			
2		IT-002	混合キシレン2	データを開く	削除	混合物入力				
3		IT-003	混合キシレン3	データを開く	削除	混合物入力	混合物データベース一覧			
4		IT-004	混合塗料B	データを開く	削除	混合物入力				
5							登録番号 ソート			
6										
7										
8										
9										
10							混合物名 ソート			
11										

🎵 表示する文言を修正しよう

注意書きフレーズの登録について

【1】 注意書きフレーズを修正してみましょう。

注意書きフレーズの修正を行うことも可能です。トップページのカスタマイズ項目の **注意書きフレーズ登録** を選択ください。

【2】 下図のページが表示されます。

注意書きフレーズの修正を行うことも可能ですが、初期より相応しいフレーズが記載されていますので、特に変更する必要はございません。

番号	Japanese	English	Chinese
H200	不安定爆発物	Unstable explosive	不稳定的爆炸物
H201	爆発物：大量爆発危険性	Explosive; mass explosion hazard	爆炸物；具有整体操作的危险
H202	爆発物：激しい飛散危険性	Explosive; severe projection hazard	爆炸物；具有严重喷射的危险
H203	爆発物：火災、爆風または飛散危険性	Explosive; fire, blast or projection hazard	爆炸物；具有燃烧、爆炸或喷射的危险
H204	火災又は飛散危険性	Fire or projection hazard	燃烧或喷射危险
H205	火災時に大量爆発のおそれ	May mass explode in fire	燃烧中可能整体爆炸
H220	極めて可燃性又は引火性の高いガス	Extremely flammable gas	极易易燃气体
H221	可燃性又は引火性の高いガス	Flammable gas	易燃气体
H222	極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール	Extremely flammable aerosol	极易易燃的气体溶液
H223	可燃性又は引火性のエアゾール	Flammable aerosol	易燃气溶液
H224	極めて引火性の高い液体及び蒸気	Extremely flammable liquid and vapour	极易易燃液体和蒸气
H225	引火性の高い液体及び蒸気	Highly flammable liquid and vapour	高度易燃液体和蒸气
H226	引火性の液体及び蒸気	Flammable liquid and vapour	易燃液体和蒸气
H227	可燃性液体	Flammable liquid	可燃液体
H228	可燃性固体	Flammable solid	易燃固体
H240	熱すると爆発のおそれ	Heating may cause an explosion	加热可引起爆炸
H241	熱すると火災又は爆発のおそれ	Heating may cause a fire or explosion	加热可能起火或爆炸
H242	熱すると火災のおそれ	Heating may cause a fire	加热可能起火
H250	空気に触れると自然発火	Catches fire spontaneously if exposed to air	暴露于空气中会自燃
H251	自己発熱：火災のおそれ	Self-heating; may catch fire	自热；可能燃烧
H252	大量の場合、自己発熱：火災のおそれ	Self-heating in large quantities; may catch fire	重大时自热；可能燃烧
H260	水に触れると自然発火するおそれのある可燃性又は引火性ガスを発生	In contact with water releases flammable gases which may ignite spontaneously	遇水释放出可燃的易燃气体
H261	水に触れると可燃性又は引火性ガスを発生	In contact with water releases flammable gas	遇水释放出易燃气体
H270	発火又は火災助長のおそれ：酸化性物質	May cause or intensify fire; oxidizer	可能导致或加剧燃烧；氧化剂
H271	火災又は爆発のおそれ：強酸化性物質	May cause fire or explosion; strong oxidizer	可能引起燃烧或爆炸；强氧化剂

MSDS 入力項目の修正について

[1] MSDS 入力項目を修正してみましょう。

MSDS 入力項目の修正を行うことも可能です。トップページのカスタマイズ項目の **MSDS 入力項目コメント登録** を選択ください。

混合物の分類ワット (分類くん) について

本ワットはGHS分類に基づいた混合物の分類ワットであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分 (CAS番号、含有量) 入力シート】に必要事項を入力し、データ検索 (GHS分類) を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS (下記で使用言語を選択)、分類根拠も作成されます。 (Ctrl+vでこのページに戻れます)

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分 (CAS番号、含有量) 入力
- ③MSDS (日本語) 入力項目
- ④MSDS (英語) 入力項目
- ⑤MSDS (中国語) 入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

MSDS

- ①MSDS確認、保存
- ラベル
- ①ラベル確認、保存
- 分類根拠
- ①分類根拠印刷
- データベース
- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①ブルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレイブ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全件を保存 全件を開く 新規作成 (全クリア) ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索 (GHS分類)

分類根拠
 JIS Z 7262 ←通常はJIS版
 GHS2013版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終わればGHS分類は可能です。

[2] 下図のページが表示されます。

MSDS 入力項目の 15.適用法令の項目を変更できます。

日本語の場合、その他1~4を変更して、各メーカーで利用される法令名に変更してください。

変更内容は、MSDS 入力項目の 15.適用法令に適用されます。

英語、中国語(オプションのみ)の場合も、その他1~14を変更して、各メーカーで利用される法令名に変更してください。

2344行、2345行はMSDS 末尾に記載される内容です。各メーカーで内容は変更してください。

	A	B	C
1	分類ワットについて へ戻る		
2	MSDS表示項目訳: この部分を変更することで、MSDSの末尾に表示する言葉を変更できます。初期の国内法令名を変更できます。		
3	日本語	英語	中国語
4	安全データシート	Safety Data Sheet	安全数据单
1962	15. 適用法令	15 Regulatory information	15 法规信息
1963	その地域の法規制:	Local regulation:	地方性法规:
1963	消防法:	Others1:	其它1:
2003	PRTR法:	Others2:	其它2:
2023	労働安全衛生法:	Others3:	其它3:
2043	毒物劇物取締法:	Others4:	其它4:
2063	船舶安全法:	Others5:	其它5:
2083	航空法:	Others6:	其它6:
2103	港則法:	Others7:	其它7:
2123	海洋汚染防止法:	Others8:	其它8:
2143	薬典防止法:	Others9:	其它9:
2163	指針番号:	Others10:	其它10:
2183	その他1:	Others11:	其它11:
2203	その他2:	Others12:	其它12:
2223	その他3:	Others13:	其它13:
2243	その他4:	Others14:	其它14:
2263	外国法令:	Foreign regulation:	外国法规:
2283	その他:	Other:	其它:
2344	記録の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。	Contents are based on documents, information and data which are available at this time, but nothing is guaranteed as regards content, physical and chemical properties, hazards.	记录的内容按现在能得到的资料、信息、数据进行制作,但对含有量、物理化学的性質、有关危险/有害性等,不能作完全的保证。
2345	また、注意事項は通常の取扱を対象としたものであって、特殊な場合は用途法に適した安全対策を実施してください。	Also precautions are subject to ordinary handling, so please take safety measures as usage in special cases.	注意事项是在通常使用下的内容,在特殊的情况使用时,需要采取适用用途法的安全对策。

🎵 自動機能を利用しよう

MSDS 組成情報の自動入力について

[1] MSDS 組成情報の自動入力をしてみましょう。

MSDS 組成情報の自動入力を行うためには、トップページの設定項目の **MSDS 組成情報自動入力** を **ON** にしてください。

The screenshot shows a software window titled "混合物の分類ツタ (分類くん) について" (About the Mixture Classification Tree (Classification-kun)). It contains several sections:

- 入力分類 (Input Classification):**
 - ①物理化学危険入力 (Physical/Chemical Hazard Input)
 - ②成分 (CAS番号、含有量) 入力 (Component (CAS Number, Content) Input)
 - ③MSDS (日本語) 入力項目 (MSDS (Japanese) Input Item)
 - ④MSDS (英語) 入力項目 (MSDS (English) Input Item)
 - ⑤MSDS (中国語) 入力項目 (MSDS (Chinese) Input Item)
 - ⑥最終結果変更 (Final Result Change)
- MSDS (MSDS):**
 - ①MSDS確認、保存 (MSDS Confirmation, Save)
 - ラベル (Label)
 - ①ラベル確認、保存 (Label Confirmation, Save)
 - 分類根拠 (Classification Basis)
 - ①分類根拠印刷 (Classification Basis Print)
 - データベース (Database)
 - ①成分データベース一覧 (Component Database List)
 - ②混合物データベース一覧 (Mixture Database List)
- カスタマイズ (Customize):**
 - ①プルダウン登録 (Dropdown Registration)
 - ②データベース追加 (Database Addition)
 - ③注意書きフリース登録 (Note Registration)
 - ④MSDS入力項目コメント登録 (MSDS Input Item Comment Registration)
 - ⑤混合物登録 (Mixture Registration)
- 設定 (Settings):**
 - MSDS組成情報自動入力: **ON** (highlighted in red)
 - ラベルCSV自動保存: **ON**
 - 法律が変更となった場合 (When the law changes):
 - ①表示対象物質追加 (Add Displayed Substance)
 - ②通知対象物質追加 (Add Notified Substance)
 - ③オゾン層への有害対象物リスト (Ozone Layer Harmful Substance List)
- 本人確認パスワード (Personal Confirmation Password):** A text input field with a note: "ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。" (Password is required when saving or opening files).
- 操作ボタン (Action Buttons):**
 - 全体を保存 (Save All)
 - 全体を閉く (Close All)
 - 新規作成 (全クリア) (New Creation (All Clear))
- データ検索 (データ検索 (GHS分類)) (Data Search (GHS Classification)):** A button with a note: "①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。" (GHS classification is possible after completing ① physical/chemical hazard input and ② component input).
- 分類根拠 (Classification Basis):** A dropdown menu showing "JIS Z 7252" with a note: "←通常はJIS版 (通常はJIS版を要求された場合)" (Normally JIS version is required).

[2] 下図のようにプルダウンで **ON** と **OFF** を選択できます。

The close-up shows the "設定" (Settings) section. The "MSDS組成情報自動入力" (MSDS Composition Information Auto-Input) setting is highlighted. The dropdown menu is open, showing "ON" selected and "OFF" as an alternative option. Below it, "ラベルtxt形式自動保存" (Label txt format auto-save) is also visible.

- [3] 化学式や官報公示整理番号を登録しておく事で、MSDSの第3項で表示される項目を自動入力できるようになります。
 詳細は、[化学式や官報公示整理番号を登録しよう](#)、および、[英語名や中国語名を登録しよう](#)を参照下さい。

納入時には、下記のデータベースは登録されておりませんので、各メーカーにてご登録ください。

- 別名
- 化学式または構造式
- 官報公示整理番号(化審法・安衛法)
- 分類に寄与する不純物及び安定化添加物
- TSCA登録の有無
- EINECS No.
- PRTR法指定化学物質
- 毒劇法毒物劇物

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
38	10	10	10	10	10	10		区分1	区分2	区分外	分類できない	分類対象外			
39	環境に対する有害性														
40	11-1	11-1	11-1	11-1	11-1	11-1		区分1	区分2	区分3	区分外	分類できない	分類対象外		
41	11-2	11-2	11-2	11-2	11-2	11-2		区分1	区分2	区分3	区分4	区分外	分類できない	分類対象外	
42	11	11	11	11	11	11	0.0000000000	水生動物の毒性濃度LC50またはEC50(mg/L)が不明の場合は「分類できない」を記載。 水生環境有害性(急性)もしくは水生環境有害性(慢性)が「区分1」の場合は記入する必要あり。単位に注意してください。 例えば1.2 μg/Lの場合は、単位をmg/Lに変換すると0.0012mg/Lですので、「0.0012」を記入してください。							
100	別名														
101	化学式または構造式														
102	官報公示整理番号(化審法・安衛法)														
103	分類に寄与する不純物及び安定化添加物														
104	TSCA登録の有無														
105	EINECS No.														
106	PRTR法指定化学物質														
107	毒劇法毒物劇物														
108	Chemical identity of the substance :														
109	Synonym of the substance :														
110	Impurities and stabilizing additives :														
111	物質的化学名称:														
112	同物異名:														
113	杂质和稳定添加剂:														
114															

ない場合は、「-」を記入してください。英語MSDSでも組成情報入力の際の見栄えが良いです。

英語名での「化学名または一般名」
 英語名での「別名」
 英語名での「分類に寄与する不純物及び安定化添加物」
 中国名での「化学名または一般名」
 中国語名での「別名」
 中国語名での「分類に寄与する不純物及び安定化添加物」

上記の項目を登録しておけば、MSDS入力項目ページにおいて、
 通常は、下図の**組成情報入力**ボタンをクリックすれば、登録されたデータを一括入力できます。

The screenshot shows the MSDS input page with several buttons at the top: "全体を保存" (Save All), "4. 緊急措置以降の文言保存" (Save text after emergency measures), and "文言を閉く" (Close text). A "組成情報入力" (Composition Information Input) button is highlighted with a red box. Below the buttons, there are input fields for:

- 分類に該当しない他の危険有害性 (Other hazard classes not applicable)
- 物質・混合物の区分 (Substance/ Mixture classification)
- 名または一般名 (Name or general name)
- CASなし (CAS number)
- 番号 (Number)
- 又は濃度範囲(重量%) (Or concentration range (weight %))
- 式または構造式 (Formula or structure)
- 公示整理番号(化審法・安衛法) (Registration number (Chemical Control Law/ Safety Law))
- に寄与する不純物及び安定化添加物 (Impurities and stabilizing additives)
- A登録の有無 (TSCA registration status)
- OSNo. (OSNo.)
- PRTR法指定化学物質 (PRTR designated chemical substance)
- 法通知対象物 (Notified substance)
- 法毒物劇物 (Toxic/Corrosive/Very Toxic substance)

 A "分類ソフトについて" (About classification software) link is also visible in the top right corner.

トップページの **MSDS 組成情報自動入力** を ON にしておけば
 MSDS 入力項目ページに移動する際に **自動** で登録されたデータを一括入力できます。
MSDS 組成情報自動入力 を ON としてソフトを使用する場合は、
MSDS の第3項のデータベースへの登録 を必ず行ってください。

2011/7/10 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。また、同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①ブルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分（CAS番号、含有量）入力	②データベース追加	ラベルCSV自動保存 ON
③MSDS（日本語）入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS（英語）入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS（中国語）入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語
 日本語 ←MSDS使用言語を選択してください

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

MSDS
 ①MSDS確認、保存

ラベル
 ①ラベル確認、保存

分類根拠
 ①分類根拠印刷

データベース
 ①成分データベース一覧
 ②混合物データベース一覧

全体を保存 全体を開く 新規作成（全クリア） ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索（GHS分類）

分類根拠
 JIS Z 7262 ←通常はJIS版
 GHS2009版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

ラベルの txt 形式の自動保存について

【1】ラベルの txt 形式の自動保存してみましょう。

他のラベル印刷ソフトを使用する際に利用しやすい、テキスト出力に対応しています。

ラベルの txt 形式の自動保存を行うためには、トップページの設定項目のラベルの txt 形式自動保存を ON にしてください。

テキスト出力が必要ない場合には、ラベルの txt 形式自動保存を OFF にしてください。

2012/7/16 英語MSDS 中国語MS

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要な事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+Wでこのページに戻れます）

入力分類	カスタマイズ	設定
①物理化学危険入力	①ブルダウン登録	MSDS組成情報自動入力 ON
②成分（CAS番号、含有量）入力	②データベース追加	ラベルtxt形式自動保存 OFF
③MSDS（日本語）入力項目	③注意書きフレーズ登録	法律が変更となった場合
④MSDS（英語）入力項目	④MSDS入力項目コメント登録	①表示対象物質追加
⑤MSDS（中国語）入力項目	⑤混合物登録	②通知対象物質追加
⑥最終結果変更		③オゾン層への有害対象物リスト

MSDS使用言語
 英語 ←MSDS使用言語を選択してください。

MSDS
 ①MSDS確認、保存
 ラベル
 ①ラベル確認、保存
 分類根拠
 ①分類根拠印刷
 データベース
 ①成分データベース一覧
 ②混合物データベース一覧

本人確認パスワード
 ファイルの保存、ファイルを開く時にパスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成（全クリア） ←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情報をクリアします。

データ検索（GHS分類）

分類根拠
 JIS Z 7252 ←通常はJIS版
 GHS改訂3版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

【2】下図のようにブルダウンで ON と OFF を選択できます。

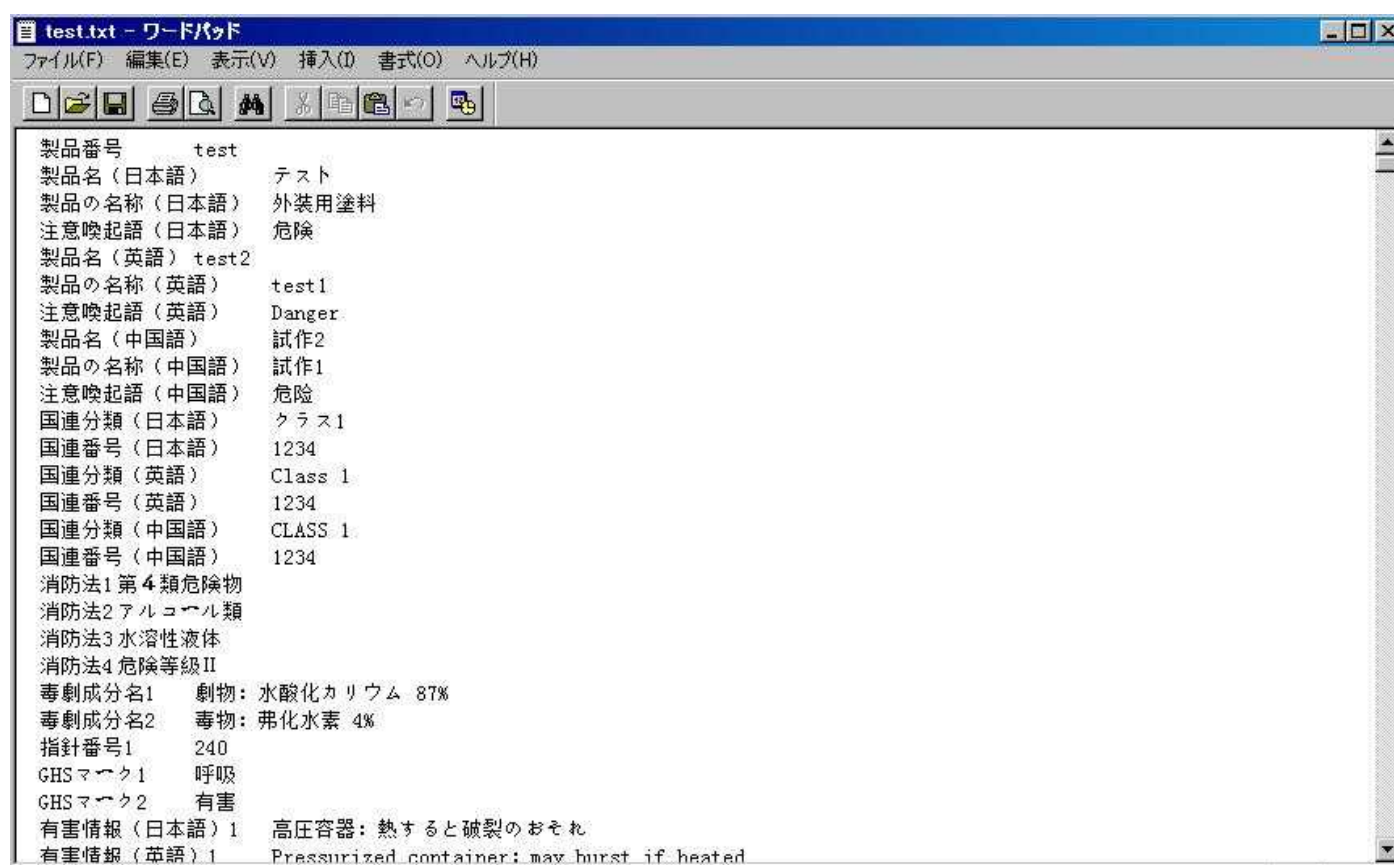
設定

MSDS組成情報自動入力 ON

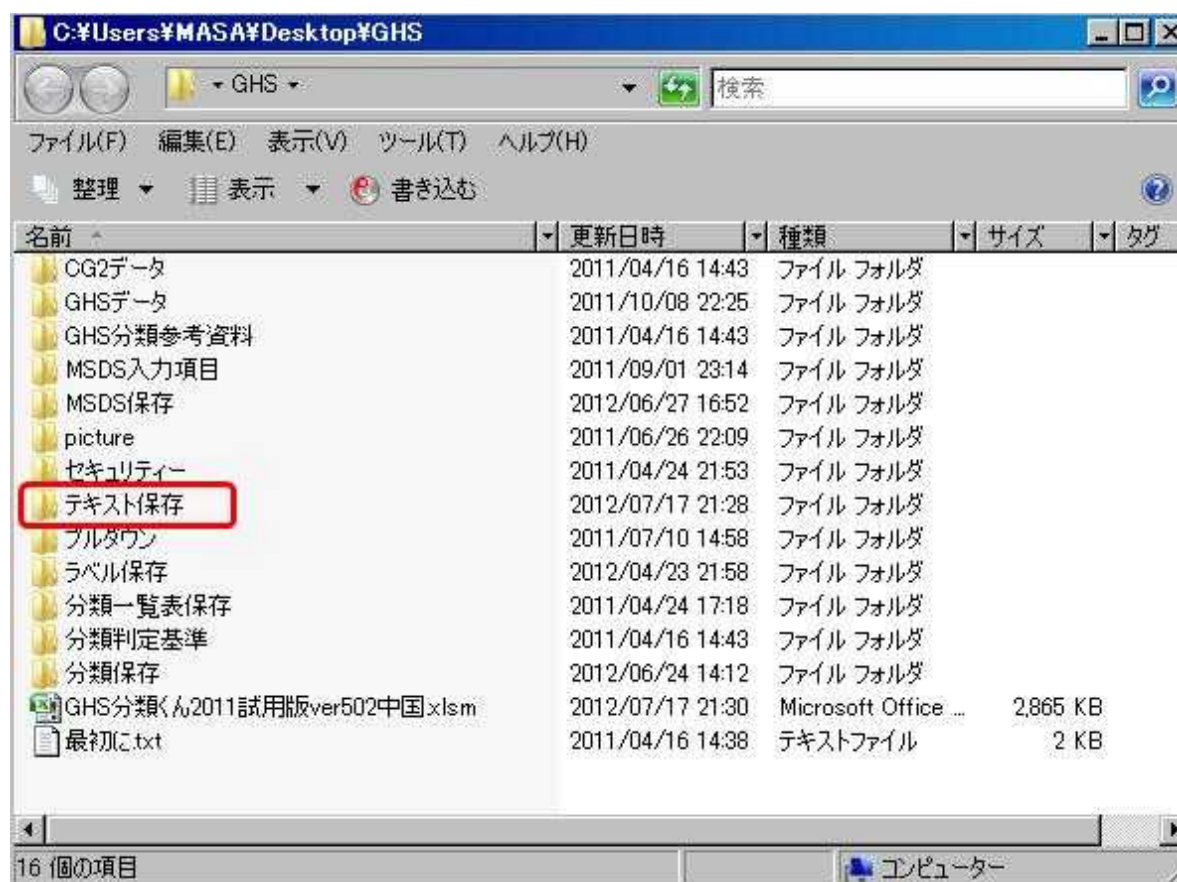
ラベルtxt形式自動保存 OFF

法律が変更となった場合 ON

[3] 出力されるテキストは下図のように、**タブ区切り**となっております。



[4] テキストファイルの**保存先**は、下図のようにソフトのフォルダ中の**テキスト保存**フォルダとなっております。



対象物質の追加・変更しよう

表示対象物質追加

【1】 表示対象物質の追加・変更をしてみましょう。

このソフトでは、安衛法の表示対象物質のデータを最初から保持しております。

表示対象物質データに変更があった場合には

「法律が変更となった場合」項目の **表示対象物質リスト** を選択ください。

混合物の分類ソフト（分類くん）について

本ソフトはGHS分類に基づいた混合物の分類ソフトであり、25成分までの混合物のGHS分類が可能。
 【物理化学危険入力シート】および【成分（CAS番号、含有量）入力シート】に必要事項を入力し、データ検索（GHS分類）を行えば、混合物の分類結果が得られ
 ます。また、同時に、ラベル、MSDS（下記で使用言語を選択）、分類根拠も作成されます。（Ctrl+vでこのページに戻れます）

入力分類

- ①物理化学危険入力
- ②成分（CAS番号、含有量）入力
- ③MSDS（日本語）入力項目
- ④MSDS（英語）入力項目
- ⑤MSDS（中国語）入力項目
- ⑥最終結果変更

MSDS使用言語

日本語

MSDS使用言語
←MSDS使用言語
を選択してく
ださい

MSDS

- ①MSDS確認、保存

ラベル

- ①ラベル確認、保存

分類根拠

- ①分類根拠印刷

データベース

- ①成分データベース一覧
- ②混合物データベース一覧

カスタマイズ

- ①プルダウン登録
- ②データベース追加
- ③注意書きフレーズ登録
- ④MSDS入力項目コメント登録
- ⑤混合物登録

設定

- MSDS組成情報自動入力 ON
- ラベルCSV自動保存 ON
- 法律が変更となった場合
- ①表示対象物質追加
- ②通知対象物質追加
- ③オゾン層への有害対象物リスト

本人確認パスワード

ファイルの保存、ファイルを開く時に
パスワードが必要です。

全体を保存 全体を開く 新規作成（全クリア）

←成分入力ページとMSDS入力項目ページの成分情
をクリアします。

データ検索（GHS分類）

分類根拠

JIS Z 7252

←通常はJIS版
GHS2009版を要求された場合

①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。

【2】 B列のCAS番号とD列の濃度範囲を追加もしくは修正してください。

B列がCAS番号、C列が名称、D列が対象となる範囲（数字が0.1の場合0.1%以上を示す）です。

	A	B	C	D
1	ID1	79-06-1	アクリルアミド	0.1
2	ID1000	1313-82-2	硫化ナトリウム	1
3	ID101	7440-43-9	カドミウム	0.1
4	ID1015	134-32-7	アルファ-ナフチルアミン	1
5	ID1016	119-90-4	ジアニシジン	1
6	ID113	75-01-4	クロロエチレン	0.1
7	ID117	108-90-7	クロロベンゼン	1
8	ID12	75-21-8	エチレンオキシド	0.1
9	ID120	111-15-9	酢酸2-エトキシエチル	0.3
10	ID123	151-50-8	シアン化カリウム	1
11	ID125	123-91-1	1,4-ジオキサン	1
12	ID126	107-06-2	1,2-ジクロロエタン	1
13	ID128	540-59-0	1,2-ジクロロエチレン	1
14	ID130	101-14-4	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフ	0.1
15	ID138	91-94-1	3,3'-ジクロロベンジジン	1

通知対象物質追加

[1] 通知対象物質を追加・変更してみましょう。

このソフトでは、安衛法の通知対象物質のデータを最初から保持しております。

通知対象物質データに変更があった場合には

「法律が変更となった場合」項目の **通知対象物質リスト** を選択ください。

[2] E 列の CAS 番号を追加もしくは修正してください。A~D 列の記載は必要ありませんが、メモとして利用ください。

B 列が日本語名称、C 列が英語名称、E 列が CAS 番号です。

	A	B	C	D	E
1	1	アクリルアミド	Acrylamide (alias 2-Propenamide)		79-06-1
2	2	アクリル酸	Acrylic acid (alias 2-Propenoic acid)		79-10-7
3	3	アクリル酸エチル	Acrylic acid, ethyl ester (alias Ethyl acrylate)		140-88-5
4	4	アクリル酸-n-ブチル	Acrylic acid, n-butyl ester (n-Butyl acrylate)		141-32-2
5	5	アクリル酸-2-ヒドロキシプロピル	2-Hydroxypropyl acrylate		999-61-1
6	6	アクリル酸メチル	Acrylic acid, methyl ester (Methyl acrylate)		96-33-3
7	7	アクリロニトリル	Acrylonitrile (alias Vinyl cyanide)		107-13-1
8	8	アクロレイン	Acrolein (alias 2-Propenal)	アクリルアルデヒド	107-02-8
9	9	アジ化ナトリウム	Sodium azide		26628-22-8
10	10	アジピン酸	Adipic acid (alias Hexanedioic acid)		124-04-9
11	11	アジポニトリル	Adiponitrile (alias Hexanedinitrile)		111-69-3
12	12	アセチルサリチル酸	Acetylsalicylic acid (Aspirin)	アスピリン	50-78-2
13	13	アセトアミド	Acetamide		60-35-5
14	14	アセトアルデヒド	Acetaldehyde		75-07-0
15	15	アセトニトリル	Acetonitrile		75-05-8
16	16	アセトフェノン	Acetophenone (alias 10pPhenyl ethanone)		98-86-2
17	17	アセトン	Acetone (alias 2-Propanone)		67-64-1
18	18	アセトンシアノヒドリン	Acetone cyanohydrin (alias 2-Hydroxy-2-methyl-propanenitrile)		75-98-5
19	19	アニリン	Aniline & homologues		62-53-3
20	20	アミド硫酸アンモニウム	Ammonium amidosulfamate (alias Monoammonium sulfurous acid)		7773-06-0
21	21	2-アミノエタノール	2-Aminoethanol (Ethanolamine)	メトリアミン	141-43-5
22	22	4-アミノ-6-tert-ブチル-3-メチルチオ-1,2,4-三iazin05(4H)-on	4-Amino-6-tert-butyl-3-methylthio-1,2,4-triazin05(4H)-on (alias Metribuzin)	メトリブジン	21087-64-9
23	23	3-アミノ-1,2,4-トリアゾール	3-Amino-1H-1,2,4-triazole; amitrole (alias Amitrole)	アミトロール	61-82-5
24	24	4-アミノ-3,5,6-トリクロロピリジン-2-カル	4-Amino-3,5,6-trichloropyridine-2-carboxylic acid (alias Picloram)	ピクロラム	1918-02-1
25	25	2-アミノピリジン	2-Aminopyridine		504-29-0

オゾン層への有害対象物リスト

- [1] オゾン層への有害対象物リストを追加・変更してみましょう。
このソフトでは、モントリオール議定書のオゾン層有害物質データを最初から保持しております。

モントリオール議定書のオゾン層有害物質データに変更があった場合には
「法律が変更となった場合」項目の **オゾン層への有害対象物リスト** を選択ください。

The screenshot shows a software window titled '混合物の分類ソフト (分類くん) について'. It contains several sections: '入力分類' (Input Classification) with options for physical/chemical hazards, components, and MSDS in Japanese, English, and Chinese; 'MSDS' (MSDS confirmation, label, classification search, database); 'カスタマイズ' (Customize) with settings for automatic input, label saving, and a red box around 'オゾン層への有害対象物リスト' (Ozone layer harmful substance list); '本人確認パスワード' (Personal confirmation password); and 'データ検索 (GHS分類)' (Data search (GHS classification)) with a dropdown menu currently set to 'JIS Z 7262'. A note at the bottom states: '①物理化学危険入力と②成分入力を終えればGHS分類は可能です。' (After completing ① physical/chemical hazard input and ② component input, GHS classification is possible.)

- [2] D列のCAS番号を追加もしくは修正してください。最大1000行まで入力可能です。

	A	B	C	D	E		
		番号	物質名(通称, 略称, 化学名等)	CAS No.	化学式	分類	
2		CFC: モントリオール議定書付属書AグループI					
3		CFC-11	トリクロロフルオロメタン	75-69-4	CFC13	オゾン	
4		CFC-12	ジクロロジフルオロメタン	75-71-8	CF2Cl2	CAS No.	
5		CFC-113	1,1,2-トリクロロ-1,2,2-トリフルオロエタン	76-13-1	C2F3Cl3	追加	
6		CFC-113	1,1,2-トリクロロ-1,2,2-トリフルオロエタン	354-58-5	C2F3Cl3	最大10	
7		CFC-114	1,2-ジクロロ-1,1,2,2-テトラフルオロエタン	76-14-2	C2F4Cl2		
8		CFC-115	クロロペンタフルオロエタン	76-15-3	C2F5Cl		
9		ハロン: モントリオール議定書付属書AグループII					
10		Halons-1211	ブロモクロロジフルオロメタン	359-59-3	CBBrClF2		
11		Halons-1301	ブromoトリフルオロメタン	75-68-8	CBBrF3		
12		Halons-2402	ジブromoテトラフルオロエタン	124-73-2	C2Br2F4		
13		CFCs: モントリオール議定書付属書BグループI					
14		CFC-113	クロロトリフルオロメタン	75-72-9	CF3Cl		
15		CFC-111	ペンタクロロフルオロエタン	354-56-3	C2FC15		